

市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事

図面リスト

図面No.	図面名称	図面No.	図面名称	図面No.	図面名称
A-01	工事タイトル・図面リスト	A-23	3階平面詳細図・展開図(改修)	S-01	構造設計標準仕様書
-02	特記仕様書-1	-24	3階天井伏せ図(既存・改修)	-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
-03	特記仕様書-2	-25	4階平面詳細図・展開図(既存)	-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
-04	特記仕様書-3	-26	4階平面詳細図・展開図(改修)	-04	鉄骨構造標準図(1)
-05	特記仕様書-4	-27	4階天井伏せ図(既存・改修)	-05	鉄骨構造標準図(2)
-06	特記仕様書-5	-28	X5通り2,3,4階及びY1通り1,2,3,4階改修展開図	-06	基礎、1階、2階床伏図
-07	特記仕様書-6	-29	1階パンコーナ平面図・展開図(既存・改修)	-07	3階、4階床伏図
-08	付近見取り図・配置図	-30	矩計図	-08	R階床伏図
-09	工事概要・仕上表	-31	建具表	-09	断面図
-10	1階平面図(既存・改修)	-32	雑詳細図-1	-10	構造詳細図(大梁、鉄骨リスト)
-11	2階平面図(既存・改修)	-33	雑詳細図-2	S-11	基礎配筋図
-12	3階平面図(既存・改修)	-34	外構平面図(既存・改修)		
-13	4階平面図(既存・改修)	-35	外構詳細図	M-01	器具表・凡例・プロパン庫改修図
-14	1階平面詳細図(床伏図)-1(既存・改修)	-36	その他工事D-1、2、3、4	-02	各階衛生設備撤去改修図
-15	1階平面詳細図-2(既存・改修)	-37	その他工事D-5、6、7	M-03	各階空調設備撤去改修図
-16	1階展開図(既存)	-38	その他工事D-8		
-17	1階展開図(改修)	A-39	仮設計画図(参考図)		
-18	1階天井伏せ図(既存・改修)				
-19	2階平面詳細図・展開図(既存)				
-20	2階平面詳細図・展開図(改修)				
-21	2階天井伏せ図(既存・改修)				
A-22	3階平面詳細図・展開図(既存)				

特記仕様書		特記事項		特記事項		特記事項																																																																																																																													
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>①. 項目欄に番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>②. 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③. 特記事項に○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は○印の付した事項を採用する。</p> <p>○印と◎印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>・国土交通省大臣官房長官官署補部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官官署補部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官官署補部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版</p> <p>・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」（編集：国土交通省住宅局建築指導課）</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号（例：1.4 ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に照合する</p> <p>・各項目欄の番号（例：1.* ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする</p> <p>・各項目欄の番号（例：●公○章**、公***、●公***）は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する</p>		<p>1章 完成時の提出図書</p> <p>8.2 完成図</p> <p>提出部数： ※各2部 ・部</p> <p>種類： ※表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式</p> <p>記入内容： ※表1.8.1 ・図示 ・</p> <p>提出要領： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原因（CAD作図による） ・CADデータ ・</p> <p>施工計画書： ◎監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>施工図： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮版第2原図 ・CADデータ ◎監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>8.3 保全に関する資料</p> <p>提出部数： ※各2部 ・部</p>		<p>2. 既存防水層の処理</p> <p>2重ドレンの設置： ・行わない ・行う（施工箇所）</p> <p>2.6 既存下地の補修及び処置</p> <p>補修箇所の形状、長さ、数量等： ・下表による ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>形状・長さ数量等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脆弱部の補修</td> <td>m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存目地の欠損部補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>欠損部の補修</td> <td>m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水層表面の仕上げ塗装の除去</td> <td>m²</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存防水層表面の仕上げ塗装の除去： ・行わない ・行う</p> <p>設備架台等防水層取り合い部の処置： ・協議による ・図示 ・</p> <p>立上り防水層の処置： ・撤去する ・撤去しない【補修方法： ・標準仕様書3.2.6(d)による】 ・図示】</p> <p>3. アスファルト防水</p> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類・厚さ： ・標準仕様書3.3.2(c)(6)による ・メーカー仕様による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類・厚さ： ・標準仕様書3.3.2(c)(7)による ・メーカー仕様による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の材質： ・標準仕様書3.3.2(h)による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質： ・標準仕様書3.3.2(i)による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・</p> <p>断熱シートの材料の指定： ・標準仕様書3.3.2(j)による</p> <p>保護コンクリートの設計基準強度： ※18N/mm² ・21N/mm² ・</p> <p>保護コンクリートのスランブ： ※18cm ・15cm ・</p> <p>防水立上り部の保護： ・湿式 ・乾式 ・</p> <p>防水立上り部の保護レンガの材料： ・標準仕様書3.3.2(o)による ・</p>		施工部位	形状・長さ数量等	備考	脆弱部の補修	m ²		既存目地の欠損部補修	m		欠損部の補修	m ²		防水層表面の仕上げ塗装の除去	m ²		<p>3章 防水改修工事</p> <p>3.2 材料</p> <p>3.3 種別及び工程</p> <p>◎屋根露出防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PHR階屋上</td> <td>POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R階屋上</td> <td>POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S3S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>M4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>PTS/・S-C1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材の種類： ・押出法ポリイソシアヌレートフォーム3種B(キヤン付) ・図示 ・</p> <p>断熱工法の断熱材の厚さ： ・25mm ・35mm ・50mm ・</p> <p>目地処理（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・図示 ・</p> <p>ALCA[®] 下地の場合： ・図示 ・</p> <p>入隅部の増張り（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・図示 ・</p> <p>ALCA[®] 下地の場合： ・図示 ・</p> <p>機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： ・メーカー仕様による</p> <p>保護層の施行（防水種別S-C1の場合）： 平場のモルタル床塗り工法： ・標準仕様書6.15.6(b)(2.3)による ・図示 ・</p> <p>平場のモルタル床塗り厚さ： ・30mm ・</p> <p>平場のコンクリートの厚さ： ・60mm ・80mm ・</p> <p>立上りのモルタル塗りの厚さ： ※7mm以下 ・</p> <p>6. 塗膜防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>POX/※X-1 ・X-2</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>L4X/・X-1 ※X-2</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上塗装の種類： ・製造メーカー標準仕様による ・遮熱塗料 ・</p> <p>仕上塗装の使用量： ・</p>		施工部位	工法/種別	備考	PHR階屋上	POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)		R階屋上	POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			S3S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			M4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			PTS/・S-C1		施工部位	工法/種別	備考		POX/※X-1 ・X-2	脱気装置： ・設置		L4X/・X-1 ※X-2	脱気装置： ・設置																																																										
施工部位	形状・長さ数量等	備考																																																																																																																																	
脆弱部の補修	m ²																																																																																																																																		
既存目地の欠損部補修	m																																																																																																																																		
欠損部の補修	m ²																																																																																																																																		
防水層表面の仕上げ塗装の除去	m ²																																																																																																																																		
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
PHR階屋上	POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
R階屋上	POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	S3S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	M4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	PTS/・S-C1																																																																																																																																		
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
	POX/※X-1 ・X-2	脱気装置： ・設置																																																																																																																																	
	L4X/・X-1 ※X-2	脱気装置： ・設置																																																																																																																																	
<p>1.4 工事実績情報登録</p> <p>登録： ○適用 ・不適用</p> <p>1.* 建築基準法の風圧</p> <p>基準風速： ・V₀=36(m/s) 平成12年建令第1454号第2</p> <p>積雪に関する規定</p> <p>積雪区分： ・I ・II ・III ・IV</p> <p>積雪区分： ・区域(32) / α=0.0009 / β=0.00 / γ=0.21 / R=0</p> <p>平成12年建令第1445号 別表</p> <p>3.3 電気保安技術者</p> <p>技術者の適用： ・適用 ・不適用</p> <p>3.5 施工条件</p> <p>施工順序等の制約： ・無し</p> <p>3.12 発生材の処理等</p> <p>・発注者への引渡発生材；</p> <p>・特別管理産業廃棄物；</p> <p>・リサイクル発生材；</p> <p>ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理：</p> <p>・製造業者回収委託処理 ・管理型最終処分場埋立処理</p> <p>標準仕様書1.3.8(b)(5)(i)及び(ii)以外のせっこうボードの処理：</p> <p>・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化</p> <p>PCB含有シーリングの調査方法： ・図示 ・</p> <p>PCB含有シーリングの撤去方法： ・図示 ・</p> <p>4.* 使用材料</p> <p>◎仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。</p> <p>5.2 施工数量調査</p> <p>調査範囲： ・図示 ・</p> <p>調査方法： ・非破壊検査 ・破壊検査 ・</p> <p>5.3 調査のための</p> <p>補修方法： ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する</p> <p>6.5 施工の検査等</p> <p>見本施工の実施： ・実施しない ・実施する【実施箇所等： ・図示 ・】</p> <p>6.9 化学物質の濃度測定</p> <p>濃度測定： ・未実施 ◎実施</p> <p>化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。</p> <p>測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン</p> <p>測定方法： ・簡易法 ◎パッシブ型採取機器 ・アクティブ法；</p> <p>測定対象室： ・図示 ◎現場説明書による</p> <p>測定箇所数： ・図示 ・箇所</p> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p> <p>8.1 完成時の提出図書</p> <p>完成図： ・◎必要（現場説明書による）</p> <p>保全に関する資料： ・必要 ・不要</p>		<p>2章 仮設工事</p> <p>3.1 仮設部分の養生</p> <p>既存部分養生材料： ・ビニールシート</p> <p>◎その他： 施工者に適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料： ・ビニールシート</p> <p>◎その他： 施工者に適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法：</p> <p>・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の再設置 ・</p> <p>仮設間仕切り： ・無し ◎有り</p> <p>設置箇所： ・図示 ・</p> <p>種別： ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>仮設扉： ・不要</p> <p>◎必要【設置箇所： ・図示 ・任意の場所 ・】</p> <p>仮設扉の種別： ・鋼製 ◎木製 ・図示 ・</p> <p>4.1 監督員事務所、受注者事務所等</p> <p>監督員事務所等の設置： ・必要 ・不要</p> <p>◎監督員事務所等の規模、設備、備品等</p> <p>・（ ）号（会議室（ ）m²を含む）</p> <p>・（ ）号に会議室（ ）m²を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚</p> <p>・検査用具 ・その他；</p> <p>受注者事務所等の設置： ・必要 ・不要</p> <p>◎受注者事務所等の規模、設備、備品等</p> <p>・（ ）号（会議室（ ）m²を含む）</p> <p>・（ ）号に会議室（ ）m²を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚</p> <p>・検査用具 ・その他；</p> <p>3章 防水改修工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>防水工事の保証書の提出及び保証年限</p> <p>・保証年限10年： 7777防水 ・合成高分子ルーフィング防水</p> <p>◎保証年限3年： ◎ケイ酸系塗膜防水C-PU</p> <p><保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける></p> <p>降雨等による養生方法： ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ・</p> <p>1.3 施工一般</p> <p>1.4 改修工法の種類及び工程</p> <p>◎防水改修工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考(特記工程)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 屋上防水押え</td> <td>PIB工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ M-77[®] 防水防水押え</td> <td>POS機械工法</td> <td>*1工程有り</td> </tr> <tr> <td>・ 浴室防水押え</td> <td>M4S1工法</td> <td>*2工程無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎シーリング改修工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁コンクリート打継目地</td> <td>シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外壁コンクリート露出目地</td> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外壁開口部建具廻り目地</td> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3章 防水改修工事</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>3.1 仮設部分の養生</p> <p>3.2 仮設間仕切り</p> <p>4.* 使用材料</p> <p>4.2 材料</p>		施工部位	工法の種類	備考(特記工程)	・ 屋上防水押え	PIB工法		・ M-77 [®] 防水防水押え	POS機械工法	*1工程有り	・ 浴室防水押え	M4S1工法	*2工程無し	施工部位	工法の種類	備考	・ 外壁コンクリート打継目地	シーリング充填工法		・ 外壁コンクリート露出目地	シーリング再充填工法		・ 外壁開口部建具廻り目地	シーリング再充填工法		<p>4.3 種別及び工法</p> <p>◎屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PHR階屋上</td> <td>M4AS/・AS-T1・AS-T2・AS-J2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R階屋上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PHR階屋上</td> <td>M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> <tr> <td>R階屋上</td> <td>POAS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PHR階屋上</td> <td>M3AS1/・AS1-T1・AS1-J1</td> <td>防湿層： ・設置</td> </tr> <tr> <td>R階屋上</td> <td>M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1</td> <td>防湿層： ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>POAS1/・AS1-T1・AS1-J1</td> <td>防湿層： ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>ルーフィングシートの種類・厚さ： ※標準仕様書表3.5.1~3.5.3による</p> <p>絶縁シート： ※発泡ポリイソシアヌレート ・図示 ・</p> <p>断熱工法に用いる断熱材： ※標準仕様書3.5.2(c)(3)による</p> <p>・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法種別</th> <th>種類/種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-F1(SI-F1)</td> <td>・加硫ポリイソシアヌレート系/・均質シート</td> <td>※1.2 ・1.5 ・2.0</td> </tr> <tr> <td>S-F2(SI-F2)</td> <td>・エポキシ樹脂系/・均質シート</td> <td>※1.2 ・1.5 ※2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M1(SI-M1)</td> <td>・加硫ポリイソシアヌレート系/・複合シート</td> <td>※1.2 ※1.5 ・2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M2(SI-M2)</td> <td>・エポキシ樹脂系/・均質シート</td> <td>※1.2 ※1.5 ・2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M3(SI-M3)</td> <td>・塩化ビニル樹脂系/・均質シート</td> <td>※1.2 ・1.5 ・2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>5.2 材料</p> <p>5.3 種別及び工程</p> <p>◎屋根露出防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PHR階屋上</td> <td>POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R階屋上</td> <td>POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S3S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>M4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>PTS/・S-C1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材の種類： ・押出法ポリイソシアヌレートフォーム3種B(キヤン付) ・図示 ・</p> <p>断熱工法の断熱材の厚さ： ・25mm ・35mm ・50mm ・</p> <p>目地処理（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・図示 ・</p> <p>ALCA[®] 下地の場合： ・図示 ・</p> <p>入隅部の増張り（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・図示 ・</p> <p>ALCA[®] 下地の場合： ・図示 ・</p> <p>機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： ・メーカー仕様による</p> <p>保護層の施行（防水種別S-C1の場合）： 平場のモルタル床塗り工法： ・標準仕様書6.15.6(b)(2.3)による ・図示 ・</p> <p>平場のモルタル床塗り厚さ： ・30mm ・</p> <p>平場のコンクリートの厚さ： ・60mm ・80mm ・</p> <p>立上りのモルタル塗りの厚さ： ※7mm以下 ・</p> <p>6. 塗膜防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>POX/※X-1 ・X-2</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>L4X/・X-1 ※X-2</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上塗装の種類： ・製造メーカー標準仕様による ・遮熱塗料 ・</p> <p>仕上塗装の使用量： ・</p>		施工部位	工法/種別	備考	PHR階屋上	M4AS/・AS-T1・AS-T2・AS-J2		R階屋上			施工部位	工法/種別	備考	PHR階屋上	M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・設置	R階屋上	POAS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・設置	施工部位	工法/種別	備考	PHR階屋上	M3AS1/・AS1-T1・AS1-J1	防湿層： ・設置	R階屋上	M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1	防湿層： ・設置		POAS1/・AS1-T1・AS1-J1	防湿層： ・設置			脱気装置： ・設置	工法種別	種類/種別	厚さ(mm)	S-F1(SI-F1)	・加硫ポリイソシアヌレート系/・均質シート	※1.2 ・1.5 ・2.0	S-F2(SI-F2)	・エポキシ樹脂系/・均質シート	※1.2 ・1.5 ※2.0	S-M1(SI-M1)	・加硫ポリイソシアヌレート系/・複合シート	※1.2 ※1.5 ・2.0	S-M2(SI-M2)	・エポキシ樹脂系/・均質シート	※1.2 ※1.5 ・2.0	S-M3(SI-M3)	・塩化ビニル樹脂系/・均質シート	※1.2 ・1.5 ・2.0	施工部位	工法/種別	備考	PHR階屋上	POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)		R階屋上	POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			S3S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			M4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			PTS/・S-C1		施工部位	工法/種別	備考		POX/※X-1 ・X-2	脱気装置： ・設置		L4X/・X-1 ※X-2	脱気装置： ・設置
施工部位	工法の種類	備考(特記工程)																																																																																																																																	
・ 屋上防水押え	PIB工法																																																																																																																																		
・ M-77 [®] 防水防水押え	POS機械工法	*1工程有り																																																																																																																																	
・ 浴室防水押え	M4S1工法	*2工程無し																																																																																																																																	
施工部位	工法の種類	備考																																																																																																																																	
・ 外壁コンクリート打継目地	シーリング充填工法																																																																																																																																		
・ 外壁コンクリート露出目地	シーリング再充填工法																																																																																																																																		
・ 外壁開口部建具廻り目地	シーリング再充填工法																																																																																																																																		
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
PHR階屋上	M4AS/・AS-T1・AS-T2・AS-J2																																																																																																																																		
R階屋上																																																																																																																																			
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
PHR階屋上	M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・設置																																																																																																																																	
R階屋上	POAS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・設置																																																																																																																																	
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
PHR階屋上	M3AS1/・AS1-T1・AS1-J1	防湿層： ・設置																																																																																																																																	
R階屋上	M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1	防湿層： ・設置																																																																																																																																	
	POAS1/・AS1-T1・AS1-J1	防湿層： ・設置																																																																																																																																	
		脱気装置： ・設置																																																																																																																																	
工法種別	種類/種別	厚さ(mm)																																																																																																																																	
S-F1(SI-F1)	・加硫ポリイソシアヌレート系/・均質シート	※1.2 ・1.5 ・2.0																																																																																																																																	
S-F2(SI-F2)	・エポキシ樹脂系/・均質シート	※1.2 ・1.5 ※2.0																																																																																																																																	
S-M1(SI-M1)	・加硫ポリイソシアヌレート系/・複合シート	※1.2 ※1.5 ・2.0																																																																																																																																	
S-M2(SI-M2)	・エポキシ樹脂系/・均質シート	※1.2 ※1.5 ・2.0																																																																																																																																	
S-M3(SI-M3)	・塩化ビニル樹脂系/・均質シート	※1.2 ・1.5 ・2.0																																																																																																																																	
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
PHR階屋上	POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
R階屋上	POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	S3S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	M4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																																		
	M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																																		
	PTS/・S-C1																																																																																																																																		
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																																																	
	POX/※X-1 ・X-2	脱気装置： ・設置																																																																																																																																	
	L4X/・X-1 ※X-2	脱気装置： ・設置																																																																																																																																	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
3章	防水改修工事	<p>7.2材料</p> <p>7.3目地寸法</p> <p>7.8シーリング材の試験</p> <p>7.4保証年</p> <p>8.2材料</p> <p>8.3工法</p> <p>9.6.3種別</p>	4章	1.5外壁改修工事	<p>2.1工法別仕様材料</p> <p>2.2工法別仕様材料</p> <p>2.3工法別仕様材料</p> <p>2.4工法別仕様材料</p> <p>2.5工法別仕様材料</p> <p>2.6工法別仕様材料</p> <p>2.7工法別仕様材料</p> <p>2.8工法別仕様材料</p> <p>2.9工法別仕様材料</p> <p>2.10工法別仕様材料</p> <p>2.11工法別仕様材料</p> <p>2.12工法別仕様材料</p> <p>2.13工法別仕様材料</p> <p>2.14工法別仕様材料</p> <p>2.15工法別仕様材料</p> <p>2.16工法別仕様材料</p> <p>2.17工法別仕様材料</p> <p>2.18工法別仕様材料</p> <p>2.19工法別仕様材料</p> <p>2.20工法別仕様材料</p>	4章	2.2工法別仕様材料	<p>5.7</p> <p>5.8</p> <p>5.9~5.15</p> <p>6.1</p> <p>6.2</p> <p>6.3</p> <p>7.1</p> <p>7.2</p> <p>7.3</p> <p>7.4</p> <p>7.5</p> <p>7.6</p> <p>7.7</p> <p>7.8</p> <p>7.9</p> <p>7.10</p> <p>7.11</p> <p>7.12</p> <p>7.13</p> <p>7.14</p> <p>7.15</p> <p>7.16</p> <p>7.17</p> <p>7.18</p> <p>7.19</p> <p>7.20</p>	5章	1.3改修工法	<p>1.4防火戸</p> <p>1.5見本の制作等</p> <p>2.1性能及び構造</p> <p>2.2性能及び構造</p> <p>2.3材料</p> <p>2.4形状及び仕上げ</p>

Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Rows include 2.5 工法 (Construction methods), 3.2 性能及び構造 (Performance and structure), 3.3 材料 (Materials), 4.2 性能及び構造 (Performance and structure), 5.2 性能及び構造 (Performance and structure), 6.3 材料 (Materials), 7.2 材料、形状及び寸法 (Materials, shapes, and dimensions), 8.2 性能 (Performance), 8.3 機構 (Mechanism).

Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Rows include 9.3 性能等 (Performance etc.), 10.2 形式及び機構 (Forms and mechanisms), 11.2 形式及び機構 (Forms and mechanisms), 12.2 形式及び機構 (Forms and mechanisms), 13.3 ガラスの寸法 (Glass dimensions), 14 ※ 材料 (Materials), 1.3 地の部位との取合い等 (Ground parts etc.), 1.4 工法 (Construction methods), 2.2 工法 (Construction methods), 3.2 工法 (Construction methods).

Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Rows include 5.1 一般事項 (General items), 5.2 木材 (Wood), 5.3 接合具等 (Fasteners etc.), 5.4 木部 (Wood parts), 5.5 防蟻・防蟻 (Ant termite prevention), 6.2 材料 (Materials), 6.3 形式及び寸法 (Forms and dimensions), 6.4 工法 (Construction methods), 7.3 形式及び寸法 (Forms and dimensions), 8.2 材料 (Materials).

Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Rows include 5.3 接合具等 (Fasteners etc.), 5.4 木部 (Wood parts), 5.5 防蟻・防蟻 (Ant termite prevention), 6.2 材料 (Materials), 6.3 形式及び寸法 (Forms and dimensions), 6.4 工法 (Construction methods), 7.3 形式及び寸法 (Forms and dimensions), 8.2 材料 (Materials).

8.2 材料	<p>・視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・せつ器質タイル ・コンクリート 厚み： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ○耐動荷重性床シート張り： 種類（抗菌）厚さ（t=2.0） ・ビニル幅木の厚み： ②1.5mm以上 ・ビニル幅木の長さ： ②60mm ③100mm ④300mm 下地の工法： ②タイル張り下地 ※木造下地 ③図示 熱溶接工法： ②適用する ・適用しない</p>																								
9.3 材料	<p>9. カーペット敷き ○織じゅうたん 種類： ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状： ・カットパイル ・ローパイル ・カット/ロー併用 色柄： ・無地 ・柄柄 帯電性の適用： ・適用しない ・適用する【人体帯電圧： ※3kV以下】</p> <p>○タフテッドカーペット パイル形状： ・ローパイル ・カット パイル長： ・図示 ・mm</p> <p>○ニードルパンチカーペット 厚さ： ・4mm ・7mm</p> <p>○タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※第1種ローパイル</td> <td>※第1種</td> <td>※500x500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・第2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット/ロー併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	パイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm)	※第1種ローパイル	※第1種	※500x500	※6.5	・カットパイル	・第2種			・カット/ロー併用											
パイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm)																						
※第1種ローパイル	※第1種	※500x500	※6.5																						
・カットパイル	・第2種																								
・カット/ロー併用																									
9.4 工法	<p>○下敷き材 下敷き材： ※反毛フェルト第2種2号(厚8mm) 接着剤の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ タフテッドカーペットの工法： ・グリッド工法 ・全面接着工法 タイルカーペットの敷き方（平床）： ※市松敷き （階段部分）： ※横線流し</p>																								
10.2 材料	<p>10. 合成樹脂塗床</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げ種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・弾性タイル張り床材</td> <td>※平滑 ・防汚 ・つや消し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タイル樹脂塗床材</td> <td>・薄膜流し膜べ ・厚膜流し膜べ： ※平滑 ・防汚 ・樹脂膜べ： ・平滑 ・防汚</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆</p>	種類	仕上げ種類	備考	・弾性タイル張り床材	※平滑 ・防汚 ・つや消し		・タイル樹脂塗床材	・薄膜流し膜べ ・厚膜流し膜べ： ※平滑 ・防汚 ・樹脂膜べ： ・平滑 ・防汚																
種類	仕上げ種類	備考																							
・弾性タイル張り床材	※平滑 ・防汚 ・つや消し																								
・タイル樹脂塗床材	・薄膜流し膜べ ・厚膜流し膜べ： ※平滑 ・防汚 ・樹脂膜べ： ・平滑 ・防汚																								
11.2 材料	<p>11. フローリング張り</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>工法</th> <th>形式寸法等(mm)LxWx t</th> </tr> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>※行</td> <td>・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)</td> <td>・500(L)x750(W)x15(t)以上</td> </tr> <tr> <td>・フローリングボード2等</td> <td>※行</td> <td>・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)</td> <td>・303x303(L)x15(t)以上</td> </tr> <tr> <td>・モダンパインボード1等</td> <td>※行</td> <td>・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)</td> <td>厚さ： ・6 ・7 ・8</td> </tr> <tr> <td>・弾性タイルボード</td> <td>※行</td> <td>・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複合フローリング</td> <td>※行</td> <td>・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小) ・接着工法</td> <td>・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種</td> </tr> </table> <p>材料の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 接着剤の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆</p>	種類	材種	工法	形式寸法等(mm)LxWx t	・フローリングボード1等	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)	・500(L)x750(W)x15(t)以上	・フローリングボード2等	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)	・303x303(L)x15(t)以上	・モダンパインボード1等	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)	厚さ： ・6 ・7 ・8	・弾性タイルボード	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)		・複合フローリング	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小) ・接着工法	・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種
種類	材種	工法	形式寸法等(mm)LxWx t																						
・フローリングボード1等	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)	・500(L)x750(W)x15(t)以上																						
・フローリングボード2等	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)	・303x303(L)x15(t)以上																						
・モダンパインボード1等	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)	厚さ： ・6 ・7 ・8																						
・弾性タイルボード	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小)																							
・複合フローリング	※行	・釘留め工法(従大) ・釘留め工法(従小) ・接着工法	・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種																						
11.3 現場塗装仕上げ	<p>仕上げ： ※タイル樹脂塗床張り ・既製仕上げ</p>																								
12.2 材料	<p>12. 量敷き 種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）</p>																								
13.2 材料	<p>13. セッコウボードその他ボード及び合板張り</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>木質系セッコウボード</td> <td>・木毛セッコウボード ・木片セッコウボード</td> <td>・HW ・HW ・HF ・HF</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>セッコウボード製品</td> <td>・セッコウボード ・シーティングセッコウボード ・強化セッコウボード ・セッコウボード ・強化セッコウボード(150x150) ・強化セッコウボード</td> <td>GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D</td> <td>・9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5 ②12.0 ③21.0 ②9.5 ・7 ②9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5</td> </tr> </table>	規格名称	種類	記号	厚さ(mm)	木質系セッコウボード	・木毛セッコウボード ・木片セッコウボード	・HW ・HW ・HF ・HF	・25 ・50	セッコウボード製品	・セッコウボード ・シーティングセッコウボード ・強化セッコウボード ・セッコウボード ・強化セッコウボード(150x150) ・強化セッコウボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D	・9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5 ②12.0 ③21.0 ②9.5 ・7 ②9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5												
規格名称	種類	記号	厚さ(mm)																						
木質系セッコウボード	・木毛セッコウボード ・木片セッコウボード	・HW ・HW ・HF ・HF	・25 ・50																						
セッコウボード製品	・セッコウボード ・シーティングセッコウボード ・強化セッコウボード ・セッコウボード ・強化セッコウボード(150x150) ・強化セッコウボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D	・9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5 ②12.0 ③21.0 ②9.5 ・7 ②9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5																						

13.3 工法	<p>規格名称</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>繊維強化セメント板</td> <td>・D.9FK ・1.0FK</td> <td>・6・8・10 ・6・8・10</td> </tr> <tr> <td>パイン材</td> <td>・RS ・VS ・DV ・DO ・DC</td> <td></td> </tr> </table> <p>火山性ガラス繊維層板(VSG-ド) 材料の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ③合板</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>樹種など</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>・難燃合板</td> <td>生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワラ 不透明塗料塗りの場合 ・シ【1級・2級】</td> <td>・4 ・5.5 ・6</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>・ワラ ・シ</td> <td>・4 ②5 ③12</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>材種</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種など</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>・捨張り用合板</td> <td>・南洋材 ・型枠用 ・針葉樹 ・構造用</td> <td>・9 ・12</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・有孔合板</td> <td>・シ ・1級 ・2級</td> <td>・4 ・6</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>化粧単板のそば包み ・行方 ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満</td> <td>・4.2</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>表面仕上げの種類 ・メッシュ ・ボリアスル</td> <td>・4.0 ・3.0</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>材料の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 普通合板の防虫処理： ※行わない ・行方 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行方 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行方 接着剤の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ セッコウボードの目地処理： ・縫目処理工法 ③目透し工法 ④奥付け工法 遮音シート材： ・ワラ系シート材 ・グロイット</p> <p>14. 壁紙張り 防火性能の指定： ・下表による ・図示</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>検定区分</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・セメント系</td> <td>・1級 ・2級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・繊維系</td> <td>・1級 ・3級 ・4級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・プラスチック系</td> <td>・1級 ・2級</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料の材料放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ モルタル面及び石膏面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 セッコウボード及びその他ボード面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <p>15. モルタル塗り 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地</p> <p>16. タイル張り 伸縮調整目地の位置： ※84mm(縦・横共) ・図示</p> <p>16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類： ・図示 ・下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式・形状寸法(mm)</th> <th>用途による耐凍害性</th> <th>色</th> <th>釉薬</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>区分</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準特注施釉無釉</td> </tr> </table> <p>④タイルの投物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・欄干 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行方 ・行わない タイルの試験張り： ・行方 ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り</p>	種類	記号	厚さ(mm)	繊維強化セメント板	・D.9FK ・1.0FK	・6・8・10 ・6・8・10	パイン材	・RS ・VS ・DV ・DO ・DC		材種	樹種など	厚さ(mm)	工法	・難燃合板	生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワラ 不透明塗料塗りの場合 ・シ【1級・2級】	・4 ・5.5 ・6	・A種 ※B種	・普通合板	・ワラ ・シ	・4 ②5 ③12	・A種 ※B種	樹種など	厚さ(mm)	工法	・捨張り用合板	・南洋材 ・型枠用 ・針葉樹 ・構造用	・9 ・12	・A種 ※B種	・有孔合板	・シ ・1級 ・2級	・4 ・6	・A種 ※B種	・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み ・行方 ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満	・4.2	・A種 ※B種	・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・メッシュ ・ボリアスル	・4.0 ・3.0	・A種 ※B種	品名	検定区分	施工箇所	・セメント系	・1級 ・2級		・繊維系	・1級 ・3級 ・4級		・プラスチック系	・1級 ・2級		施工箇所	形式・形状寸法(mm)	用途による耐凍害性	色	釉薬	備考			区分	有	無	標準特注施釉無釉
種類	記号	厚さ(mm)																																																															
繊維強化セメント板	・D.9FK ・1.0FK	・6・8・10 ・6・8・10																																																															
パイン材	・RS ・VS ・DV ・DO ・DC																																																																
材種	樹種など	厚さ(mm)	工法																																																														
・難燃合板	生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワラ 不透明塗料塗りの場合 ・シ【1級・2級】	・4 ・5.5 ・6	・A種 ※B種																																																														
・普通合板	・ワラ ・シ	・4 ②5 ③12	・A種 ※B種																																																														
樹種など	厚さ(mm)	工法																																																															
・捨張り用合板	・南洋材 ・型枠用 ・針葉樹 ・構造用	・9 ・12	・A種 ※B種																																																														
・有孔合板	・シ ・1級 ・2級	・4 ・6	・A種 ※B種																																																														
・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み ・行方 ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満	・4.2	・A種 ※B種																																																														
・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・メッシュ ・ボリアスル	・4.0 ・3.0	・A種 ※B種																																																														
品名	検定区分	施工箇所																																																															
・セメント系	・1級 ・2級																																																																
・繊維系	・1級 ・3級 ・4級																																																																
・プラスチック系	・1級 ・2級																																																																
施工箇所	形式・形状寸法(mm)	用途による耐凍害性	色	釉薬	備考																																																												
		区分	有	無	標準特注施釉無釉																																																												

18.4 接着剤による陶磁器質タイル張り	<p>タイルの種類： ・図示 ・下表による 形式・形状寸法(mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>用途による耐凍害性</th> <th>色</th> <th>釉薬</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準特注施釉無釉</td> </tr> </table> <p>④タイルの投物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・欄干 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行方 ・行わない タイルの試験張り： ・行方 ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り</p> <p>17. セルフレベリング材塗り 品質： ・セメント系 ・セッコウ系 厚さ： ・10mm ・図示</p>	用途による耐凍害性	色	釉薬	備考	区分	有	無	標準特注施釉無釉										
用途による耐凍害性	色	釉薬	備考																
区分	有	無	標準特注施釉無釉																
17.2 材料	<p>1. 一般事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有</p> <p>2. 下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>塗床面の種類</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部（不透明塗料塗部）</td> <td>※RA種 ・RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>木部（透明系塗料塗部）</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALCパネル</td> <td>※RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>セッコウ系その他ボード</td> <td>種目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> </table> <p>3. 鉄鋼面錆止め塗料塗り 鉄鋼面屋外： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面屋内： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面E-P-G塗装下地： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ・A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面塗替え部分工法： ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>4. 合成樹脂塗床合ポイント塗り(SOP) 種別： ※1種 ・2種</p> <p>5. クリヤーラッカー塗り(CL) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>8. 耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面の種別： ・A種 ②B種(上塗り等級：1級フッ素樹脂) 亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形セメント板の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種</p> <p>9. つや有合成樹脂エマルジョン塗料塗り(E-P-G) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ②B種 ・C種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 セッコウボード、及びその他のボード面の種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 屋内木部の種別（新規）： ②A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（多孔質広葉樹）： ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（塗替え）： ・A種 ②B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種</p>	塗床面の種類	種別	木部（不透明塗料塗部）	※RA種 ・RB種 ・RC種	木部（透明系塗料塗部）	・RA種 ※RB種 ・RC種	鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	亜鉛メッキ鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	モルタル、プaster	・RA種 ※RB種 ・RC種	コンクリート、ALCパネル	※RA種 ※RB種 ・RC種	押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種	セッコウ系その他ボード	種目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種
塗床面の種類	種別																		
木部（不透明塗料塗部）	※RA種 ・RB種 ・RC種																		
木部（透明系塗料塗部）	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
亜鉛メッキ鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
モルタル、プaster	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
コンクリート、ALCパネル	※RA種 ※RB種 ・RC種																		
押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種																		
セッコウ系その他ボード	種目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種																		
1.3 材料	<p>1. 一般事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有</p> <p>2. 下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>塗床面の種類</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部（不透明塗料塗部）</td> <td>※RA種 ・RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>木部（透明系塗料塗部）</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALCパネル</td> <td>※RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> </tr> <tr> <td>セッコウ系その他ボード</td> <td>種目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種</td> </tr> </table> <p>3. 鉄鋼面錆止め塗料塗り 鉄鋼面屋外： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面屋内： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面E-P-G塗装下地： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ・A種 ②B種 ・C種 鉄鋼面塗替え部分工法： ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>4. 合成樹脂塗床合ポイント塗り(SOP) 種別： ※1種 ・2種</p> <p>5. クリヤーラッカー塗り(CL) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>8. 耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面の種別： ・A種 ②B種(上塗り等級：1級フッ素樹脂) 亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形セメント板の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種</p> <p>9. つや有合成樹脂エマルジョン塗料塗り(E-P-G) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ②B種 ・C種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 セッコウボード、及びその他のボード面の種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 屋内木部の種別（新規）： ②A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（多孔質広葉樹）： ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（塗替え）： ・A種 ②B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種</p>	塗床面の種類	種別	木部（不透明塗料塗部）	※RA種 ・RB種 ・RC種	木部（透明系塗料塗部）	・RA種 ※RB種 ・RC種	鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	亜鉛メッキ鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	モルタル、プaster	・RA種 ※RB種 ・RC種	コンクリート、ALCパネル	※RA種 ※RB種 ・RC種	押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種	セッコウ系その他ボード	種目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種
塗床面の種類	種別																		
木部（不透明塗料塗部）	※RA種 ・RB種 ・RC種																		
木部（透明系塗料塗部）	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
亜鉛メッキ鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
モルタル、プaster	・RA種 ※RB種 ・RC種																		
コンクリート、ALCパネル	※RA種 ※RB種 ・RC種																		
押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種																		
セッコウ系その他ボード	種目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種																		

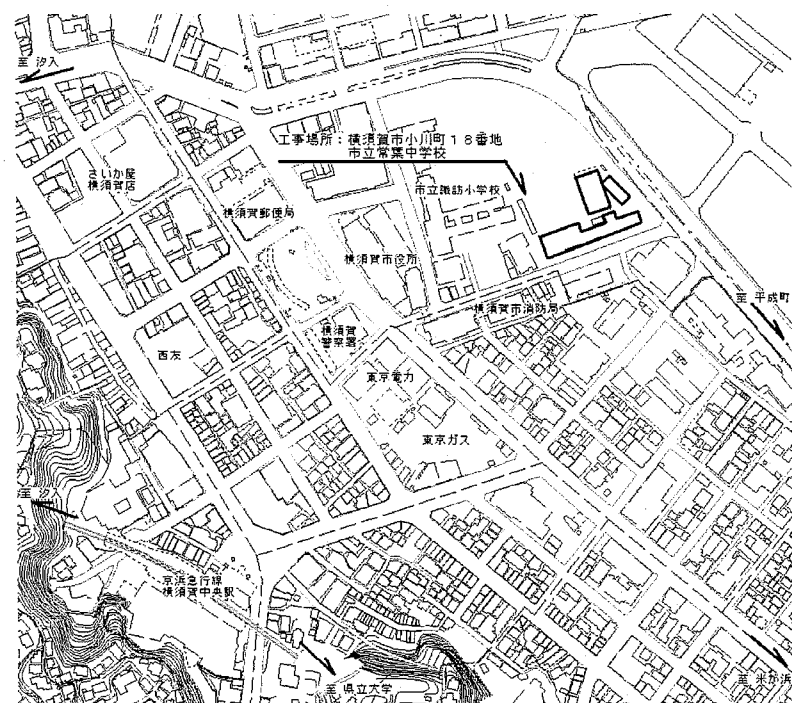
10.2 EP塗料塗り	<p>10. 合成樹脂エマルジョン塗料塗り(EP) 種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書9.2(b)による ・図示</p> <p>11. 合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り(E-P-T) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>15. 木材保護塗料塗り(WP) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>塗り部下： ・1時間耐火 仕様は主材製造所による</p>																																										
11.2 EP-T塗料塗り	<p>10. 合成樹脂エマルジョン塗料塗り(EP) 種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書9.2(b)による ・図示</p> <p>11. 合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り(E-P-T) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>15. 木材保護塗料塗り(WP) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>塗り部下： ・1時間耐火 仕様は主材製造所による</p>																																										
12.2 UC塗料塗り	<p>10. 合成樹脂エマルジョン塗料塗り(EP) 種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書9.2(b)による ・図示</p> <p>11. 合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り(E-P-T) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>15. 木材保護塗料塗り(WP) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>塗り部下： ・1時間耐火 仕様は主材製造所による</p>																																										
13.2 LE塗料塗り	<p>10. 合成樹脂エマルジョン塗料塗り(EP) 種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書9.2(b)による ・図示</p> <p>11. 合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り(E-P-T) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>15. 木材保護塗料塗り(WP) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>塗り部下： ・1時間耐火 仕様は主材製造所による</p>																																										
15.2 WP塗料塗り	<p>10. 合成樹脂エマルジョン塗料塗り(EP) 種別： ・A種 ②B種 ・C種 塗替えの場合のしめ止め： ・標準仕様書9.2(b)による ・図示</p> <p>11. 合成樹脂エマルジョン樹脂塗料塗り(E-P-T) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 セッコウボード等の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>15. 木材保護塗料塗り(WP) 種別： ・A種 ※B種</p> <p>塗り部下： ・1時間耐火 仕様は主材製造所による</p>																																										
1.3 コンクリートの品質	<p>1. 一般事項 ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>コンクリートの種別： ※I類 ・II類 ・その他 使用資材による種別： ・普通コンクリート（下表による） ・図示</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・構造躯体（基礎～階）</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（1階～4階）</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・捨てコンクリート</td> <td>18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土間コンクリート</td> <td>21</td> <td></td> </tr> </table> <p>使用資材による種別： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </table> <p>スランブ： ②8cm ・図示 コンクリート部材の許容差及び測定方法： ・標準仕様書8.1.4(d)(1)による 打直し仕上げの種類（合板せき板を用いる場合）</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・化粧打直し部</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○打直し補修下部</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○基礎部</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平坦さ： ・標準仕様書表8.1.4による 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工監理技術者： ・適用する ・適用しない</p> <p>2. 材料 鉄筋の種類： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示</p> <p>2.1 鉄筋 2.2 溶接金網</p> <p>2.4 あと施工アンカー あと施工アンカーの種類： ②金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示 ③金属系アンカー 引張耐力： ・図示 せん断耐力： ・図示 アンカー本体の径： ・図示 アンカー本体の埋込深さ： ・図示 アンカー本体のセット方式： ・図示 ※本体打込み式改良型 接合部の径及び長さ： ・図示 ④接着系アンカー 引張耐力： ・図示 せん断耐力： ・図示 アンカーの種類： ・図示 ・加付型 アンカーの径： ・図示 アンカーの埋込深さ： ・図示 アンカーの長さ： ・図示 ※異形棒鋼 アンカーの径の新設壁内への定着長さ： ・図示 ※標準仕様書8.2.4(d)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験： ・行方 ③行わない ⑤あと施工アンカー使用材料は監理員の承諾を得たものとする</p>	施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考	・構造躯体（基礎～階）	30		・構造躯体（階～階）	24		・構造躯体（1階～4階）	21		・捨てコンクリート	18 ・21		・土間コンクリート	21		施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考		・18 ・21			・18 ・21			・18 ・21		施工部位	種別	備考	・化粧打直し部	A種		○打直し補修下部	A種		○基礎部	C種	
施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考																																									
・構造躯体（基礎～階）	30																																										
・構造躯体（階～階）	24																																										
・構造躯体（1階～4階）	21																																										
・捨てコンクリート	18 ・21																																										
・土間コンクリート	21																																										
施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	備考																																									
	・18 ・21																																										
	・18 ・21																																										
	・18 ・21																																										
施工部位	種別	備考																																									
・化粧打直し部	A種																																										
○打直し補修下部	A種																																										
○基礎部	C種																																										

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
B 8 耐震改修工事	2.5 コンクリートの材料及び割合	セメントの種類： ※普通ポルトランドセメント ※混合セメント種 ・高炉セメント ・フライアッシュセメント フェロニッケル系スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 鋼スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤	B 8 耐震改修工事	9.1 一般事項	9. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・ 施工部位 種類 備考 ・屋上防水押え 1種・2種 ・1種・2種 ・1種・2種 所要気乾単位容積重量： ・図示 ・ KN/m ³ 所要スランプ： ※21cm ・18cm	B 8 耐震改修工事	21.9 既存との取合い	既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.19.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・	B 8 耐震改修工事	28.3 土工事	・他現場に搬入（ ） ・指定処分地（ ） ◎山留めの撤去 ・撤去 ・存置 ◎試験杭 試験杭の位置、本数、寸法： ・図示 ・ ◎載荷試験 載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験 ・ 試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎地盤の載荷試験 載荷試験： ・平板載荷試験 ・ 試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎杭地盤は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」4章【地業工事】による。
	2.6 構造体用モルタルの材料及び割合	モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm ² ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上		10.2 材料及び割合	10. 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S)： ※6 N/mm ²		21.10 仕上げ	22. 鉄骨ブレースの設置工事 2.2. 鉄骨ブレースの設置工事 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ ブレース設置後の仕上げ： ・図示 ・		28.4 地業工事	●公4章 地業工事 公3.1 適用範囲 工法の適用： ・打込み工法(4.3.3) ・セメント工法(4.3.4) ・ ・特定埋設杭工法(4.3.5) ・図示
	2.7 型枠の材料	型枠の材料等： ・下表による ・図示 ・ 種類 厚さ 材質 ・合板 ◎コンクリート型枠用合板のJAS]・12mm複合 ・コンクリート型枠用合板のJAS]・15mm南洋材 ・床型枠用鋼製デッキプレート 針葉材 スリプ： ※標準仕様書8.2.6(i, ii)による ・図示 ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管 ・つば付き鋼管 ・つば付き鋼管 ・紙チューブ		11.1 一般事項	11. 無筋コンクリート 適用箇所： ※標準仕様書6.14.1(d)による ・下表による ・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) スランプ ※18 ・21 ※15以下 ※18以下		22.7 既存との取合い	23. 柱補強工事 2.3. 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7-7巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない		●公4章 地業工事 公3.2 材料 材料の強度等による区分： 杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状： ・図示 ・ 杭の設計支持力： ・図示 ・ 施工法の種別： ・図示 ・ プレボーリングの掘削深さ及び径： ・図示 ・深さ： m 径： m 試験杭の推定支持力の算定方法： ・図示 ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・	
	2.8 鋼材	鋼材の材質： ・図示 ・構造図による 施工部位 材質(種類の記号) 備考 ・構造躯体 SSC400 SSC400 ・構造躯体(階～階) SM490A ・構造躯体(階～階) STKR400 BCR295 SN400C SN400A		12.2 穿孔	12. あと施工アンカー工事 埋込配管等の調査方法： ・図示 ・ 施工試験： ※引張試験機による引張試験 ・図示 ・ 確認強度： ・図示 ・		22.9 仕上げ	23.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖7-7巻き工法 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種別： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 柱脚の間隔： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の間隔： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・		公3.3 打込み工法 公3.3 打込み工法 プレボーリングの掘削深さ及び径： ・図示 ・深さ： m 径： m 試験杭の推定支持力の算定方法： ・図示 ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・	
	2.9 高力ボルト	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 種類： ・M17型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径： ・図示 ・		12.5 施工確認試験	13. 鉄骨工作 仮組の実施： ・行わない ・行う		23.6 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法	24. 連続繊維補強工事 2.4. 連続繊維補強工事 ひび割れ部の改修工法： ・特記仕様書4.1.4に準拠する ・図示 ・ 柱の隅部の面取りの形状、寸法： ・図示 ・ 連続繊維補強材の引張強度試験の数量： ・図示 ・ 連続繊維補強材の付着強度試験の数量： ・図示 ・ 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・		公3.4 セメント工法 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ： ・図示 ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 施工法の種別： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・	
	2.10 溶接材料	溶接棒等(標準仕様書表8.2.7)及びガス以外の溶接材料： ・図示 ・		13.10 仮組	14. 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・図示 ・ ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのナット回転法の回転量： ・120°		23.7 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法	25. 耐震スリット新設工事 2.5. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・		公3.5 特定埋設杭 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ 杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・無溶接継手(工法：) 杭頭の処理法： ・図示 ・	
	2.11 柱底均しモルタル及びグラウト材	モルタルの種類： ・図示 ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの割合： ※標準仕様書8.2.10(b) (1)～(4)による ・図示 ・		14.2 摩擦面の性能及び処理	15. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う 開先の形状： ・図示 ・ エンドタブの切除の有無： ・有り ・無し 【エンドタブの切除の適用箇所： ・図示 ・ スカラップの形状： ・図示 ・ 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない		23.8 減衰材	26. 耐震改修工事 2.6. 耐震改修工事 支承材の材質等： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処理： ・図示 ・メーカ仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・メーカ仕様による		公4.1 適用範囲 公4.2 材料 材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示 杭の現場継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接	
	2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等	材料： ・図示 ・ 工法： ・図示 ・ 引張強度、ヤング係数等： ・図示 ・		15.3 技能資格	16. 溶接接合 製作現場の社内検査： ・行わない ※行う(全数検査を行い試験結果報告書を提出) 第三者機関による検査： ※行う ・行わない AOQL： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準		26.7 支承材	26.10 支承材又は減衰材の設置		公5.1 適用範囲 工法の適用： ・アース工法(4.5.4) ・リブ工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ ・底版杭工法(4.5.5) ・図示	
	2.13 鋼材の材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・		15.4 材料準備	17. 鉄骨の錆止め塗装 SRC造の鋼製スリプ(鉄骨に溶接されたもの)の内面： ・図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種 ・B種 ・C種】 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種 ・B種 ・C種】		26.13 仕上げ	26.13 仕上げ		公5.2 材料 材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示 杭の現場継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接	
	2.14 基礎工事に用いる材料	杭の材料： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 杭の継手、工法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・		15.5 溶接施工	18. 耐火被覆 耐火被覆材の種類及び性能： ※図示 ・		26.14 耐火被覆	26.14 耐火被覆		公5.3 材料その他 帯筋の加工、組立： ・図示 ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ： ・図示 ・60mm ・ mm セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメント種 ・混合セメント ・図示 コンクリートの設計基準強度： ・F _c =21N/mm ² ・F _c =24N/mm ² ・図示 コンクリートの種別： ・A種 ・B種 ・図示 コンクリートの構造体強度補正值(S)： ・図示 ※3N/mm ²	
3.4 継手及び定着	3. 鉄筋の加工及び組立 継手の種類： ◎重ね継手 ・ガス圧継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置： ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c) (1)による ・図示 ・ 耐力型鉄筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c) (1)による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 柱への束引張り鉄筋の定着長さ： ※標準仕様書5.3.4(d) (1)による ・図示 ・	17.3 塗料の種別	20. 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 2.0. 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理： ・構造特記仕様書による ・ブラスト処理 ・図示 ・ すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・構造特記仕様書による ・図示 ・	26.15 耐火被覆	26.15 耐火被覆	公5.4 アース工法 リブ工法 オールド工法 場所打鋼管コンクリート杭工法、底版杭工法 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ 杭孔壁の超音波測定： ・行わない ・行う() 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内					
3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合)： ・図示 ・40mm ・50mm ◎60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法： ・図示 ・	18.2 種別及び性能	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 2.1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・	26.16 検査	26.16 検査	公5.5 場所打鋼管コンクリート杭工法、底版杭工法 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ◎砂利、砂、捨てコンクリート地業等は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」4章【地業工事】による。					
3.7 壁の配筋及び補強	壁の配筋： ◎図示 ・ 開口部の補強筋： ・図示 ・ 抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・	21.2 既存部分の撤去等	22. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 2.2. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・	26.17 減衰材	26.17 減衰材	公6.3 砂利及び砂地業 公6.4 捨てコンクリート地業 公6.5 床下防湿層 捨てコンクリートの厚さ： ・図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm 床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示 床下防湿層の範囲： ・図示 ・					
3.8 ガス圧接	抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・	21.3 既存部分の処理	23. 鉄骨の錆止め塗装 SRC造の鋼製スリプ(鉄骨に溶接されたもの)の内面： ・図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種 ・B種 ・C種】 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種 ・B種 ・C種】	26.18 減衰材の設置	26.18 減衰材の設置	公6.6 砂利及び砂地業の厚さ： ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm					
4.2 機械式継手	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 機械式継手の種類： ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による	21.6 鉄筋の加工、組立	24. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 2.4. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・	26.19 減衰材の設置	26.19 減衰材の設置	公6.7 砂利及び砂地業の厚さ： ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm					
4.3 溶接継手	溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による	21.8 コンクリートの打込み	25. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 2.5. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・	26.20 減衰材の設置	26.20 減衰材の設置	公6.8 砂利及び砂地業の厚さ： ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm					
7.8 型枠工事	7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ◎20mm ・15mm 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない	21.9 鉄筋の加工、組立	26. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 2.6. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a) (2)による 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・	26.21 減衰材の設置	26.21 減衰材の設置	公6.9 砂利及び砂地業の厚さ： ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm					

項目	特記事項																					
9章 環境配慮改修工事																						
1.1 一般事項	1. アスベスト含有建材の除去工事 封じ込め処理：・適用しない ・適用する【処理方法：・図示・】 囲い込み処理：・適用しない ・適用する【処理方法：・図示・】 アスベスト含有建材除去後の仕上げ：・図示・ 分析によるアスベスト含有の調査：・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-3 アスベスト粉塵濃度測定：・行わない ・行う ・図示・																					
1.5 アスベスト含有成形板の除去	除去工法：◎標準仕様書9.1.5による ・図示・ 除去物の処理：◎密封処理 ・セメント固化 ・図示・																					
2.3 改修工法の種類及び工程	2. 断熱アスファルト防水改修工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・P1BI/・BI-1 ・BI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P2AI/・AI-1 ・AI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・PDI/・DI-1 ・DI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1BI/・BI-1 ・BI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M3DI/・DI-1 ・DI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4DI/・DI-1 ・DI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	・PHR階屋上	・P1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=	・R階屋上	・P2AI/・AI-1 ・AI-2	断熱材：t=		・PDI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=		・T1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=		・M3DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=		・M4DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=
施工部位	工法/種別	備考																				
・PHR階屋上	・P1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=																				
・R階屋上	・P2AI/・AI-1 ・AI-2	断熱材：t=																				
	・PDI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=																				
	・T1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=																				
	・M3DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=																				
	・M4DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=																				
3.2 材料	3. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ：・図示・ 外装材の種類及び防火性能：・図示・																					
3.3 既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去：・図示 ・全面撤去 ・部分撤去 既存外壁下地面の清掃：・図示・ 既存外壁下地欠損部の改修方法：・図示・																					
3.4 工法	断熱材の施工方法：※ノリ仕様による ・図示・ 外装材の施工：・図示・																					
4.2 材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ：・図示・ 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性区分：※U3-1 ・U3-2																					
5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法[※]リソレンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]リソレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 接着剤のM77 [※] 放散量：※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆	種類	種別	厚さ(mm)	・ビーズ法 [※] リソレンフォーム	・	・25	・押出法 [※] リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・						
種類	種別	厚さ(mm)																				
・ビーズ法 [※] リソレンフォーム	・	・25																				
・押出法 [※] リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50																				
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																				
・フェノールフォーム	・	・																				
5.3 現場吹付発砲断熱材	材料：・吹付け硬質ウレタンフォーム 種類：・A種1 難燃材：・1級 ・2級 ・3級 吹付け厚さ(mm)：・図示 ・25 ・30 ・20																					
5.4 断熱材後張り工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法[※]リソレンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]リソレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 接着剤のM77 [※] 放散量：※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆	種類	種別	厚さ(mm)	・ビーズ法 [※] リソレンフォーム	・	・25	・押出法 [※] リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・						
種類	種別	厚さ(mm)																				
・ビーズ法 [※] リソレンフォーム	・	・25																				
・押出法 [※] リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50																				
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																				
・フェノールフォーム	・	・																				
6.2 材料	6. 屋上緑化改修工事 芝の種類：・コウライバ ・シバ 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数：・図示・ 緑材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：・図示・ 建設省告示第1458号に対応した工法：・																					
6.3 工法	灌水装置の設置/種類：・設置しない ・設置する【種類：・図示・】 既存保護層等の撤去：・撤去しない ・撤去する																					
6.4 枯補償	新植芝、地被類の枯保証期間：・1年 ・半年																					
7.2 既存舗装の撤去及び再利用	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去：・撤去しない ◎撤去する【範囲等：・図示 ・改修部分全面】 既存舗装の再利用：・再利用しない ・再利用する【範囲等：・図示 ・改修部分全面】																					
7.3 路床	凍上抑制層の適用：◎適用しない ・適用する 厚さ：・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用：◎適用しない ・適用する 厚さ：車道部【・150mm ・ mm】 歩道部【・50mm ・ mm】																					

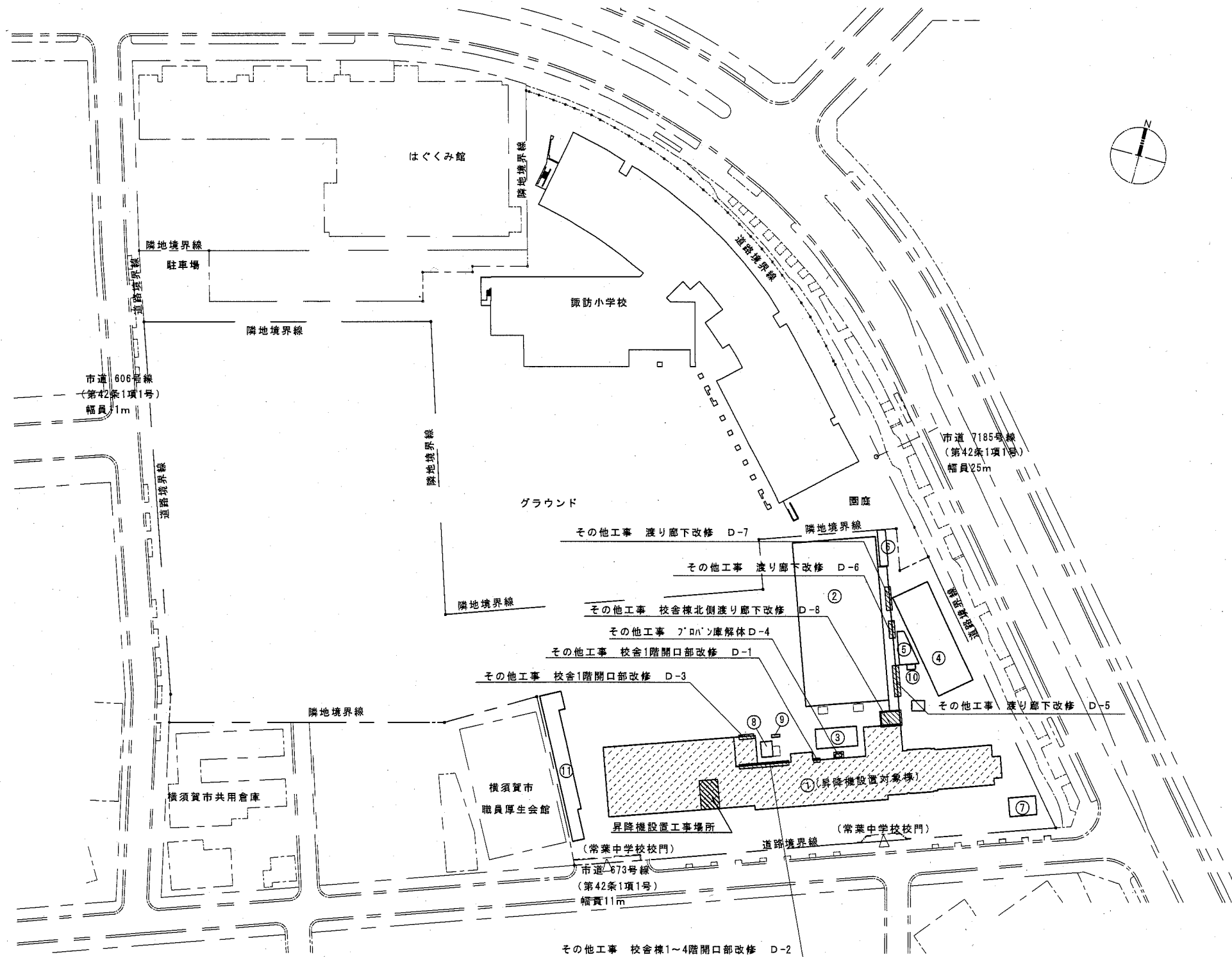
項目	特記事項
7.3 路床	路床安定処理の適用：◎適用しない ・適用する 路床安定処理の方法：・添加材料による処理 ・図示 ・ 処理内容：【厚さ：・300mm ・】 【目標CBR：・5以上 ・】 盛土の種類：・A種 ・B種 ・C種 ・D種 フィルター層の材料：・砂 ・図示 ・ 砂の品質：・75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料：・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメント ・生石灰【・特号 ・1号】 ・消石灰【・特号 ・1号】 ジオテキスタイルの適用：・適用しない ・適用する； 路床土のCBR試験：◎行わない ・行う【・乱した土 ・乱さない土】 路床締固め試験：・行う ◎行わない 車道部の路盤の厚さ：・図示 ・150mm ◎200mm 歩道部の路盤の厚さ：・図示 ・100mm 路盤の材料：※砕石【※クラックラン ・粒度調整砕石】 ※再生材 ◎ラックラン ※ラックラン鉄鋼スラグ ・粒度調整砕石】
7.4 路盤	舗装の厚さ(mm)：車道部【・50mm ・ mm】 歩道部【・30mm ・ mm】 舗装の平坦性：・図示 ※標準仕様書による アスファルトの種類(車道部)：・図示 ※再生密粒
7.5 舗装の構成及び仕上り	アスファルトの種類(歩道部)：・図示 ※ストリートアスファルト アスファルトの抽出試験：・行う ◎行わない
7.9 試験	

No	工事内容	建築	電気	機械	備考
1	小荷物専用昇降機計画申請手続き		○		
2	仮設足場(脚立を除く)	○			
3	養生材運搬・処分	○	○	○	
4	養生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修		○	○	
6	点検口(天井・壁)取付及び開口補修	○			
7	天井付各種設備器具取付、取付後及び開口補修	○			
8	天井付各種設備器具取付		○		
9	ステンレス製(木製)流し(トラップ共)	○			
10	同上 水栓金具及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水目皿 用蓋シリング	○			
15	排水溝、側溝設置及び配管敷設工事			○	
16	配管・蓋設置(グレーチング含む)(配管接続は機械設置工事)	○			
17	換気扇取付用アルミパネル	○			
18	同上 穴あけ	○			
19	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
20	給気口及び室内レジスター			○	
21	給気ガラリ	○			
22	空調機各種リモコン			○	
23	空調機外機・室内機取り付け(冷暖房共巻き)			○	
24	空調機第一次側電源供給		○		
25	プロパン庫 撤去(コンクリートブロック製)	○			
26	プロパン庫 新設			○	
27	プロパン庫 基礎新設	○			
28	昇降機の築造工事及び仕上げ工事	○			
29	昇降機ピット防水	○			
30	昇降機頂部機器保護用ビームの設置工事	○			
31	各階出入口三方枠、インジケーター、昇降機の取付用下地及び穴あけ	○			
32	出入口三方枠、数値、インジケーター等取付後の調整	○			
33	乗場関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
34	かご前壁と昇降路壁を125mm以下にするフェッシャープレート設置		○		
35	昇降機ピット内の点検用タラップ		○		
36	ストープ取外し	○			学校へ返納
37	同上スリーブキャップ取付け	○			



付近見取り図

敷地面積		14,224.00㎡		
建物別面積表				
記号	建物名称	建築面積	延床面積	最高高さ
①	校舎	1,231.38㎡	4,555.18㎡	15.20 m
②	体育館	862.00㎡	888.84㎡	11.40 m
③	体育倉庫	44.55㎡	44.55㎡	3.70 m
④	技術科教室	234.00㎡	234.00㎡	5.60 m
⑤	渡り廊下	25.60㎡	25.60㎡	4.30 m
⑥	渡り廊下	17.52㎡	15.40㎡	2.145 m
⑦	倉庫	29.70㎡	29.70㎡	4.25 m
⑧	倉庫	9.90㎡	9.90㎡	3.50 m
⑨	灯油庫	3.92㎡	3.92㎡	2.25 m
⑩	ゴミ置き場	2.40㎡	2.40㎡	1.78 m
⑪	部室	127.57㎡	127.57㎡	4.95 m
合計		2,588.54㎡	5,937.06㎡	



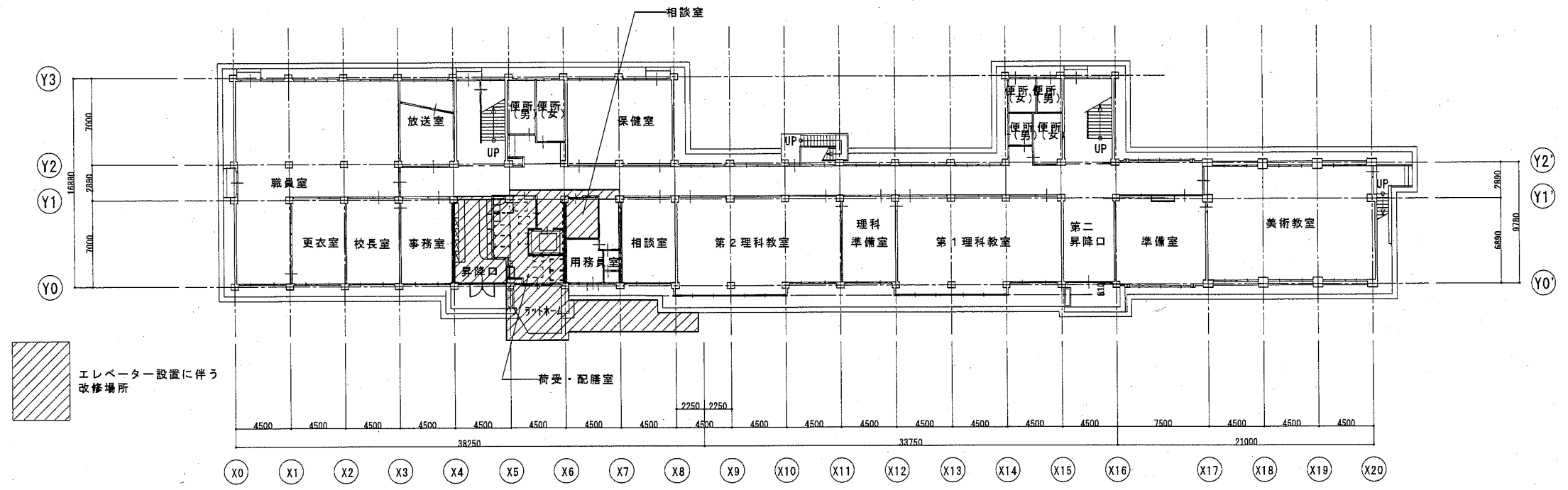
配置図

工事概要	昇降機（エレベーター）設置建築工事		その他改修工事		
	・ 1階昇降口を荷受室・配膳室に、2階会議室、3階、4階教室を配膳室に改修する。		・ D-1: 校舎棟1階開口部を改修	・ D-5,6,7: 体育館渡り廊下の壁パネル撤去	・ 左記に伴う電気設備工事（別途工事）
	・ 上記に伴い、残存する各室を改修する。		・ D-2: 校舎棟1～4階開口部を改修	・ D-8: 渡り廊下改修、パネル胴縁撤去、屋根改修、鉄部（柱・梁）耐火塗料塗り	・ 左記に伴う機械設備工事
	・ パンコーナーを相談室に改修する。		・ D-3: 校舎棟1階開口部を改修		
	・ 昇降口の階段を一部解体して、プラットホームを新設する。		・ D-4: プロバン庫（ブロック造）解体・撤去	・ 開口部改修：既存透明ガラスを撤去しt=6.8mm網入り（透明・型板）ガラス取り付け	
・ プラットホーム新設の為、既設花壇を撤去して舗装の改修を行う。			防火設備用耐火シーリング共		
・ 既設足洗い場を解体撤去してX5通りに新設する。					

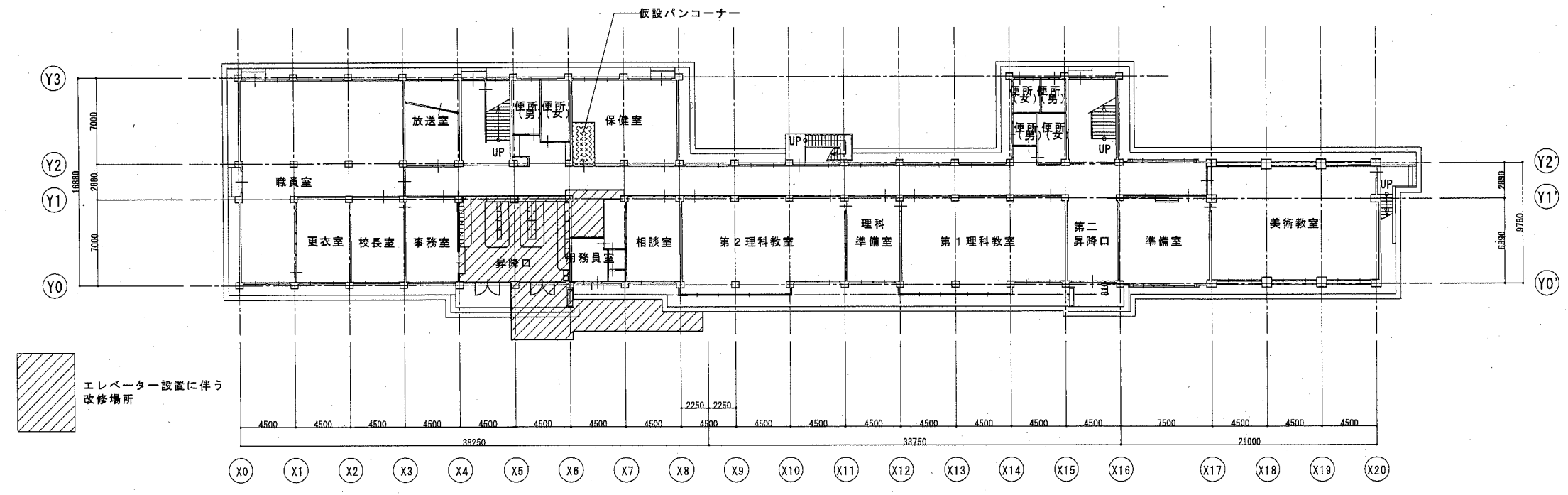
内部仕上げ表							
		床	巾木	壁	天井	備考	
1階	既存	昇降口	X4～X5間 床タイル撤去、靴脱ぎ部コンクリート一部撤去	塗り巾木	コンクリート、モルタル補修の上 EP	廊下部：LGS下地せこうボード張り部分撤去	Y0通り、X5～X6間フロントサッシ撤去
			X5～X6間 床タイル、土間コンクリート、靴脱ぎ部コンクリート撤去				LGS下地せこうボード張り 撤去
	改修	荷受室・配膳室 昇降口	X4～X5間 タイル撤去部、床モルタルt=15の上、防滑性ビニシート貼りt=2.5		配膳室内一化粧ケイカル板t=6	LGS下地化粧せこうボードt=9.5張り	※（壁の構造については、詳細図を参照）
			靴脱ぎコンクリート部：増し打ち（あと施工アンカー、溶接金網4φ×100） 靴脱ぎコン：下地調整の上、ビニシートt=2.5		ホール、廊下-EP-G 昇降口面-EP-G		
		X5～X6間 土間コンクリート新設、モルタルt=28の上ビニシート貼りt=2.0	ビニ巾木 H-300				
2階	既存	第一会議室		ビニ巾木 撤去	コンクリート、モルタル補修の上 EP	会議室：既存天井撤去なし	Y1通り、X5～X6間アルミパーテーション撤去
			X4～X6間 ビニシート撤去			廊下部：LGS下地せこうボード張り部分撤去	掲示板撤去（6.4m×1.6m程度）
	改修	配膳室 会議室	配膳室：下地調整の上、ビニシート貼りt=2.0	配膳室 ビニ巾木H-300	配膳室内一化粧ケイカル板t=6	配膳室：LGS下地化粧せこうボードt=9.5張り	既存アルミサッシに換気扇を設置する為
			会議室：下地調整の上、ビニシート貼りt=2.5 廊下部分：下地調整の上、ビニシート張りt=2.5（コイン）	会議室 ビニ巾木 H-100 廊下 新規壁部 ビニ巾木H-100 廊下 既存壁部 EP-G	会議室新設壁上部-掲示板、下部-EP-G 会議室新設壁以外-そのまま	廊下部：LGS下地せこうボード張り EP	既設ガラスを撤去しアルミパネルt=3及びガラス取り付け
3階	既存	特別支援教室	X5通り付近、ビニシート部分撤去	塗り巾木 そのまま	コンクリート、モルタル補修の上 EP	特別支援：9.5+12岩補吸音板撤去LGS共	Y1通り、X5～X6間アルミパーテーション撤去
			X5～X6間 ビニシート撤去			廊下部：LGS下地せこうボード張り部分撤去	掲示板撤去（6.4m×1.6m程度）
	改修	配膳室 特別支援教室	X4～X5間 そのまま	配膳室 ビニ巾木H-300	配膳室内一化粧ケイカル板t=6	配膳室：LGS下地化粧せこうボードt=9.5張り	既存アルミサッシに換気扇を設置する為
			X5～X6間 下地調整の上、ビニシート貼り 廊下部分：下地調整の上、ビニシート張りt=2.5（コイン）	特別支援教室 新規壁 ビニ巾木 H-100 廊下 新規壁部 ビニ巾木H-100 廊下 既存壁部 EP-G	特別支援新設壁上部-掲示板 特別支援新設壁下部-EP-G	特別支援：LGS下地化粧せこうボードt=9.5張り	既設ガラスを撤去しアルミパネルt=3及びガラス取り付け
4階	既存	国際教室	X5通り付近、ビニシート部分撤去	塗り巾木 そのまま	コンクリート、モルタル補修の上 EP	国際教室は既存天井撤去なし	Y1通り、X5～X6間アルミパーテーション撤去
			X5～X6間 ビニシート撤去			廊下部：LGS下地せこうボード張り部分撤去	掲示板撤去（6.4m×1.6m程度）
	改修	配膳室 国際教室	X4～X5間 そのまま	国際教室 新規壁 ビニ巾木 H-100	配膳室内一化粧ケイカル板t=6	配膳室：LGS下地化粧せこうボードt=9.5張り	既存アルミサッシに換気扇を設置する為
			X5～X6間 下地調整の上、ビニシート貼り 廊下部分：下地調整の上、ビニシート張りt=2.5（コイン）	廊下 新規壁部 ビニ巾木H-100 廊下 既存壁部 EP-G	国際教室新設壁上部-掲示板、下部-EP-G	国際教室：そのまま	既設ガラスを撤去しアルミパネルt=3及びガラス取り付け
				ホール、廊下-EP-G	廊下部：LGS下地せこうボード張り EP	※（壁の構造については、詳細図を参照）	

外部仕上げ表	
外壁	・ 仕上塗材：建築用塗膜防水材塗り JIS6021（ローラーさざ波模様 シリコン仕上） ・ 下地調整：C-1
プラットホーム	・ 床-コンクリート金コテ仕上げ（水勾配） ・ 立ち上がり-コンクリート打放し補修 ・ 荷卸角部- L-65×65×6 アングル取り付け（溶融亜鉛メッキ品） ・ W-150グレーチング付排水側溝 ステンレス製、細目、ノンスリップタイプ ・ アスファルト舗装改修

参考資料	
土間コンクリート	モルタルt=28+コンクリートt=120、靴脱ぎ部コンクリートt=70
2,3,4階スラブコンクリート	モルタルt=28+コンクリートt=120
荷受室、配膳室ビニシート	抗菌、耐動荷重性床シートt=2.0
廊下、教室、昇降ロビニシート	廊下はコインタイプt=2.51、昇降口は外部用防滑性シートt=2.5、靴脱ぎ部 無地t=2.5、会議室・教室マーブルt=2.5
床下地調整	ポリマーセメントペースト塗り
AD-1	豊和工業株式会社 HAA-100-GII-K 同等品 【性能】耐風圧性：S-6、気密性：A-4、水密性：W-5 フラットレール
化粧ケイカル板	t=6 ジョイント、コーナー、端部はアルミジョイナー 使用

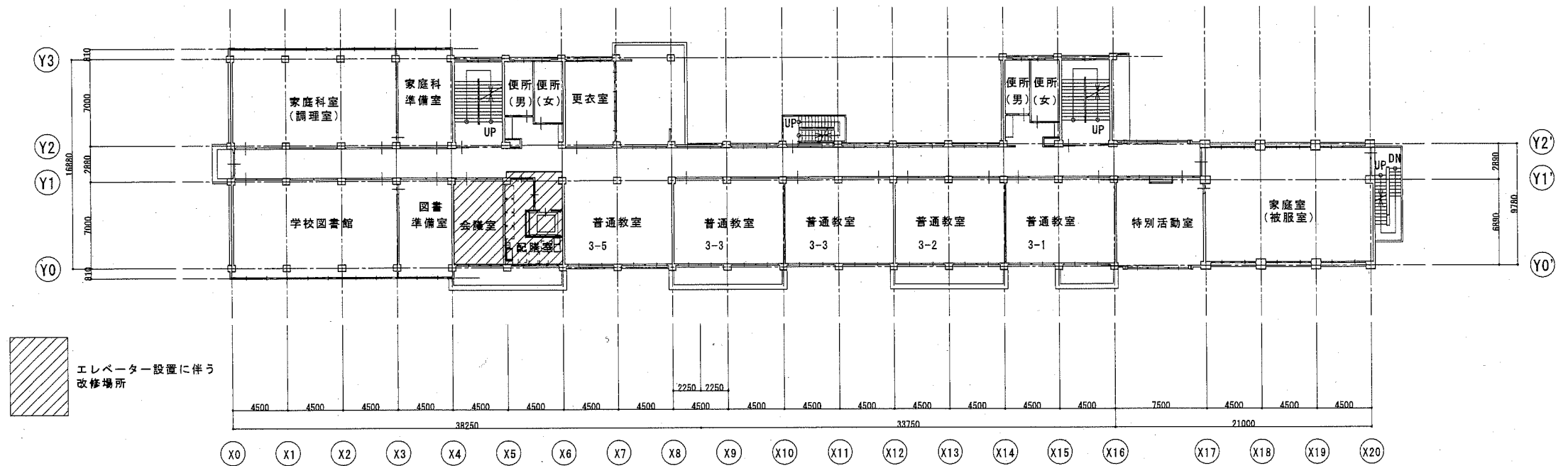


1 階 改修平面図 S=1/300

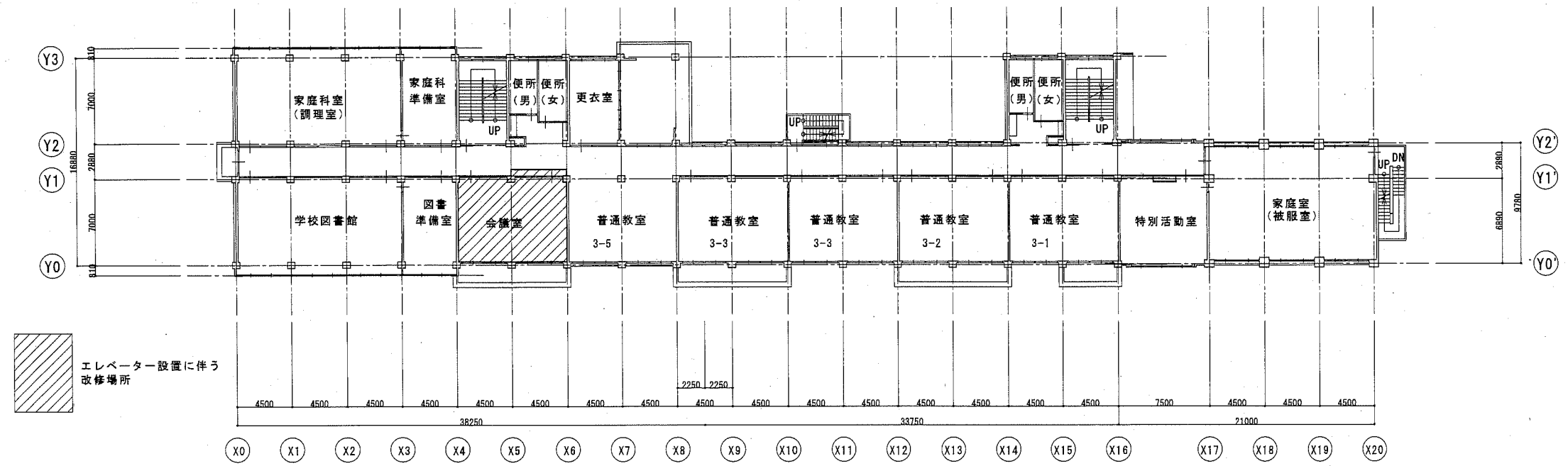


1 階 既存平面図 S=1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-10
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 1階平面図(既存・改修)	1/300	

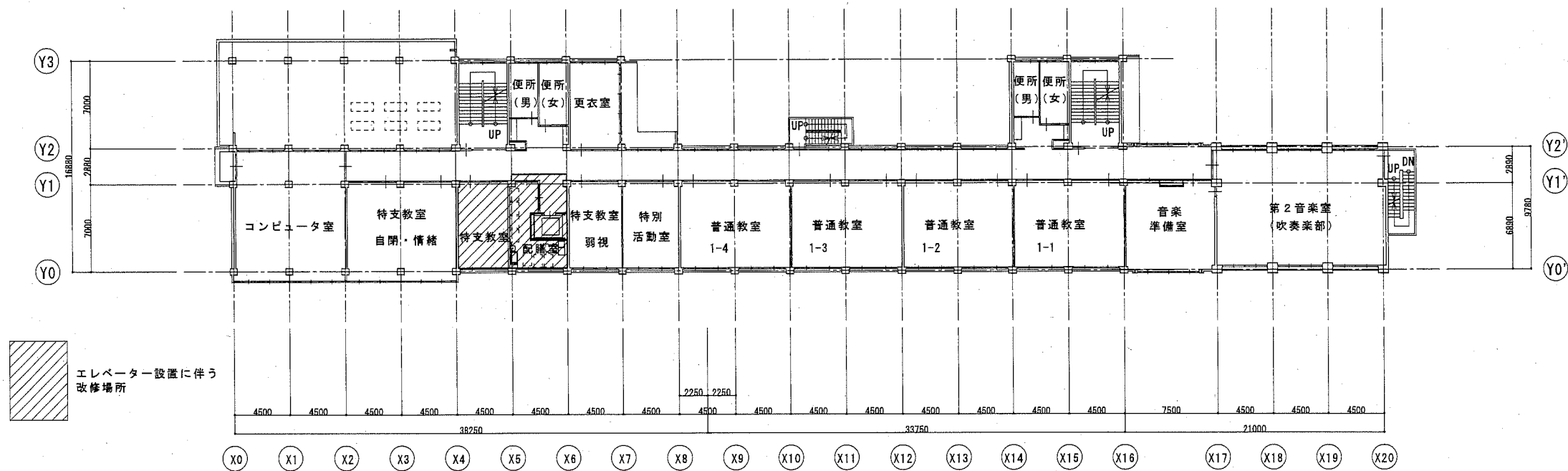


2 階 改修平面図 S=1/300

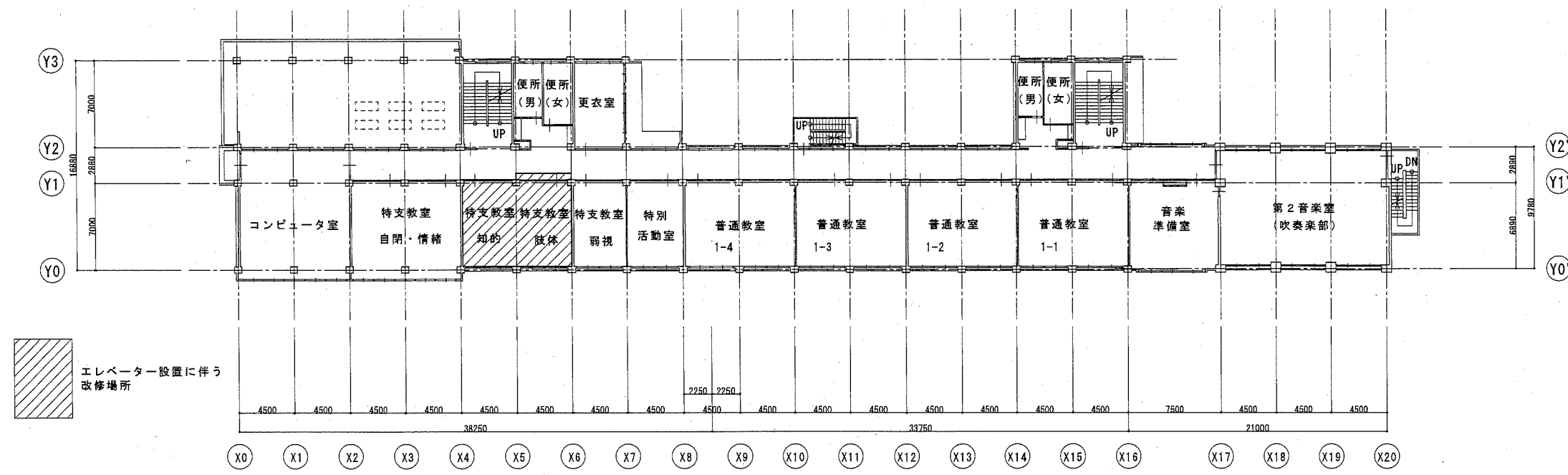


2 階 既存平面図 S=1/300

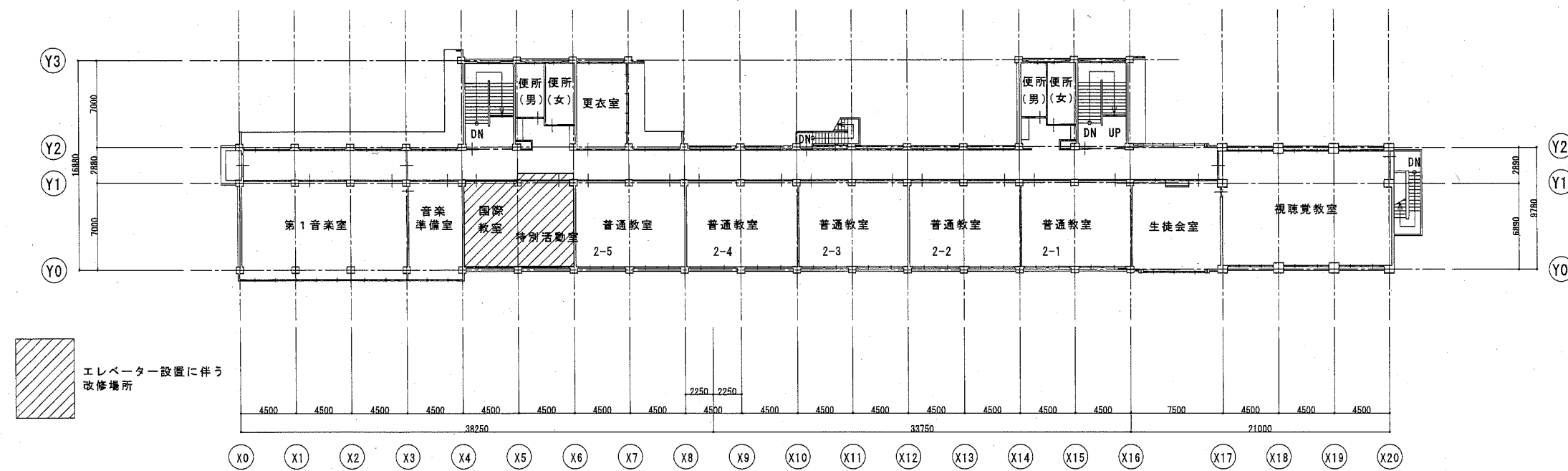
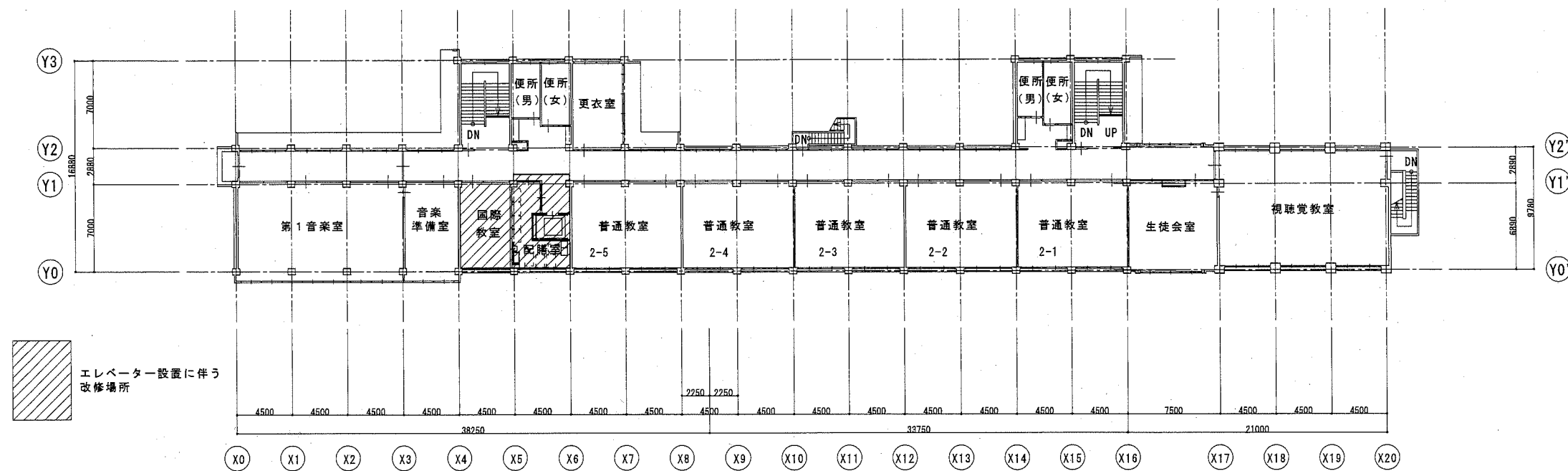
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-11
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 2階平面図(既存・改修)	1/300	



3 階 改修平面図 S=1/300



3 階 既存平面図 S=1/300

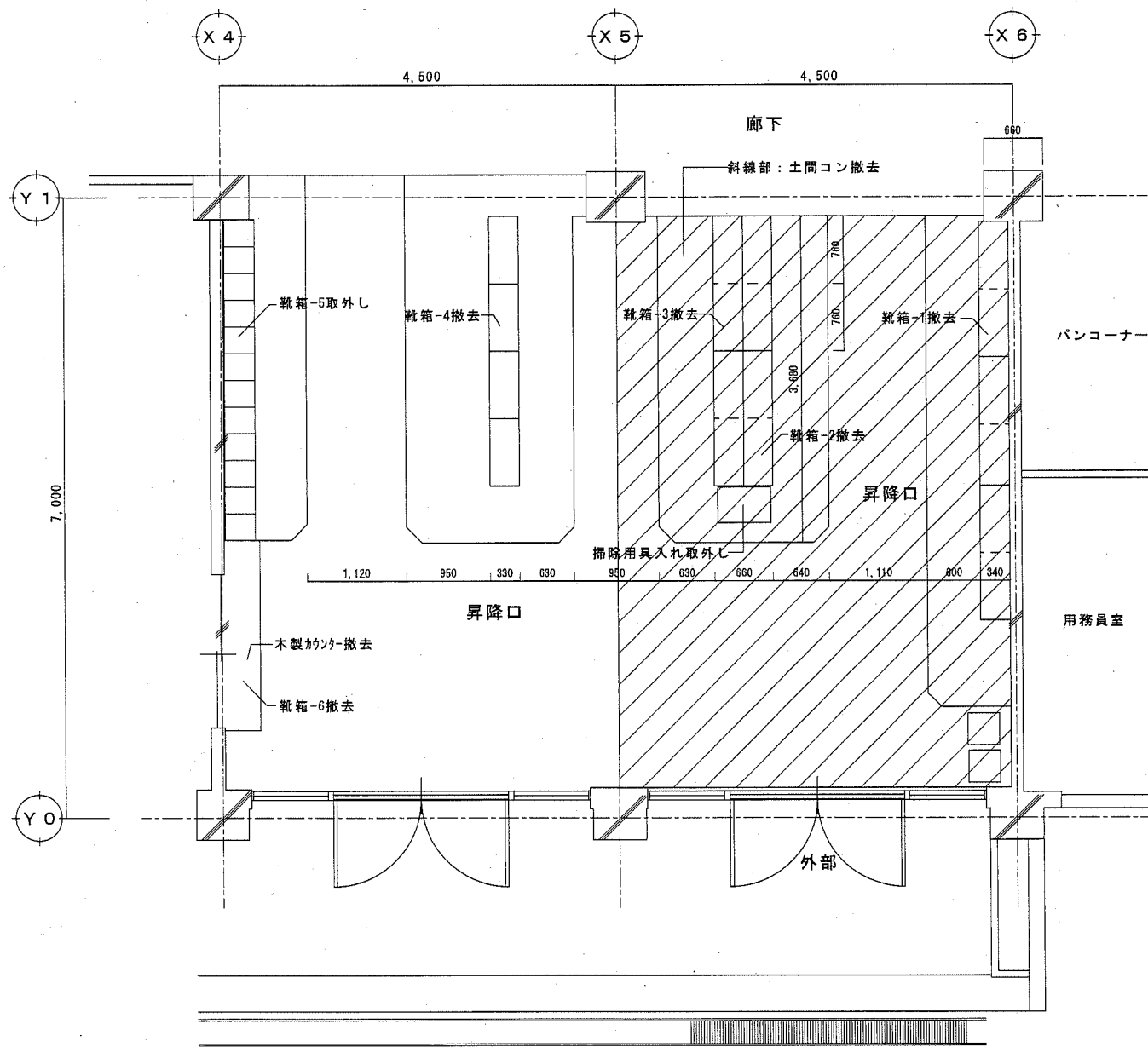


公共建築課長	主査等	担当者

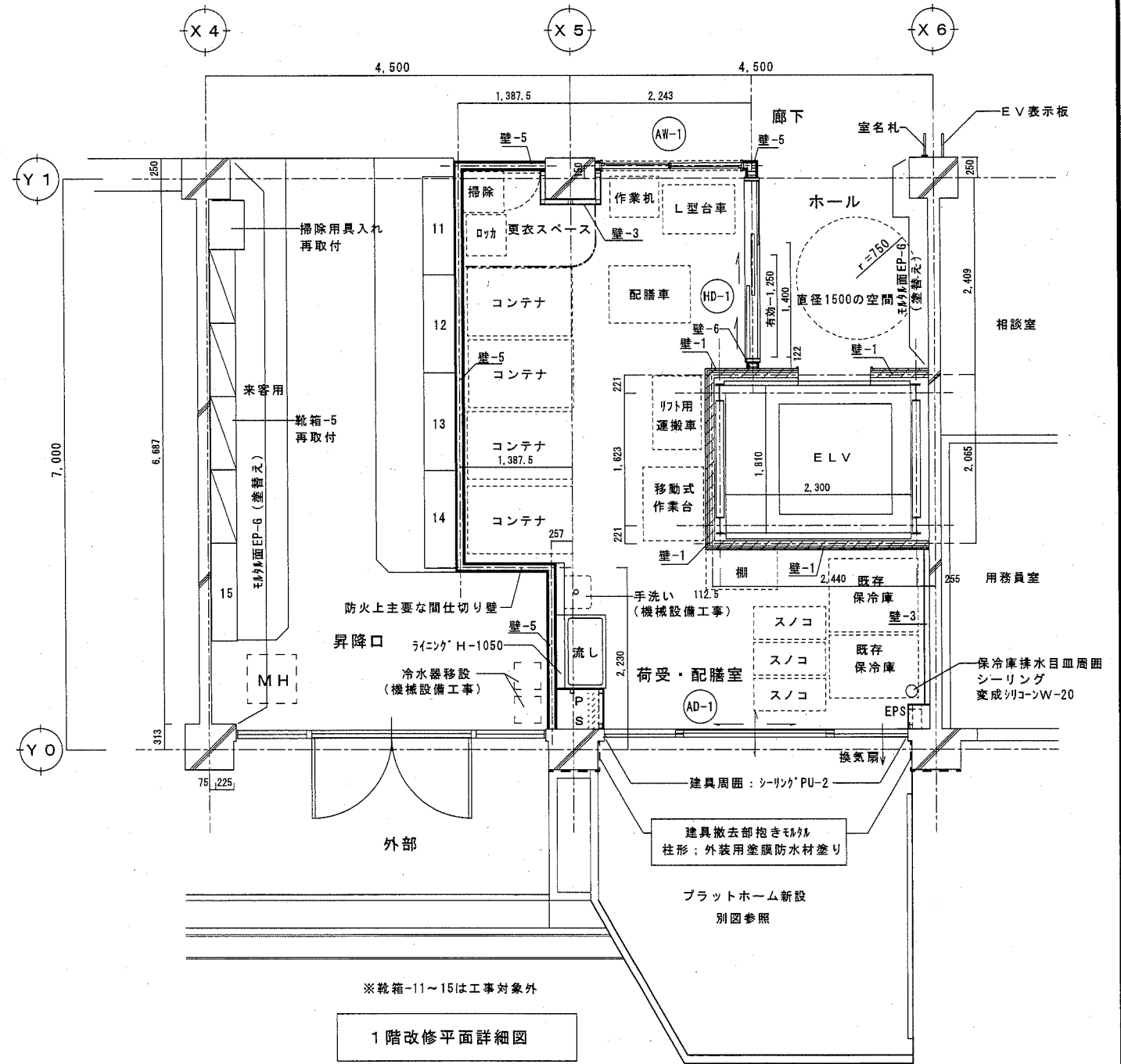
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立常葉中学校昇降機設置その他建築工事
図面名称 4階平面図(既存・改修)

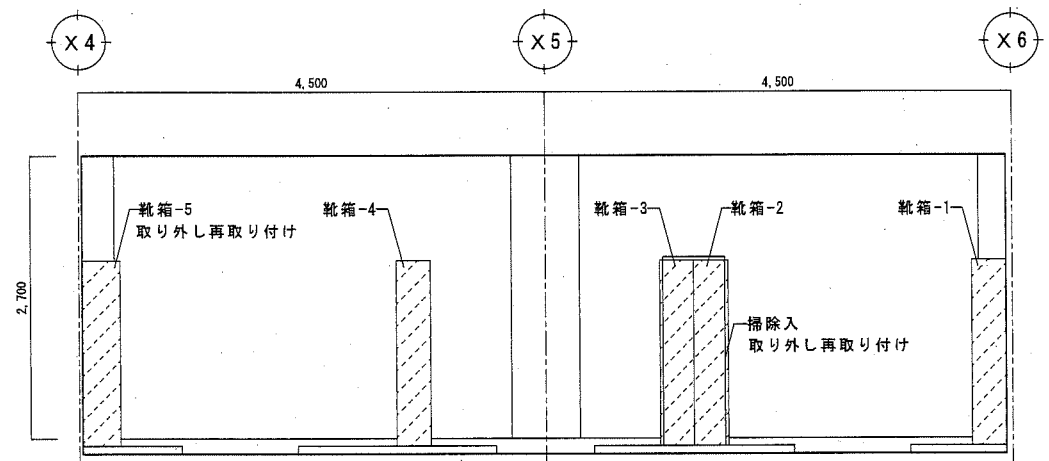
縮尺	A-13
1/300	
No.	



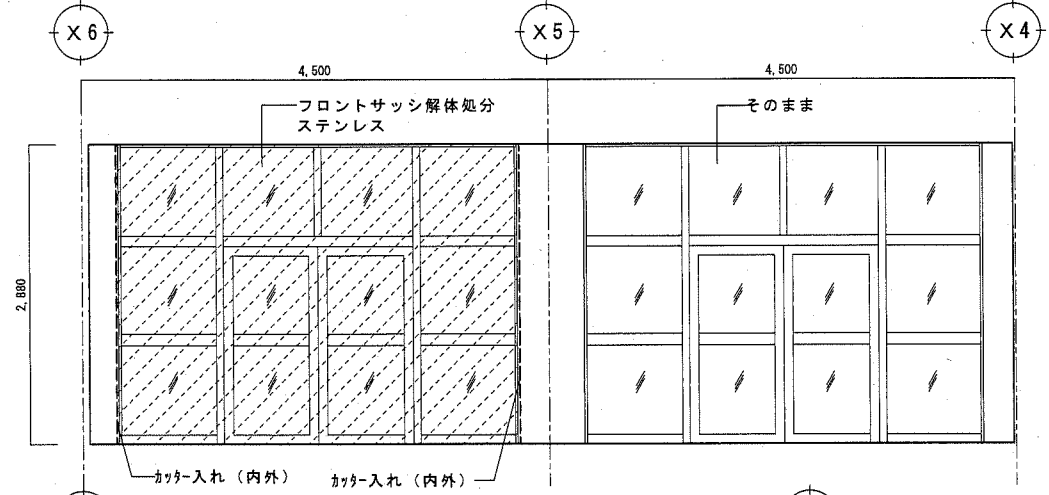
1階既存平面詳細図



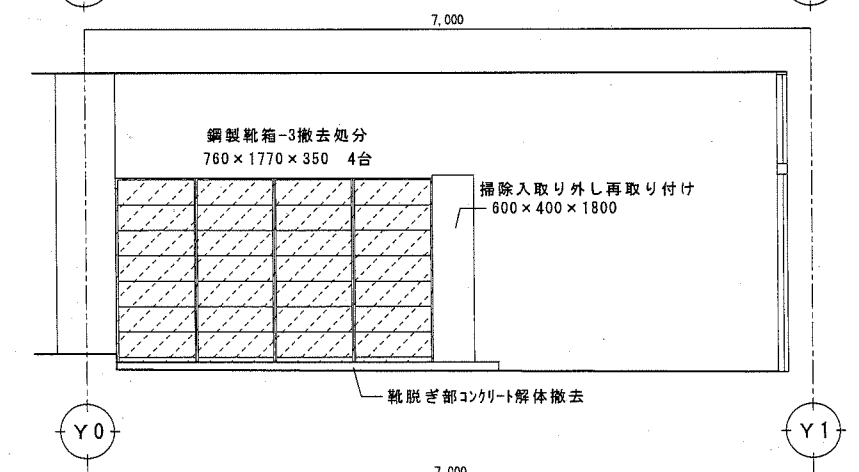
1階改修平面詳細図



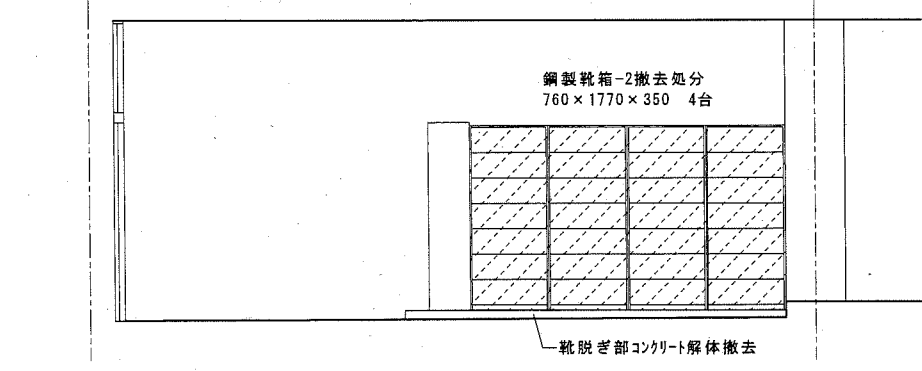
A-面



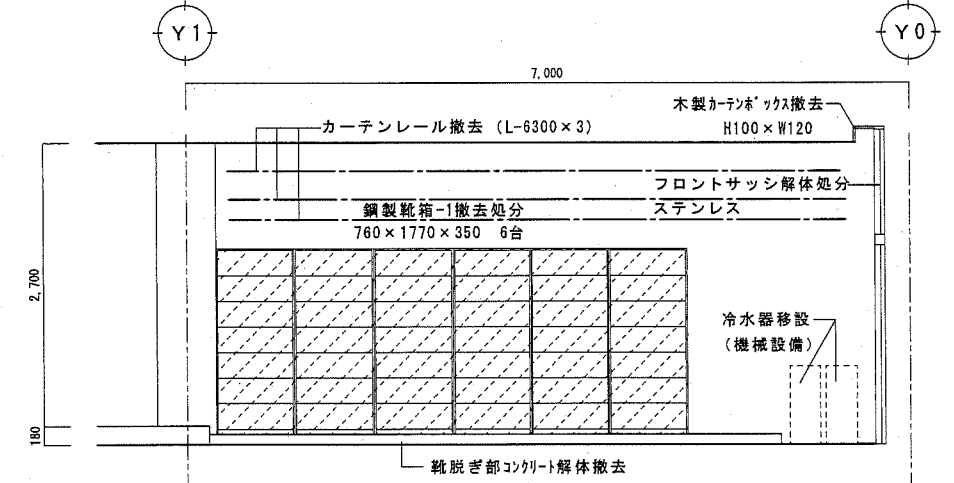
C-面



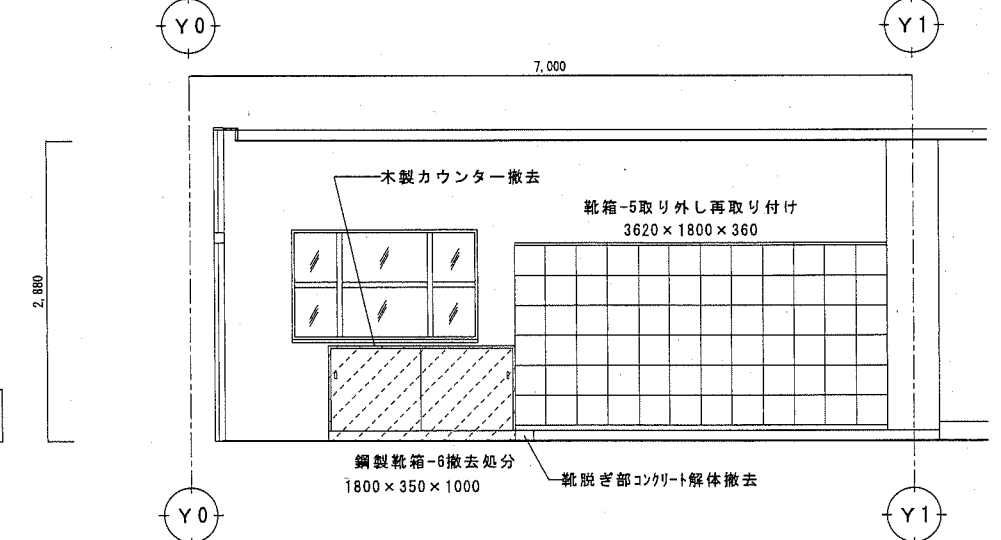
B-2面



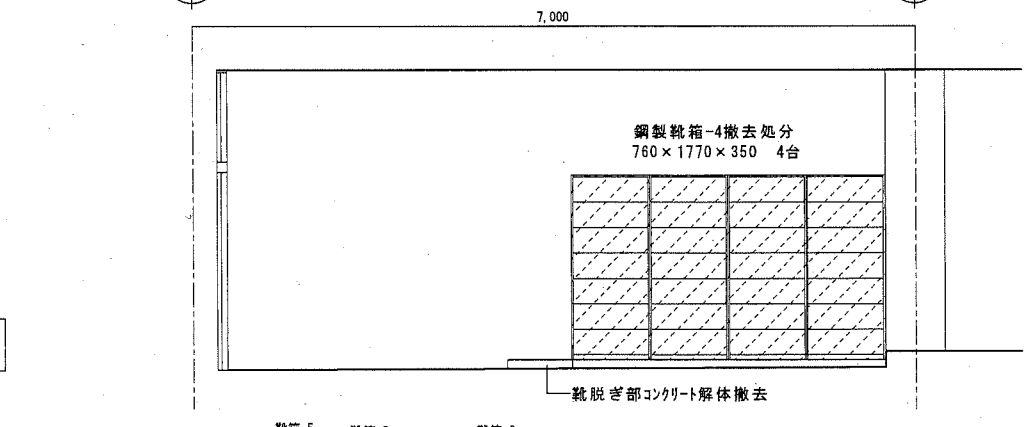
D-3面



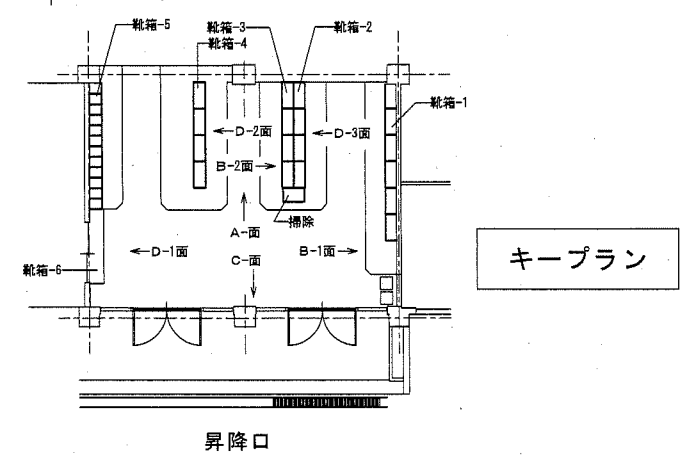
B-1面



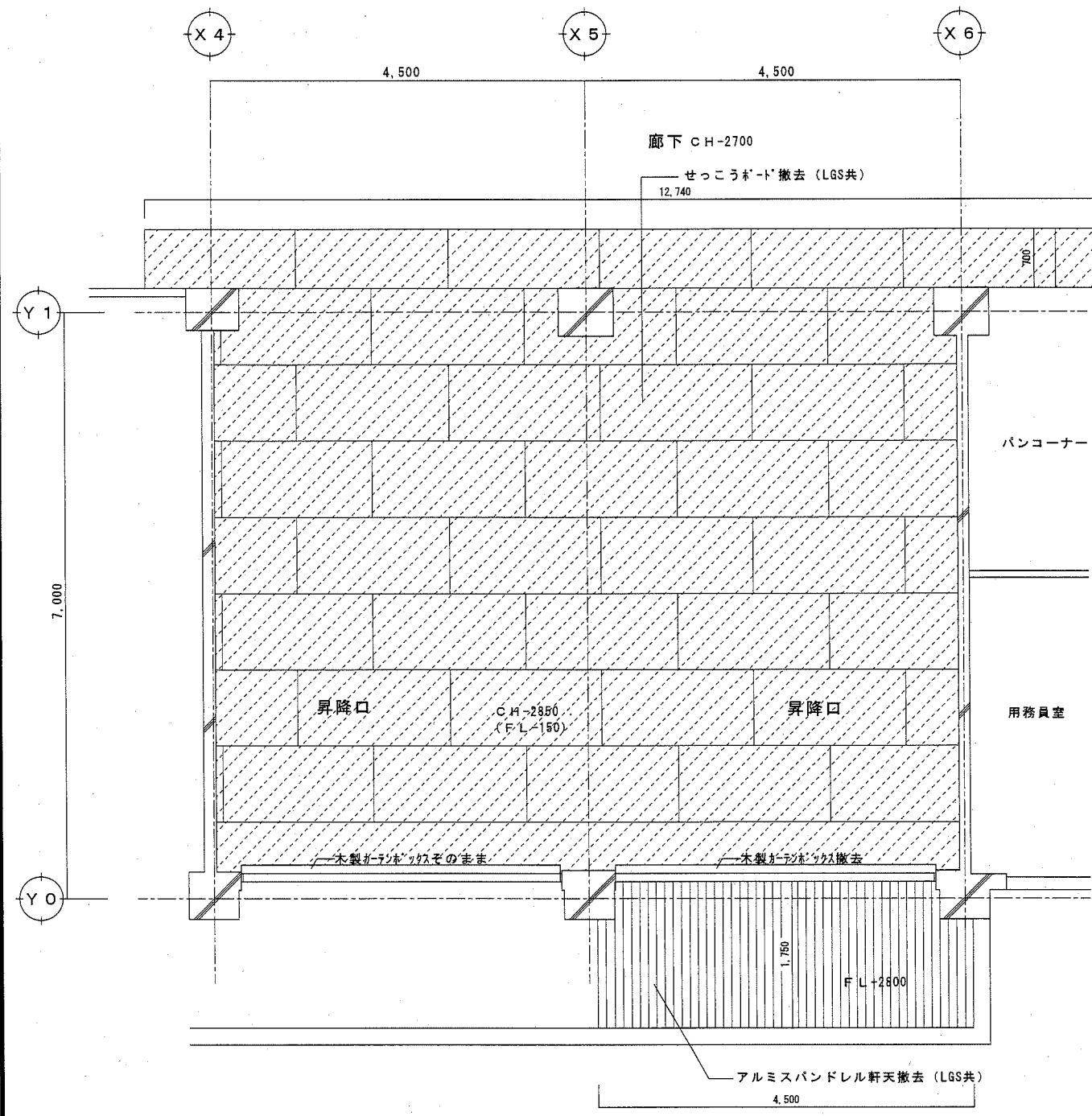
D-1面



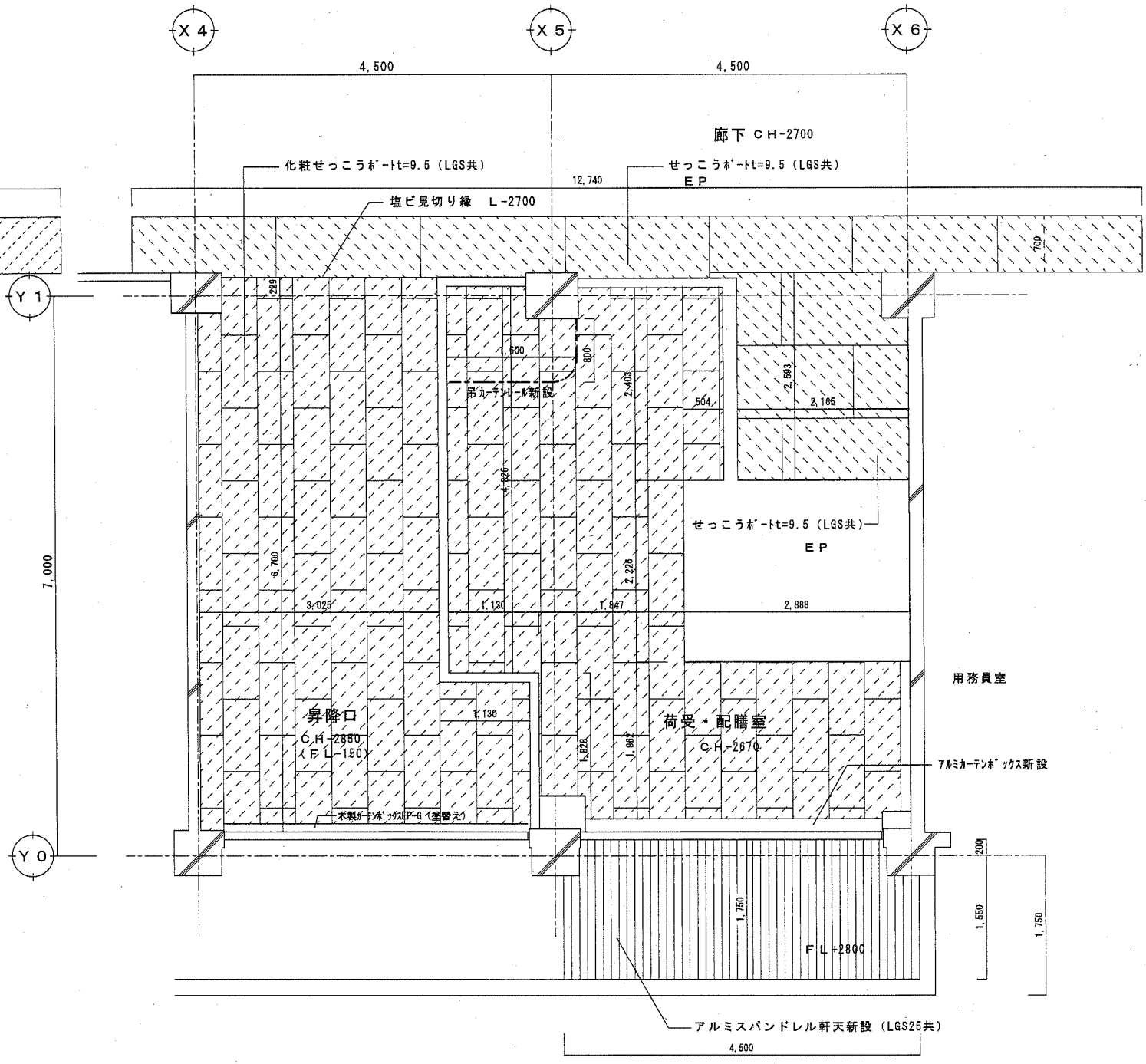
D-2面



キープラン

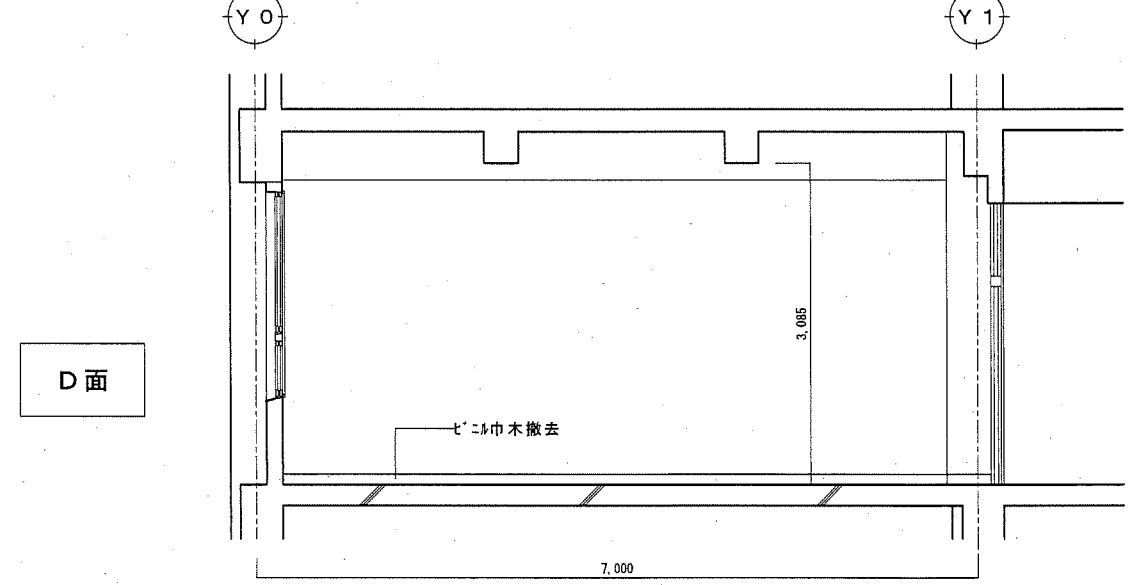
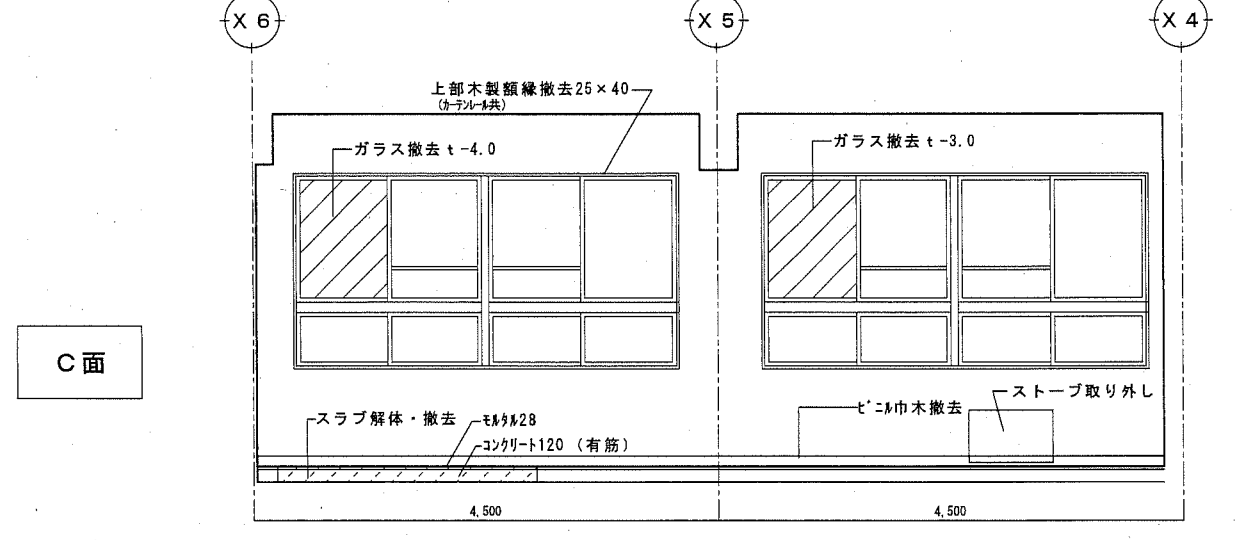
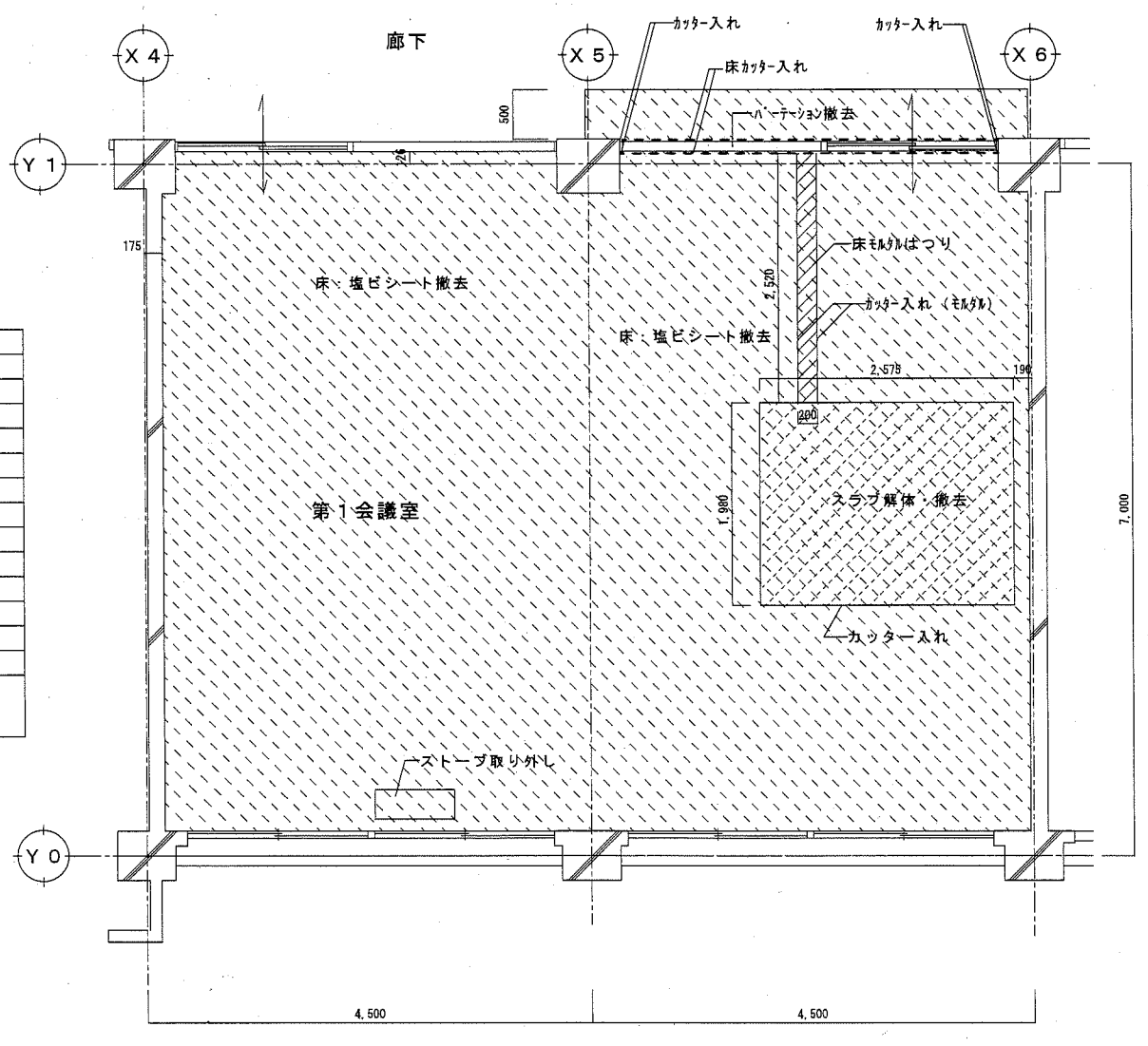
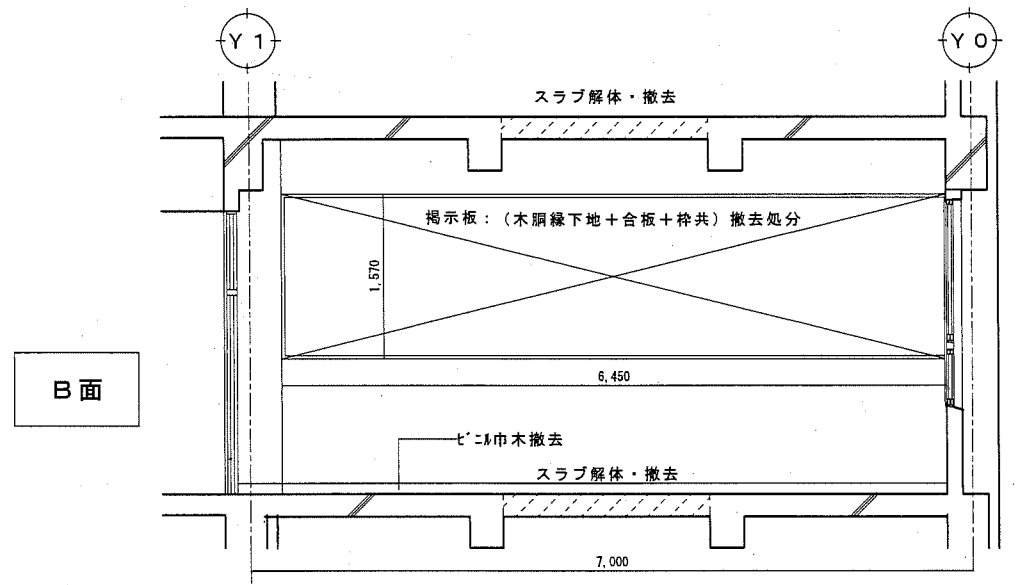
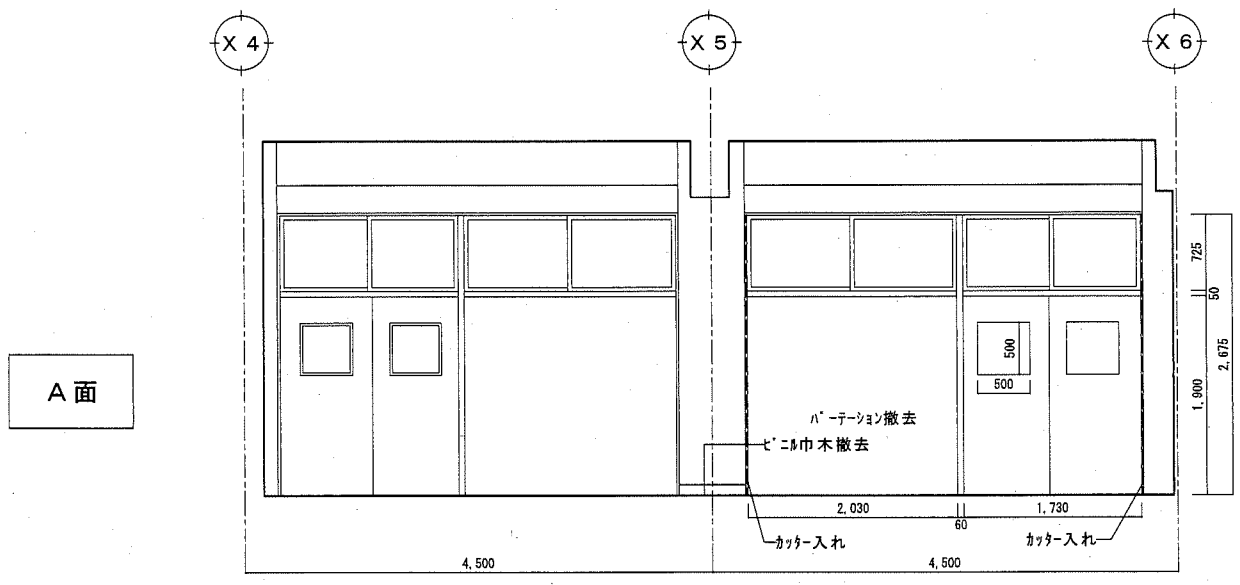


昇降口既存天井伏せ図



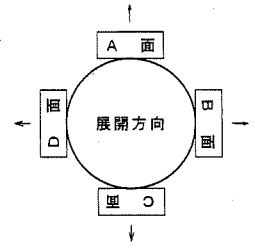
昇降口・荷受室改修天井伏せ図

※荷受・配膳室に天井点検口アルミ枠450角、1か所新設
取り付け位置は監督員と協議うえ決定すること。

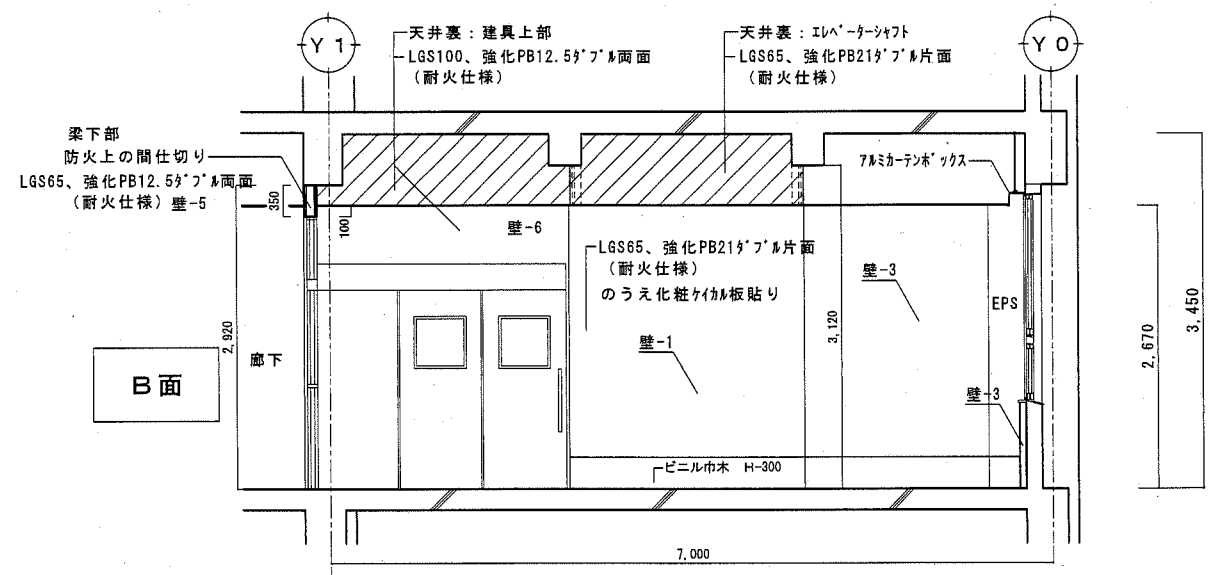
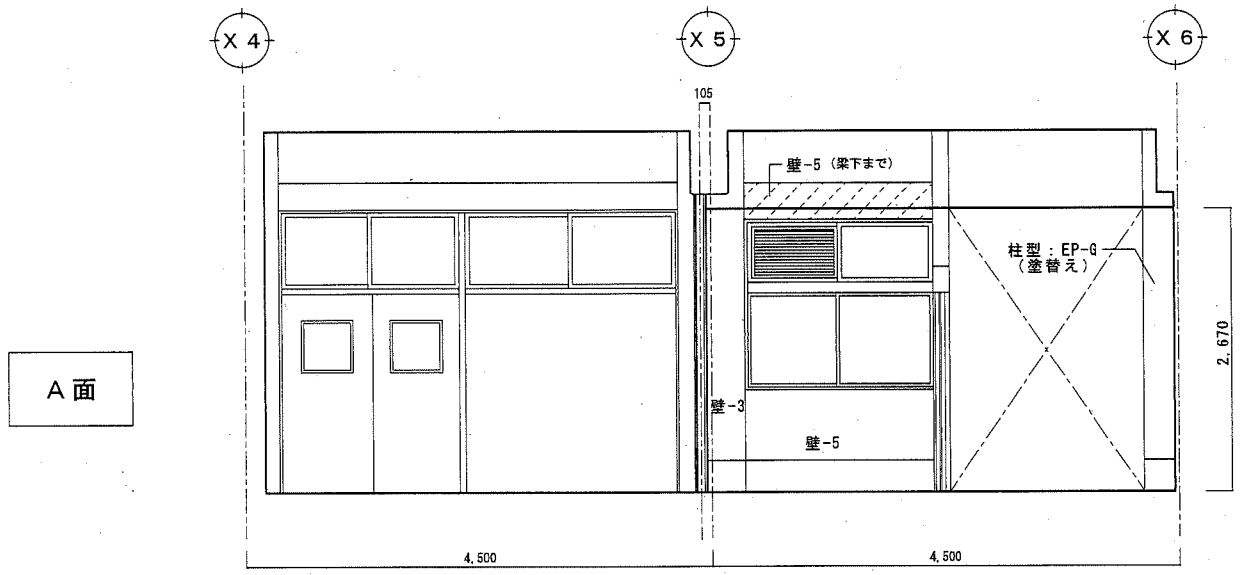


内部仕上表

部位	仕上げ
床	長尺塩ビシート撤去
巾木	ビニル巾木撤去
壁	
A面	X5~X6パーティション撤去
B面	掲示板撤去
C面	躯体: EP、ガラス一部改修
D面	
天井	木毛セメント板 柔型: 内装吹き付け材



2階既存平面詳細図

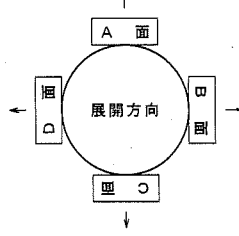
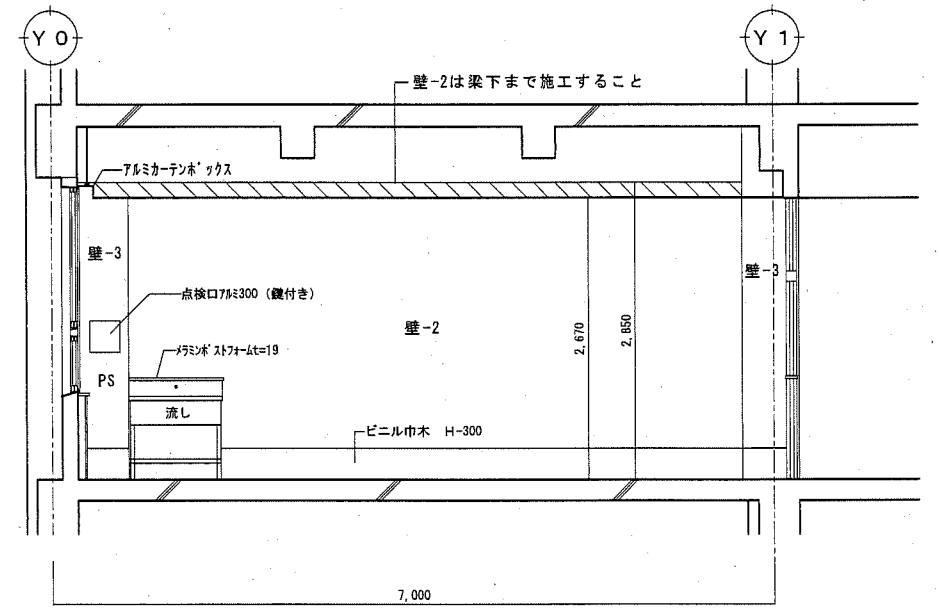
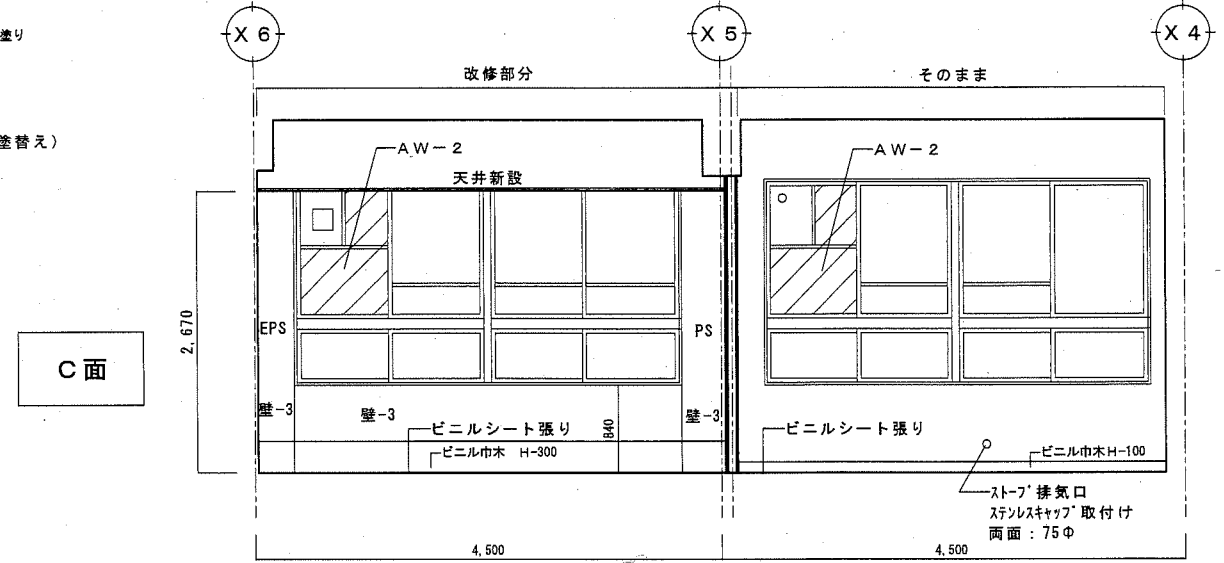
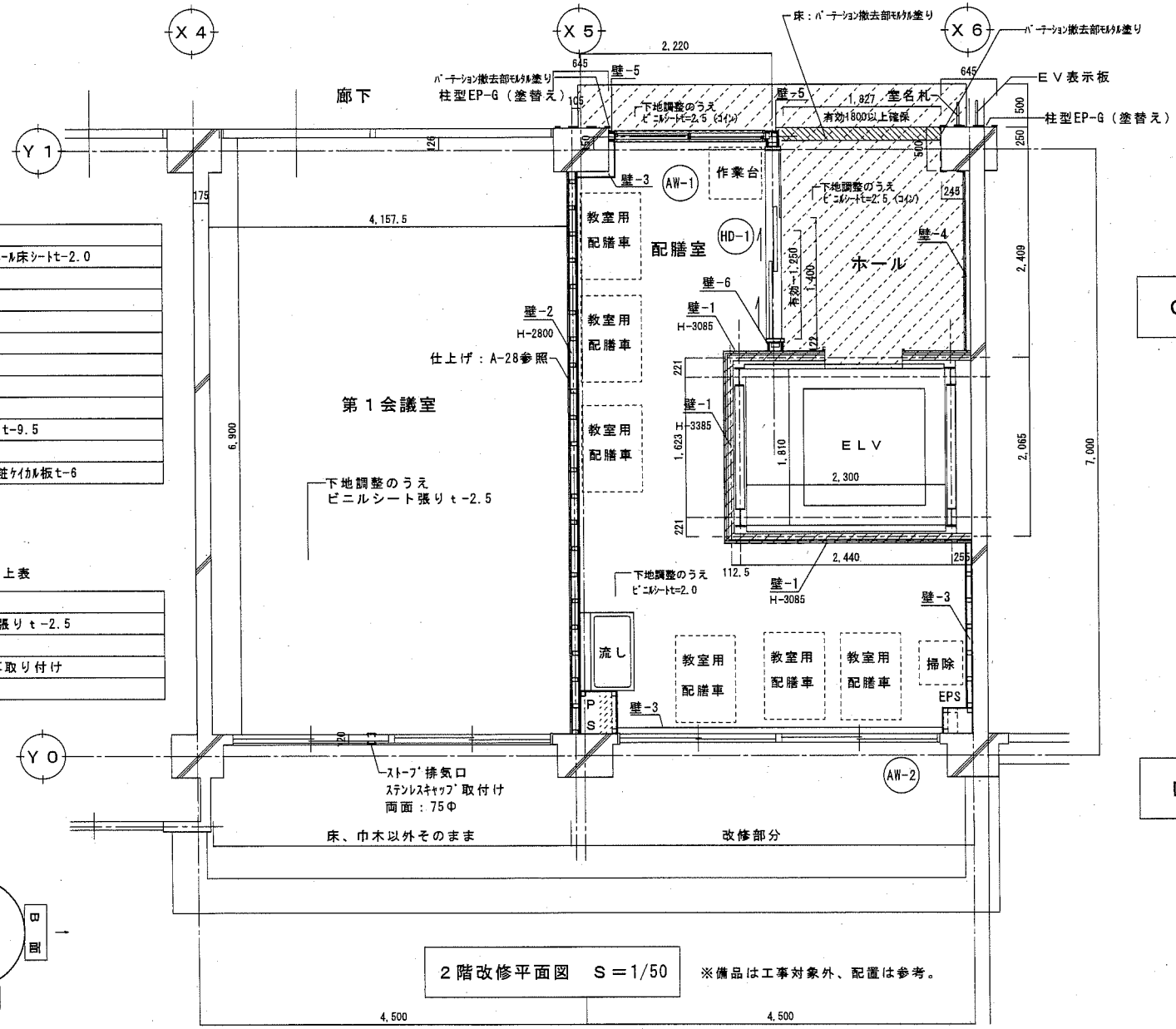


配膳室内部仕上表

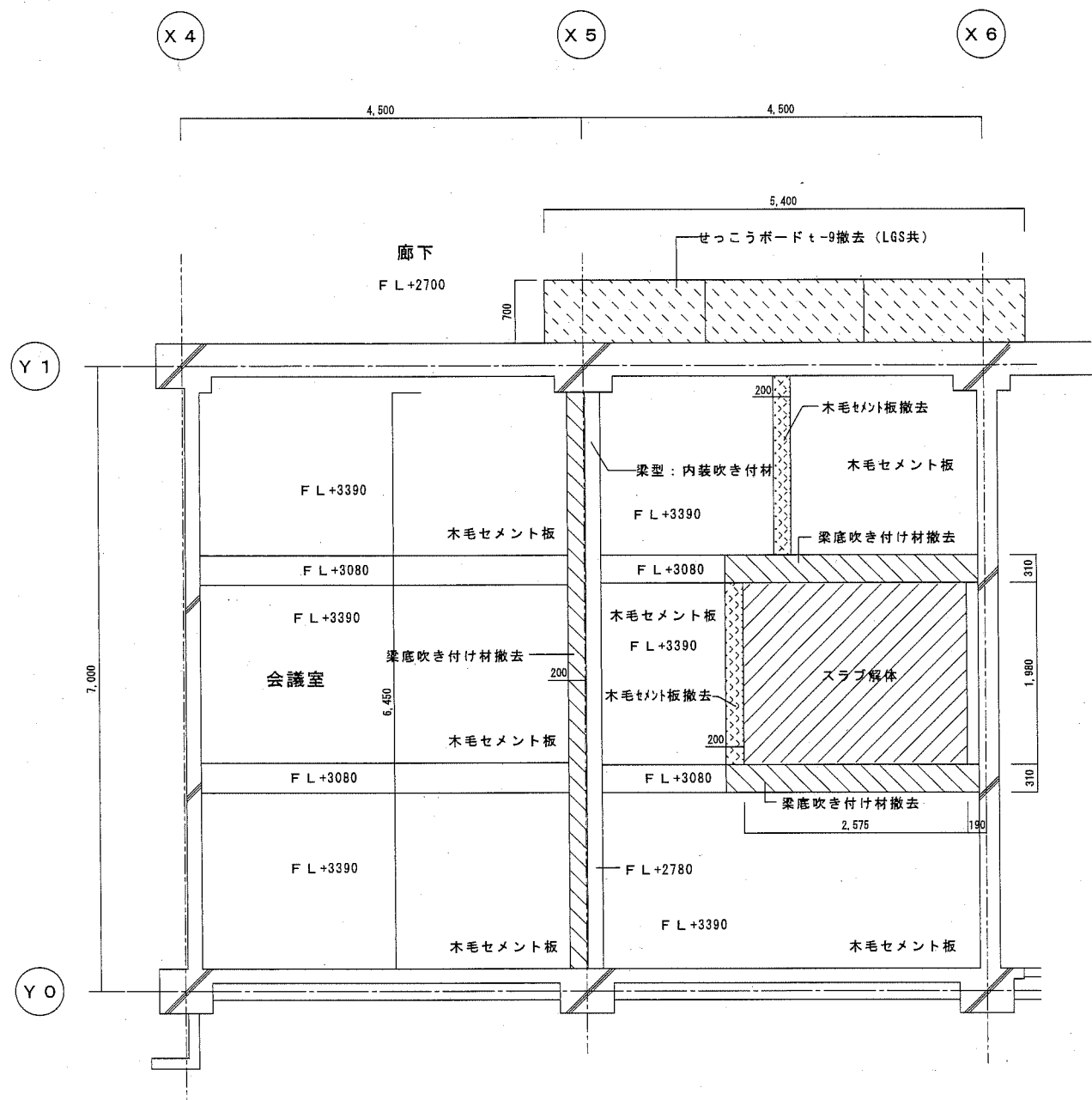
部位	仕上げ
床	下地調整+配膳室用ビニール床シート-2.0
巾木	ビニル巾木 H-300
壁	
A面	壁-5
B面	壁-1, 3, 5
C面	壁-3
D面	壁-2
EV部	壁-1
天井	LGS下地化粧石膏ボード-t-9.5
廻縁	樹脂製の字型
PS部	LGS下地ケイ酸板-t-8+化粧ケイ酸板-t-6

第一会議室内部仕上表

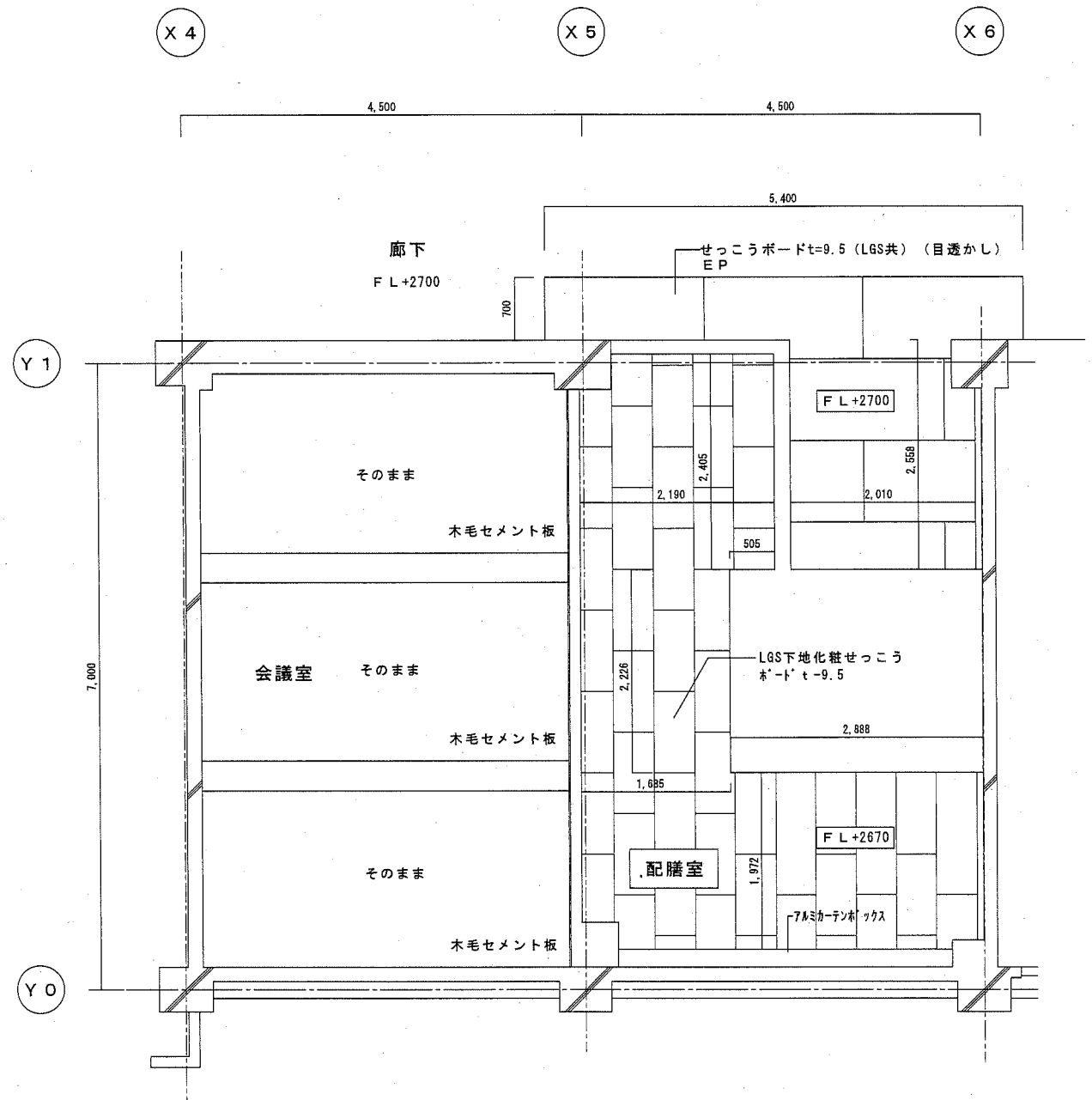
部位	仕上げ
床	下地調整+ビニール床シート張り-t-2.5
巾木	ビニル巾木 H-100
備考	ストープ取り外し、再取り付け



2階改修平面図 S=1/50 ※備品は工事対象外、配置は参考。

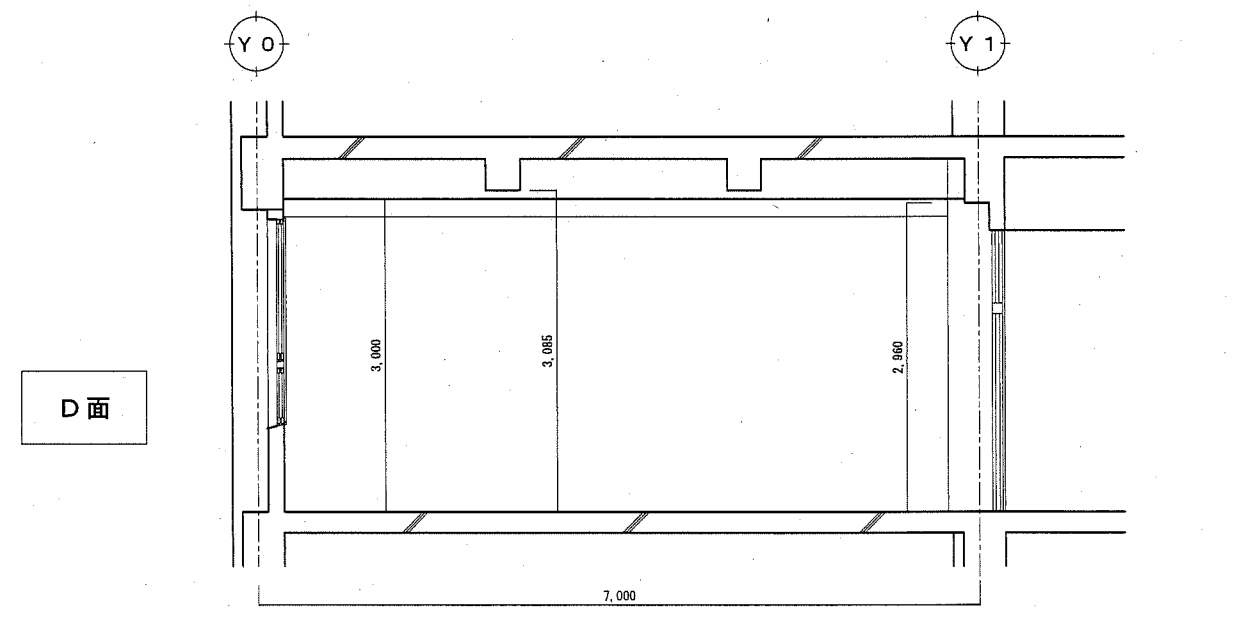
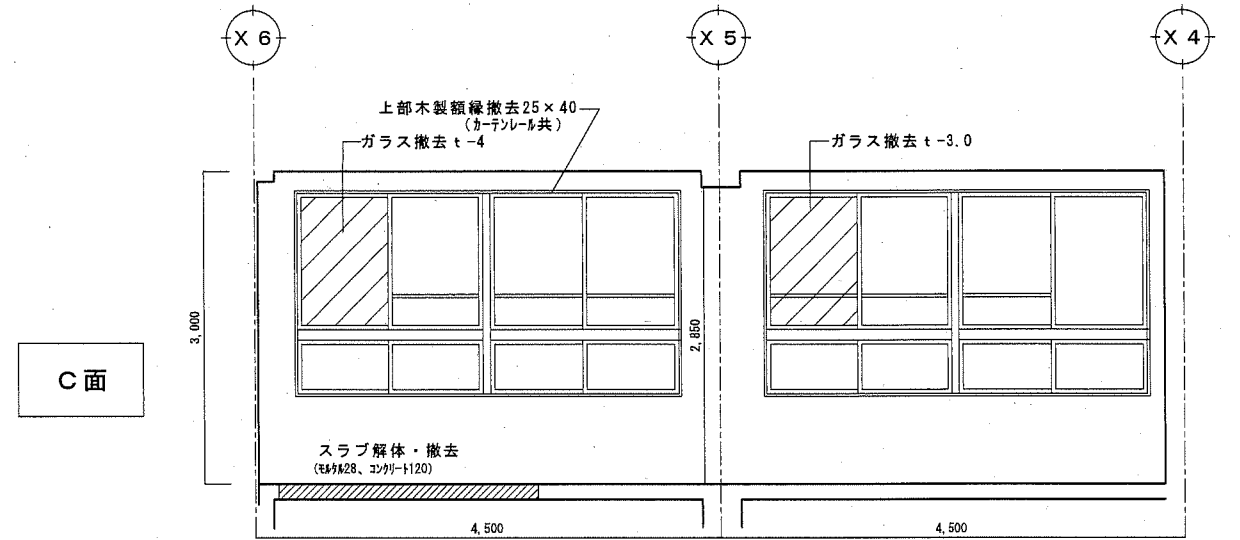
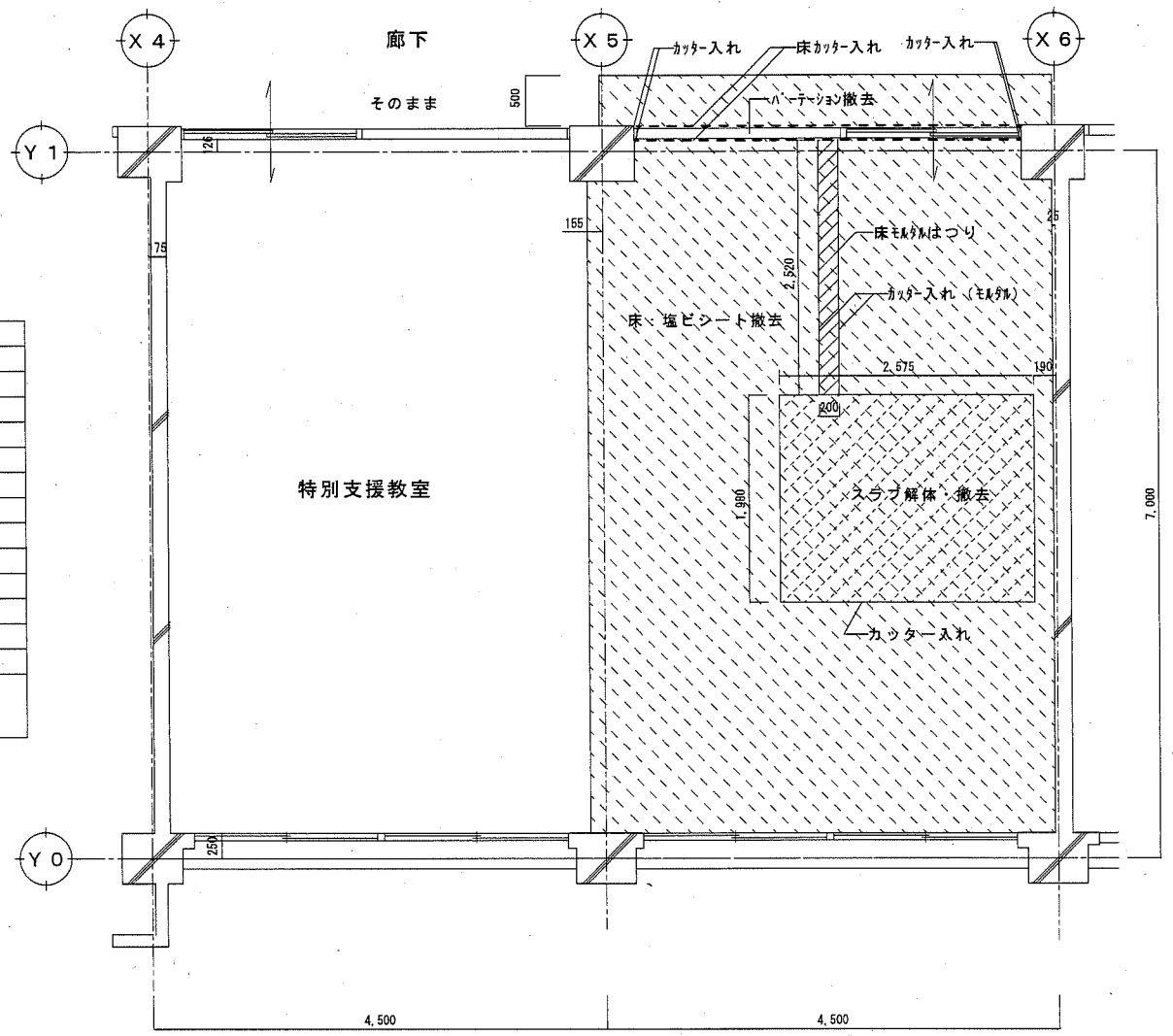
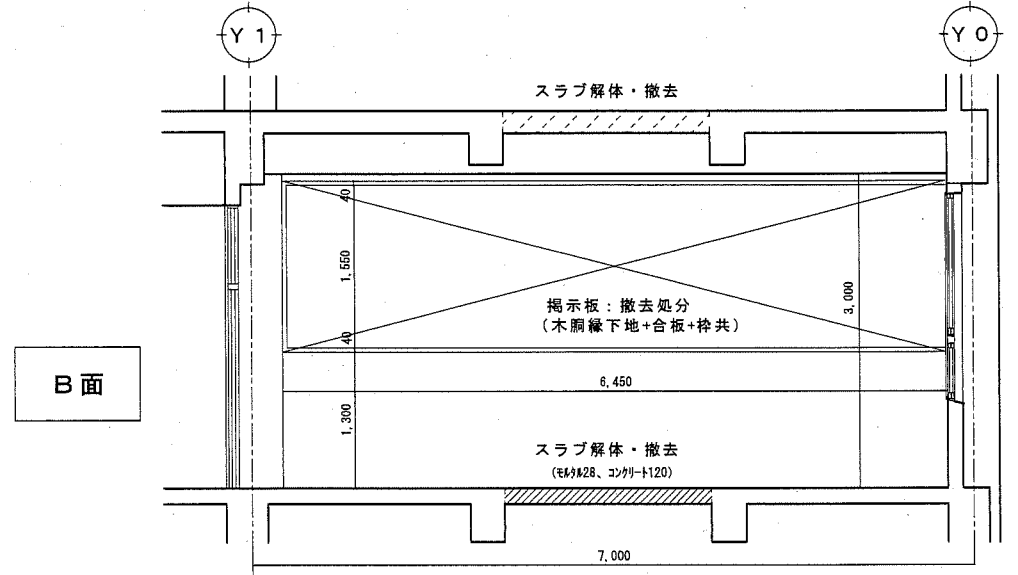
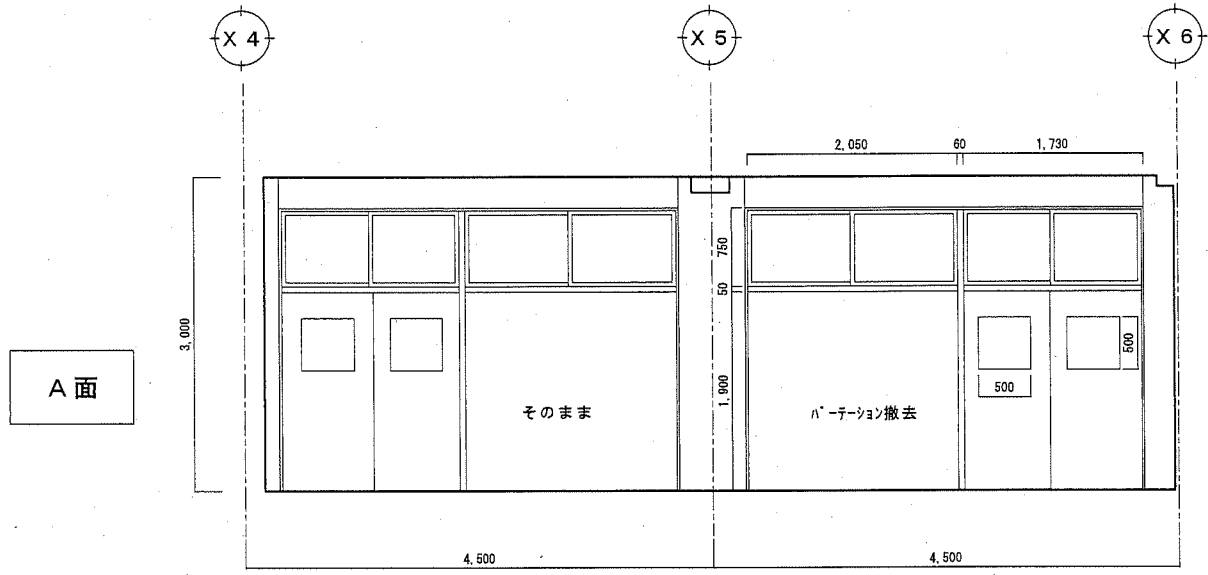


2階既存天井伏せ図



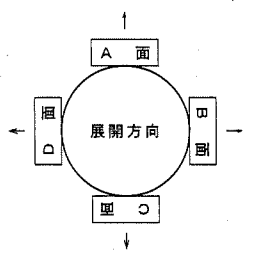
2階改修天井伏せ図

※配膳室に天井点検口アルミ枠450角、1か所新設
取り付け位置は監督員と協議うえ決定すること。

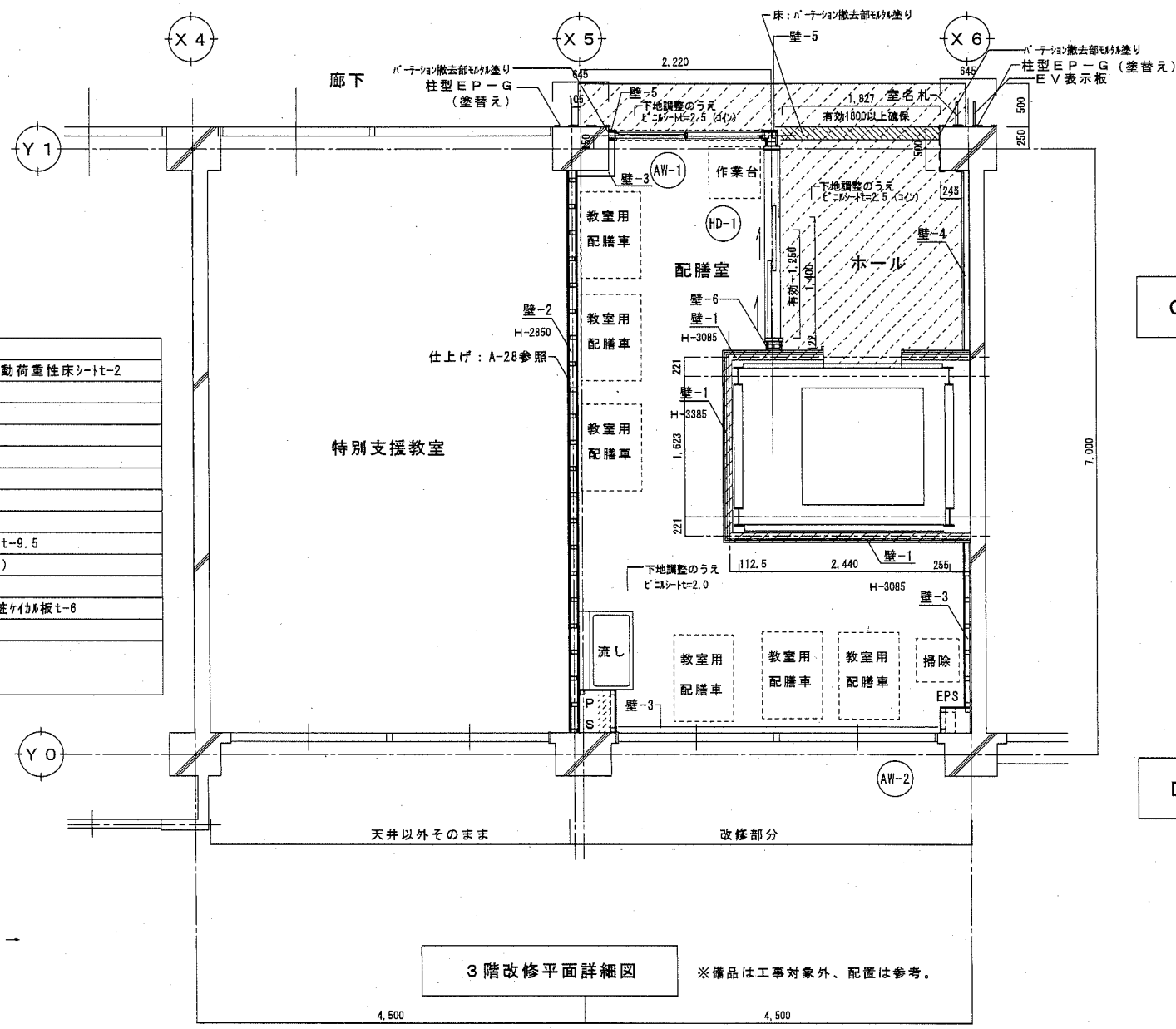
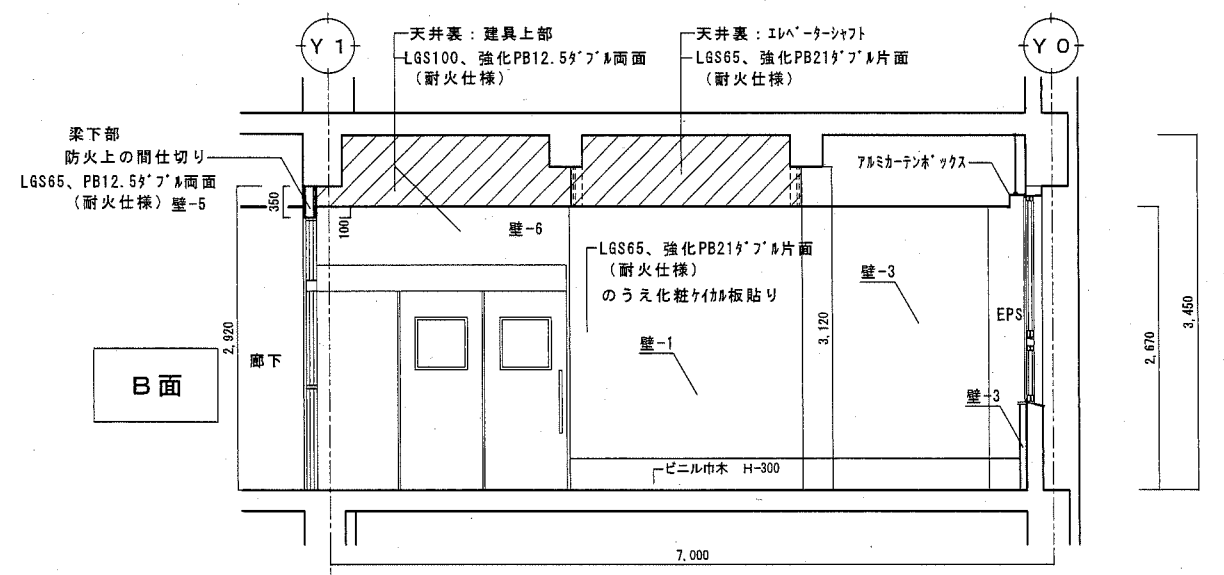
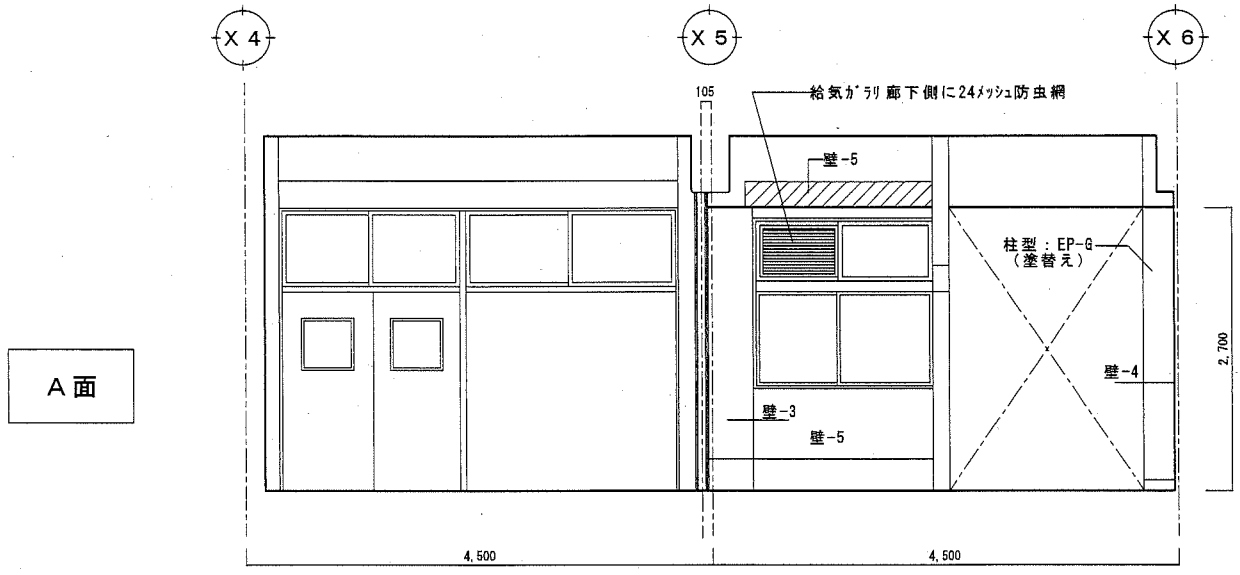


内部仕上表

部位	仕上げ
床	長尺塩ビシート (モルタル下地)
巾木	塗り巾木
壁	
A面	X5-6間、ハッチャン撤去
B面	掲示板撤去
C面	ガラス一部改修
D面	
天井	LGS下地、せっこうホ-ト'9.5 +岩綿吸音板12.5撤去
梁型	内装吹き付け材

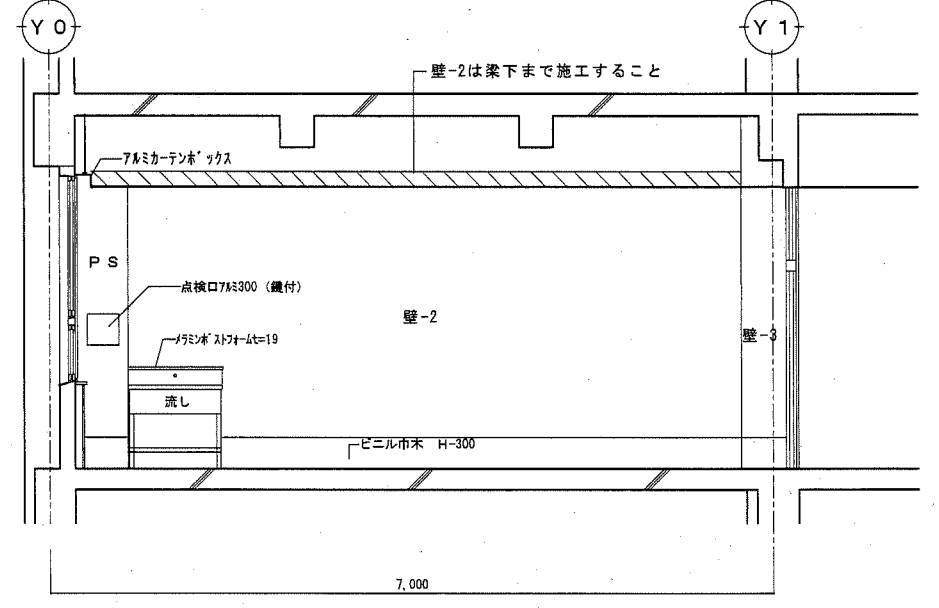
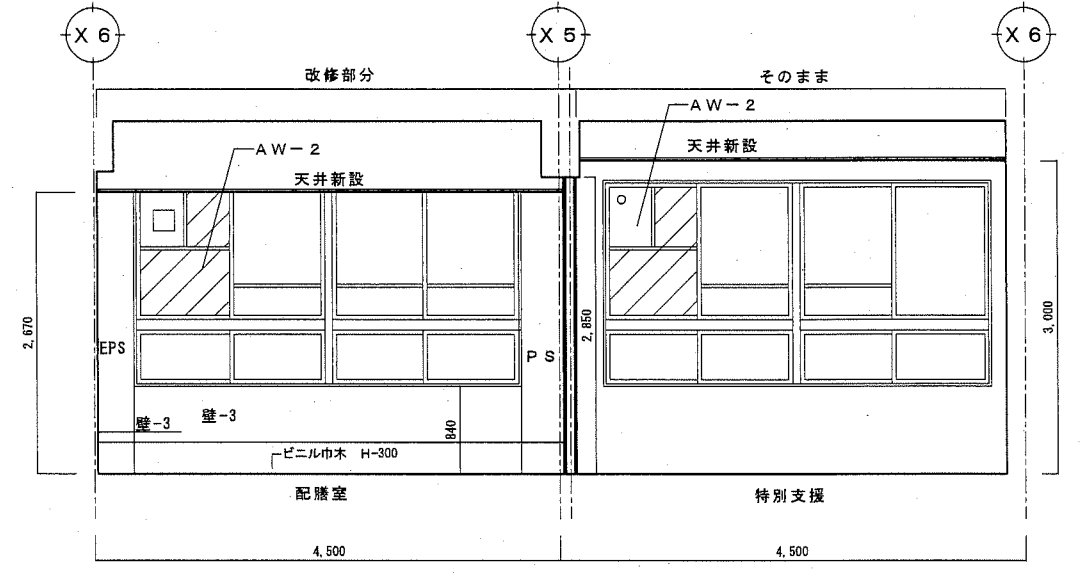
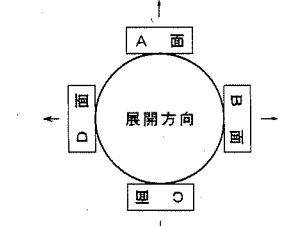


3階既存平面詳細図

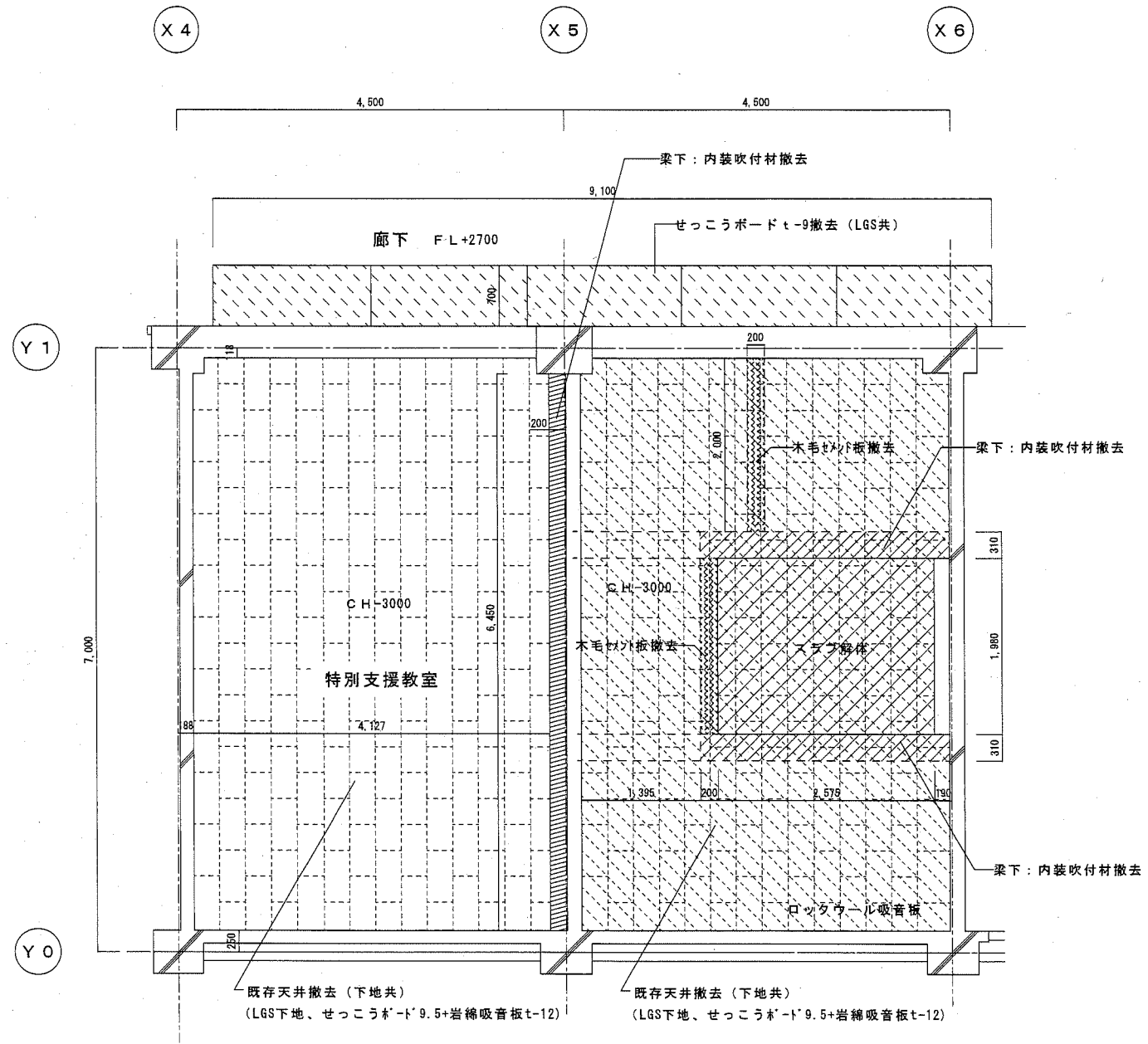


配膳室内部仕上表

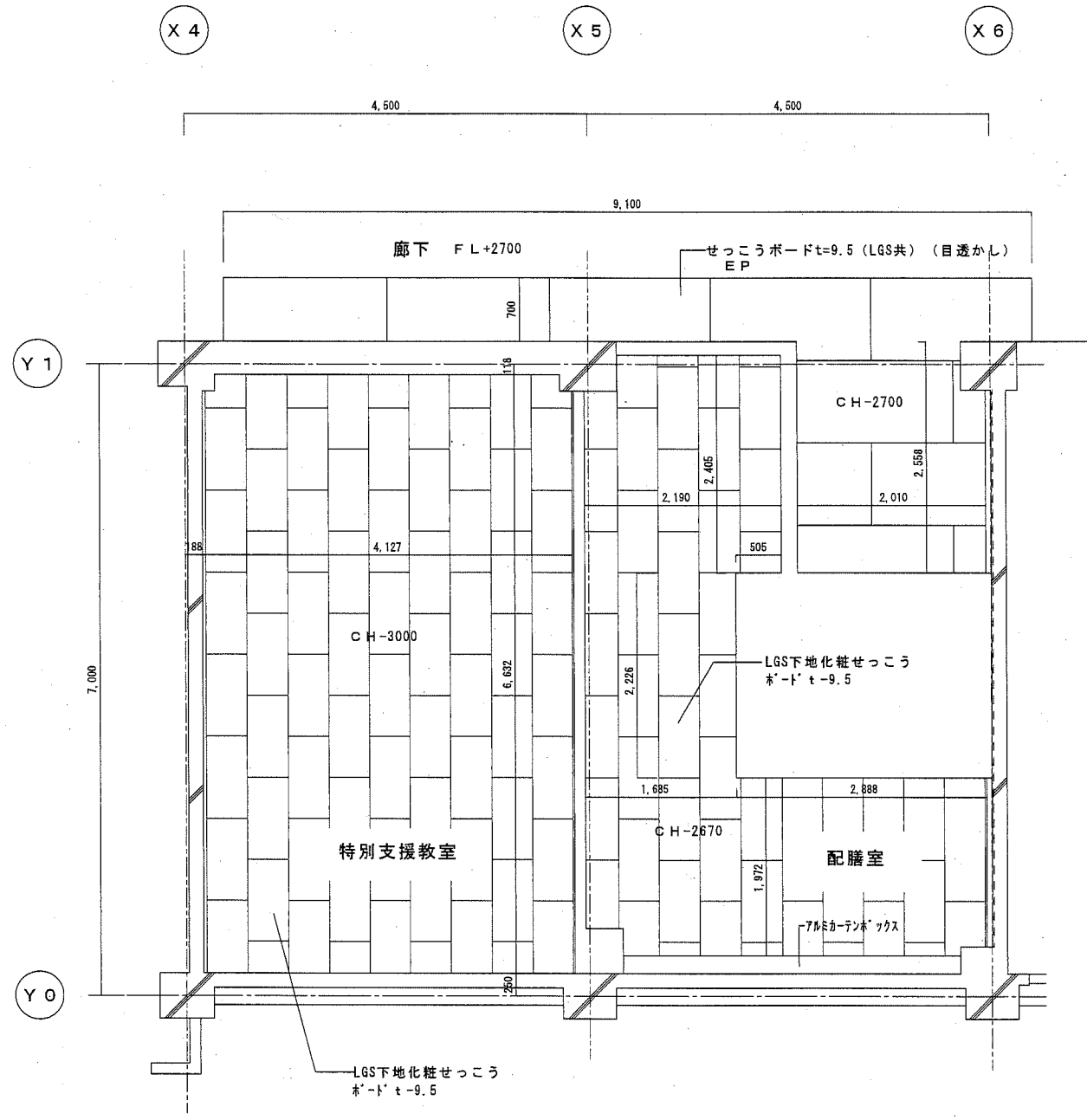
部位	仕上げ
床	ビニル床シート、抗菌、耐動荷重性床シート-2
巾木	ビニル巾木 H-300
壁	
A面	壁-5
B面	壁-1, 3, 5
C面	壁-3
D面	壁-2
E V部	壁-1
天井	LGS下地化粧石膏ボード-t-9.5 (特別支援、配膳室共)
廻縁	樹脂製コの字型
PS部	LGS下地化粧石膏ボード-t-8+化粧石膏ボード-t-6



3階改修平面詳細図 ※備品は工事対象外、配置は参考。



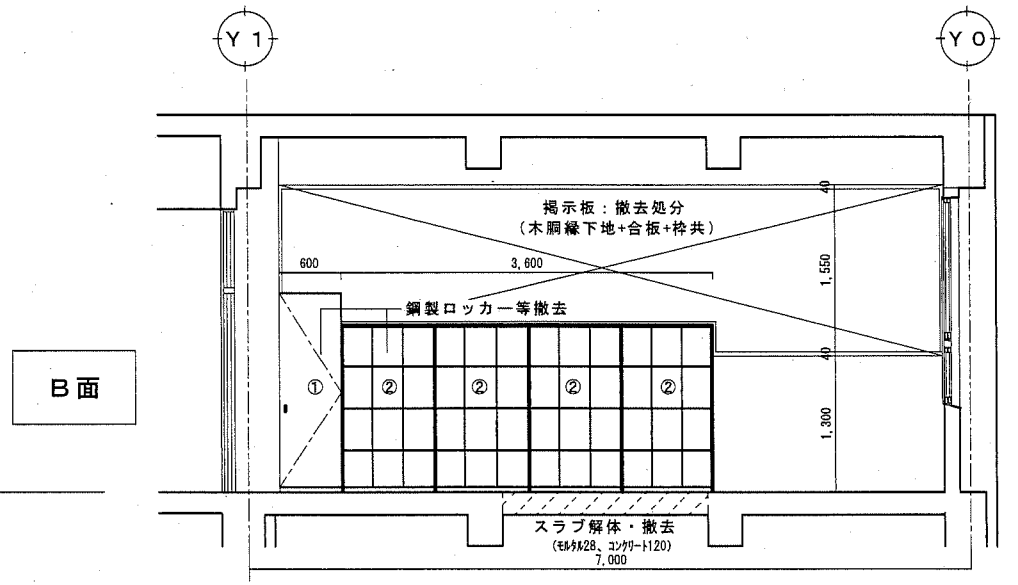
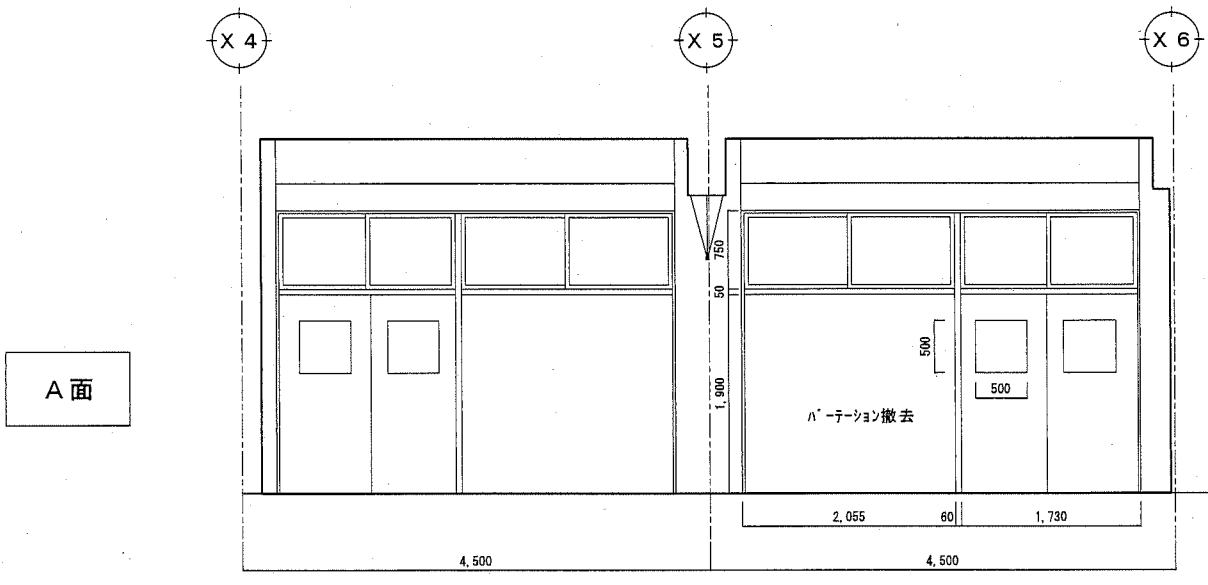
3階既存天井伏せ図



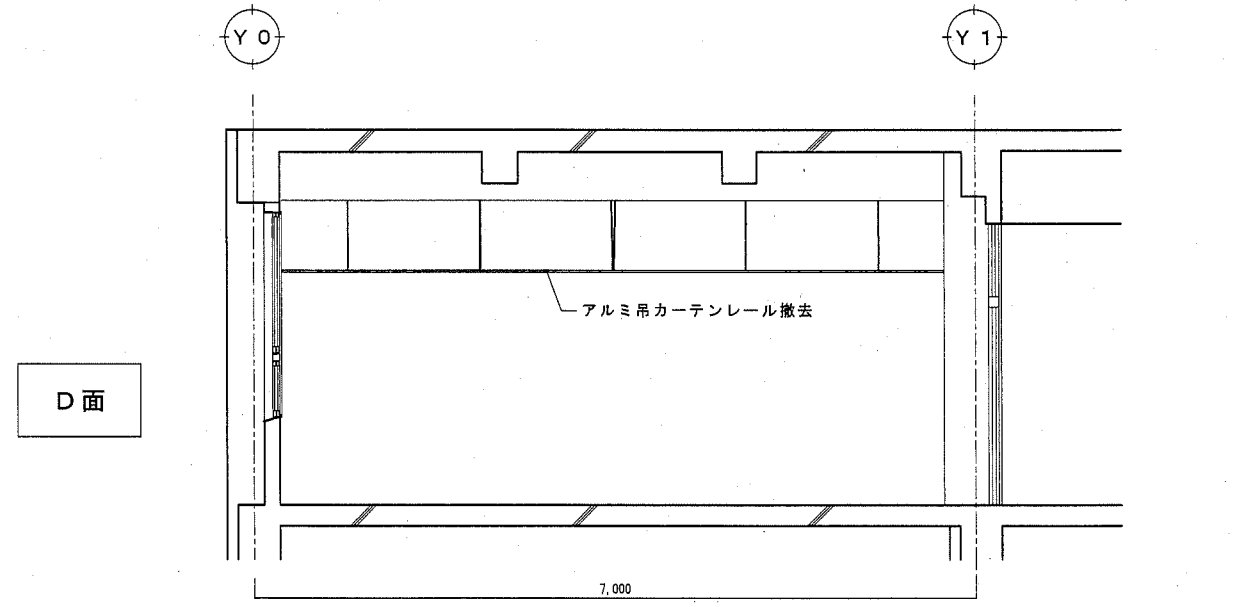
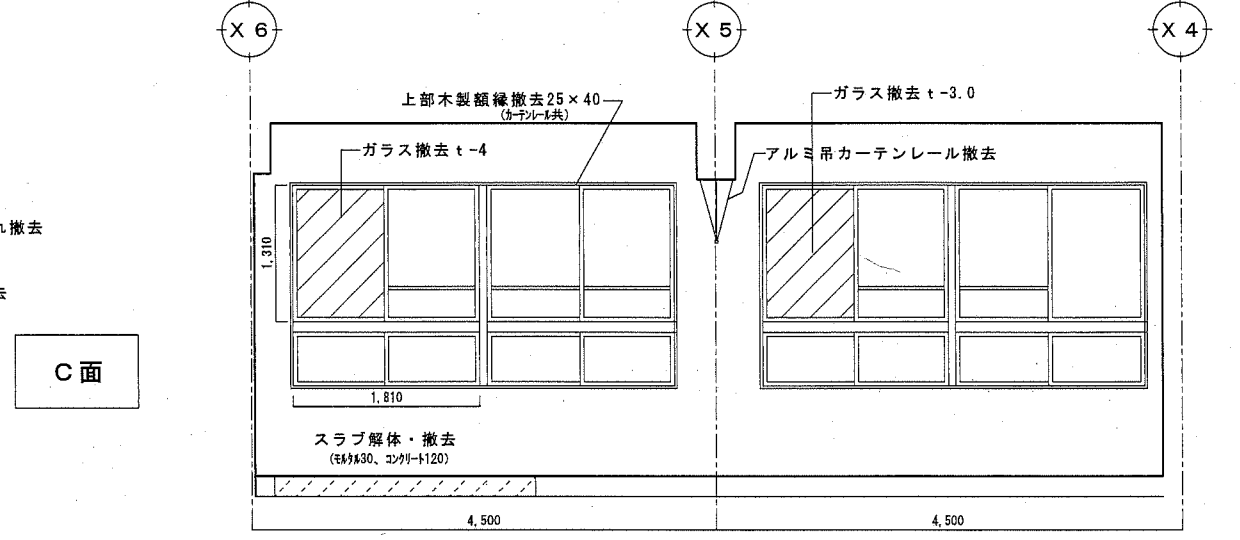
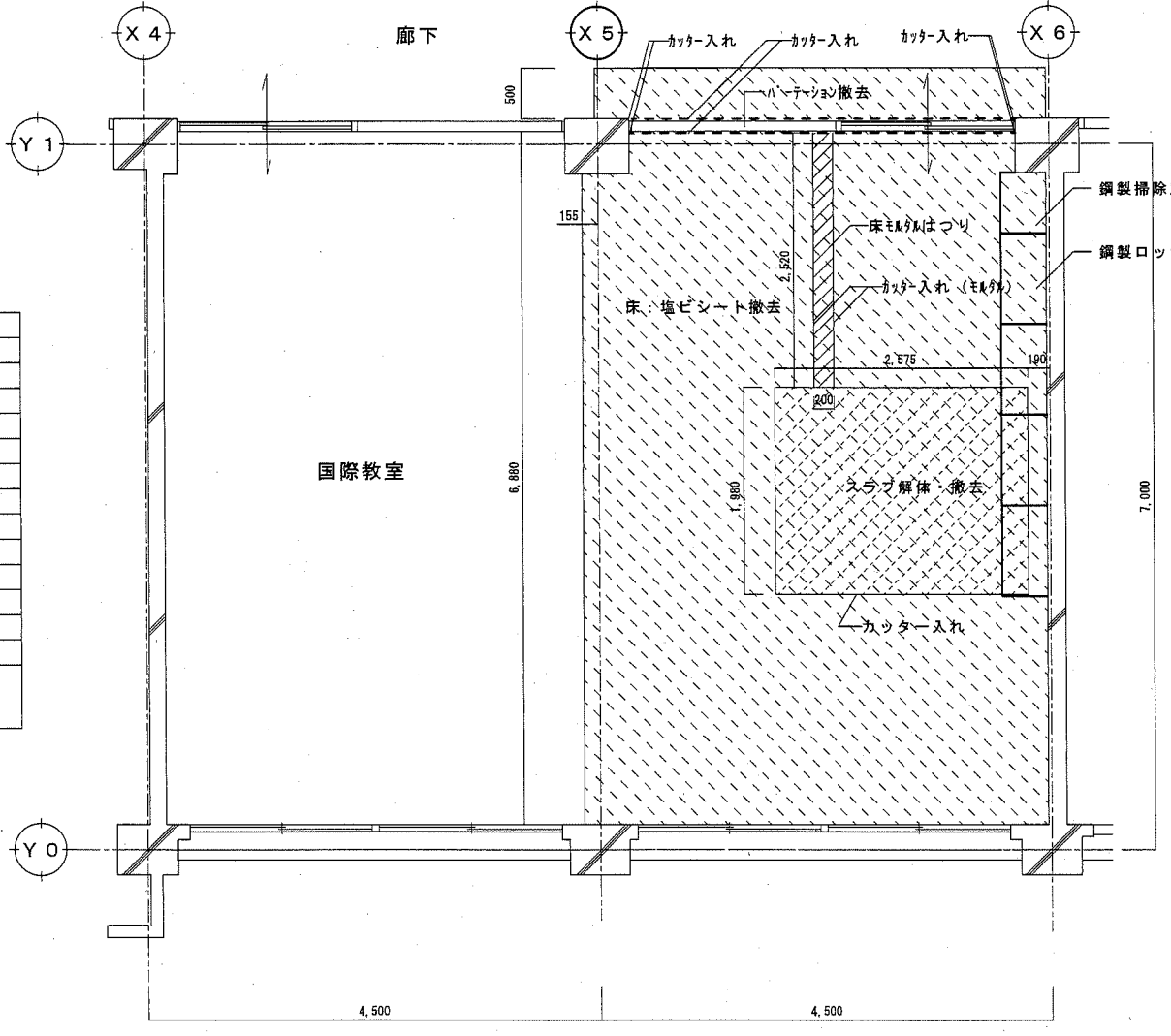
3階改修天井伏せ図

※配膳室に天井点検口アルミ枠450角、1か所新設
取り付け位置は監督員と協議うえ決定すること。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-24
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	3階天井伏せ図 (既存・改修)			

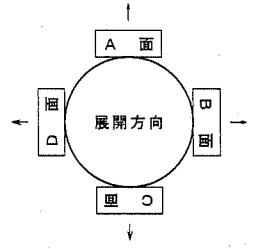


- 鋼製ロッカー等撤去
- ① 600×450×1900 1基
 - ② 900×450×1600 4基

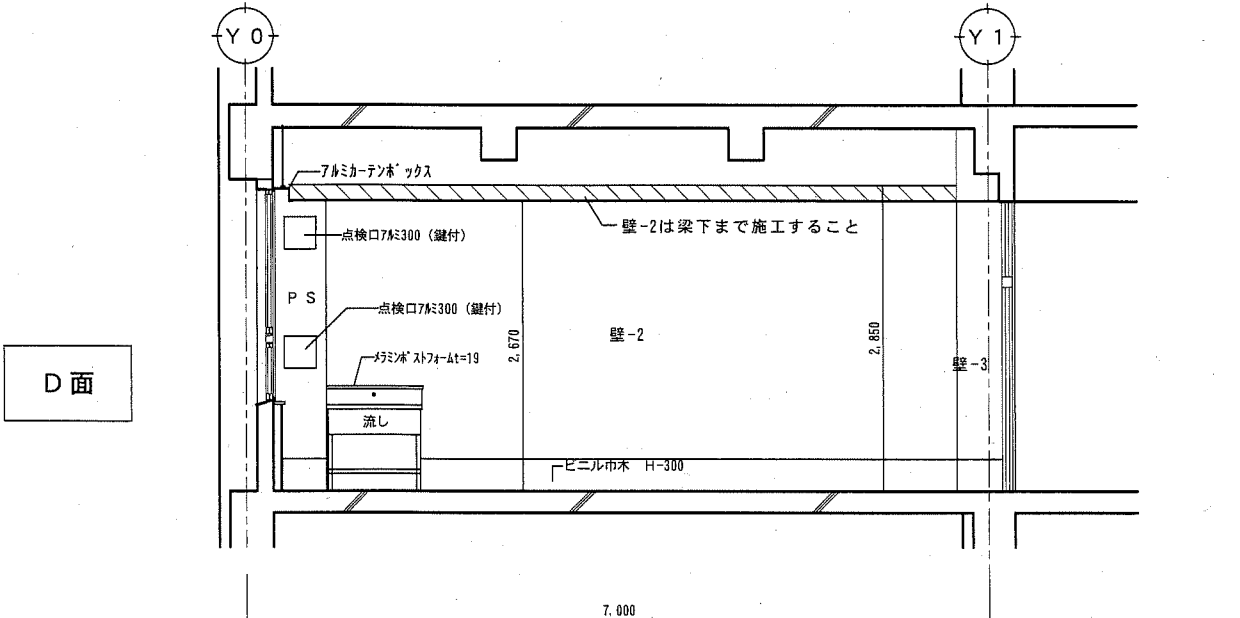
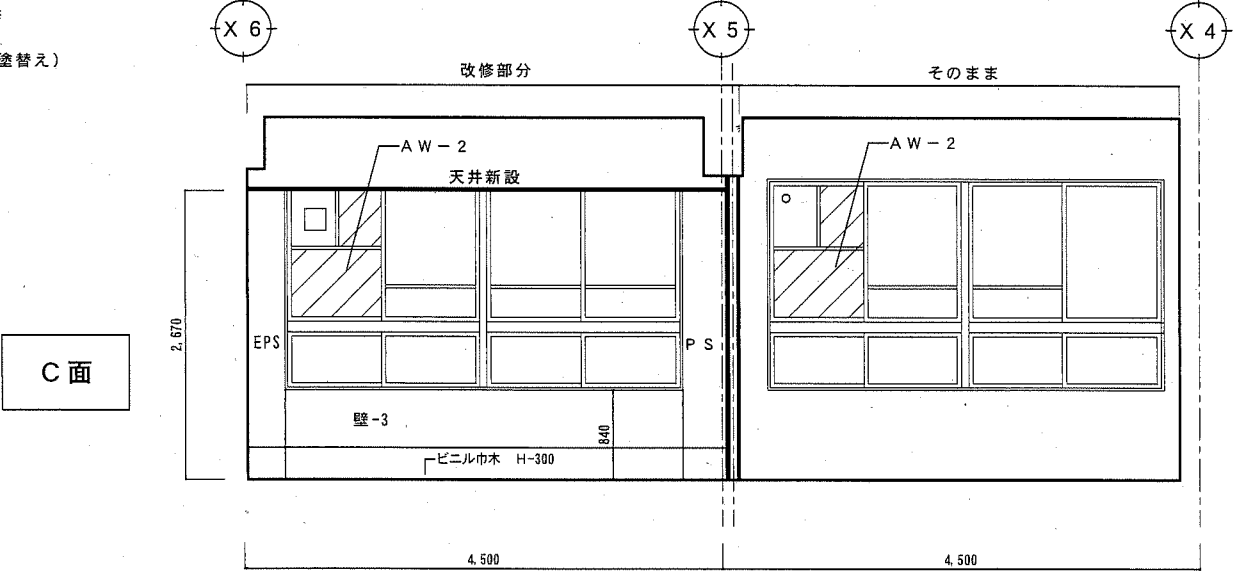
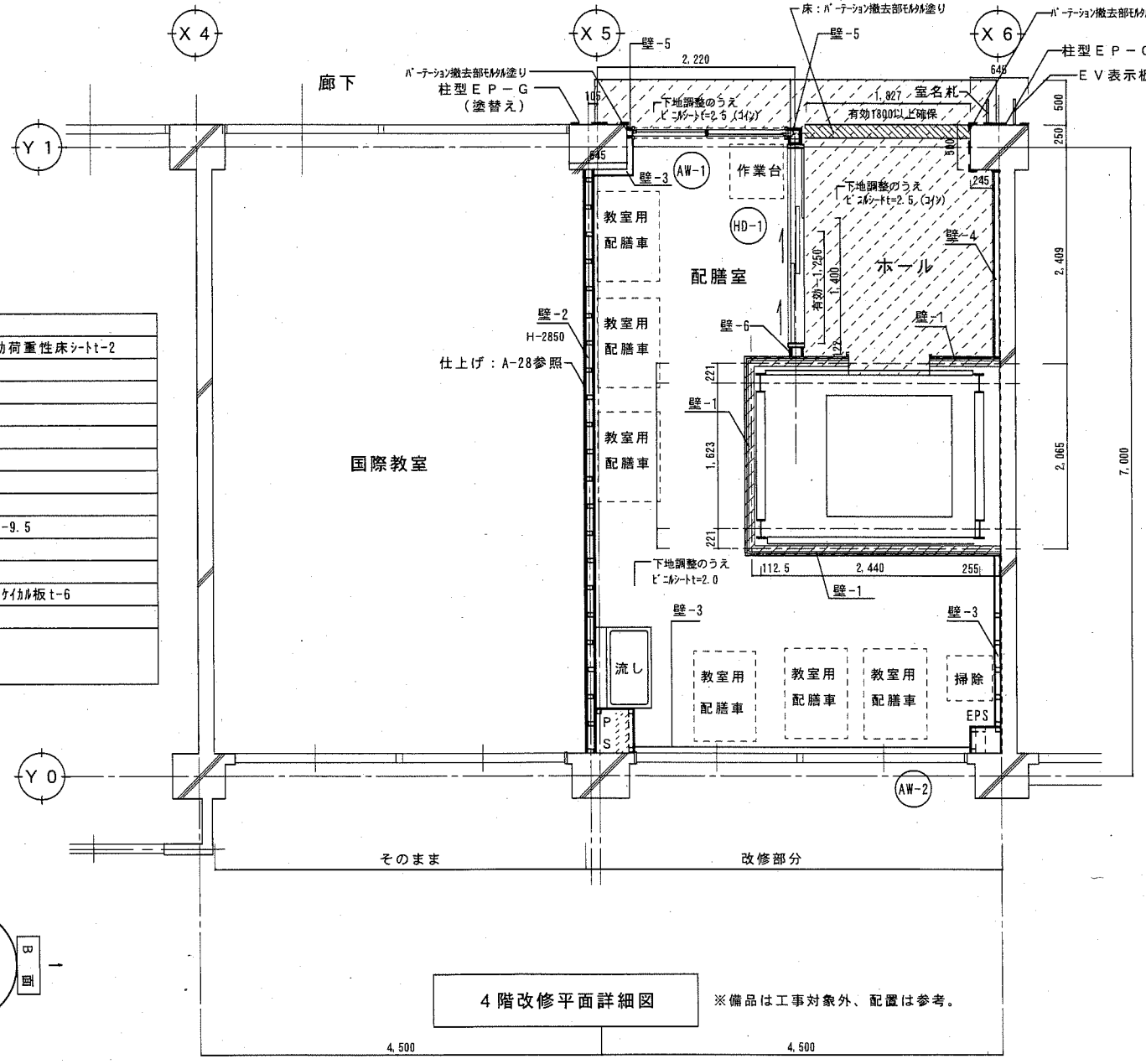
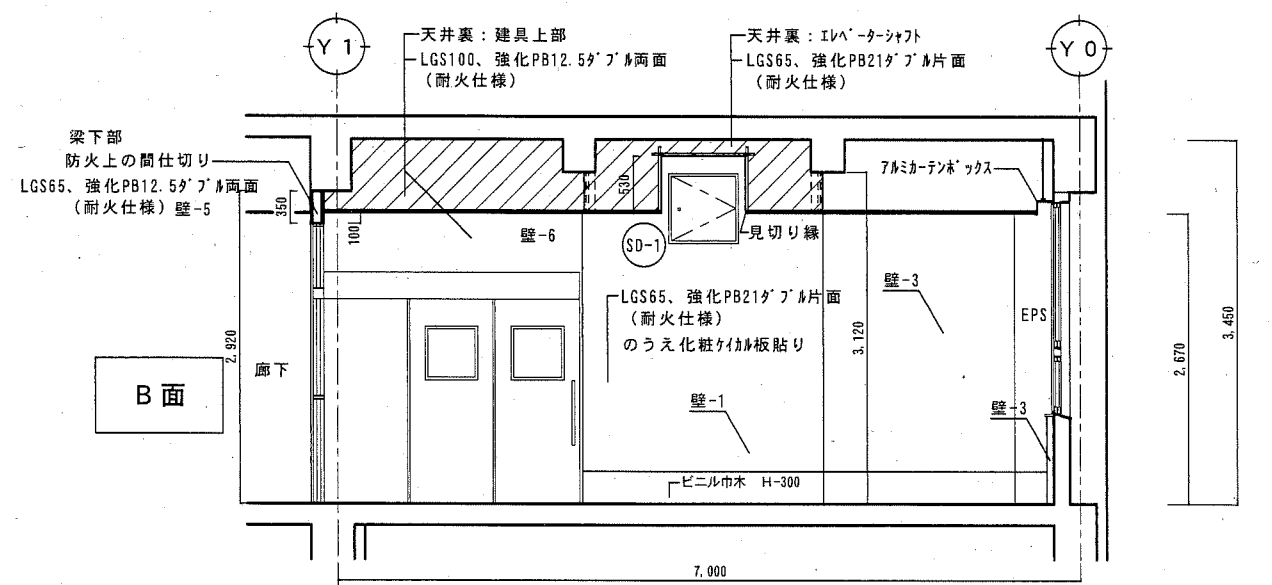
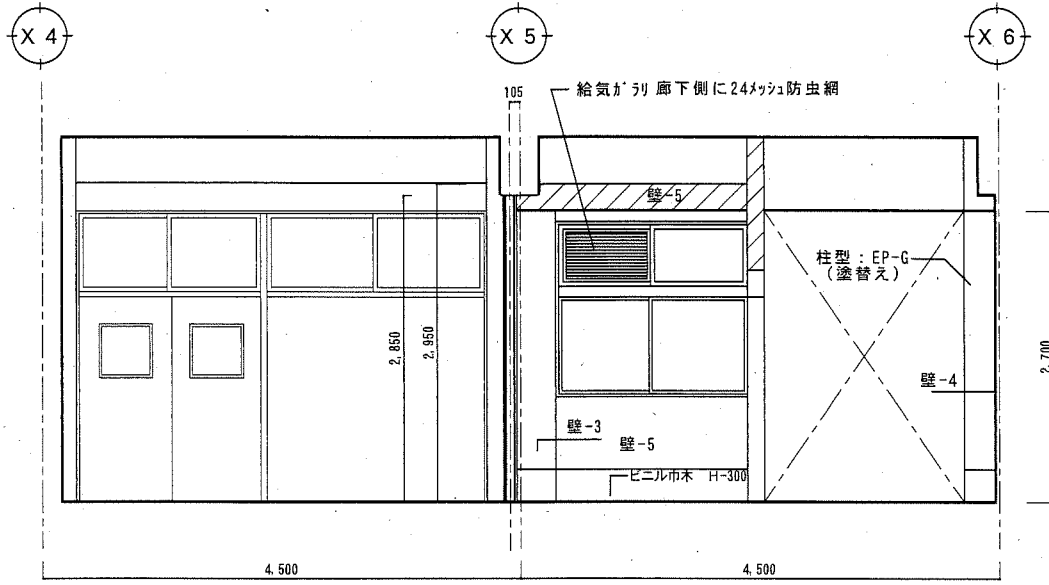


内部仕上表

部位	仕上げ
床	長尺塩ビシート撤去
巾木	塗り巾木
壁	
A面	X5~6間ハレーション撤去
B面	掲示板撤去
C面	ガラス一部改修
D面	
天井	木毛セメント板 柔型：内装吹き付け材
備考	鋼製ロッカー等撤去

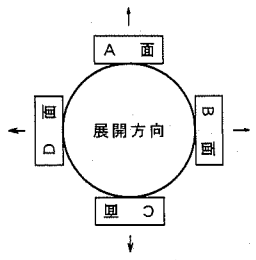


4階既存平面詳細図

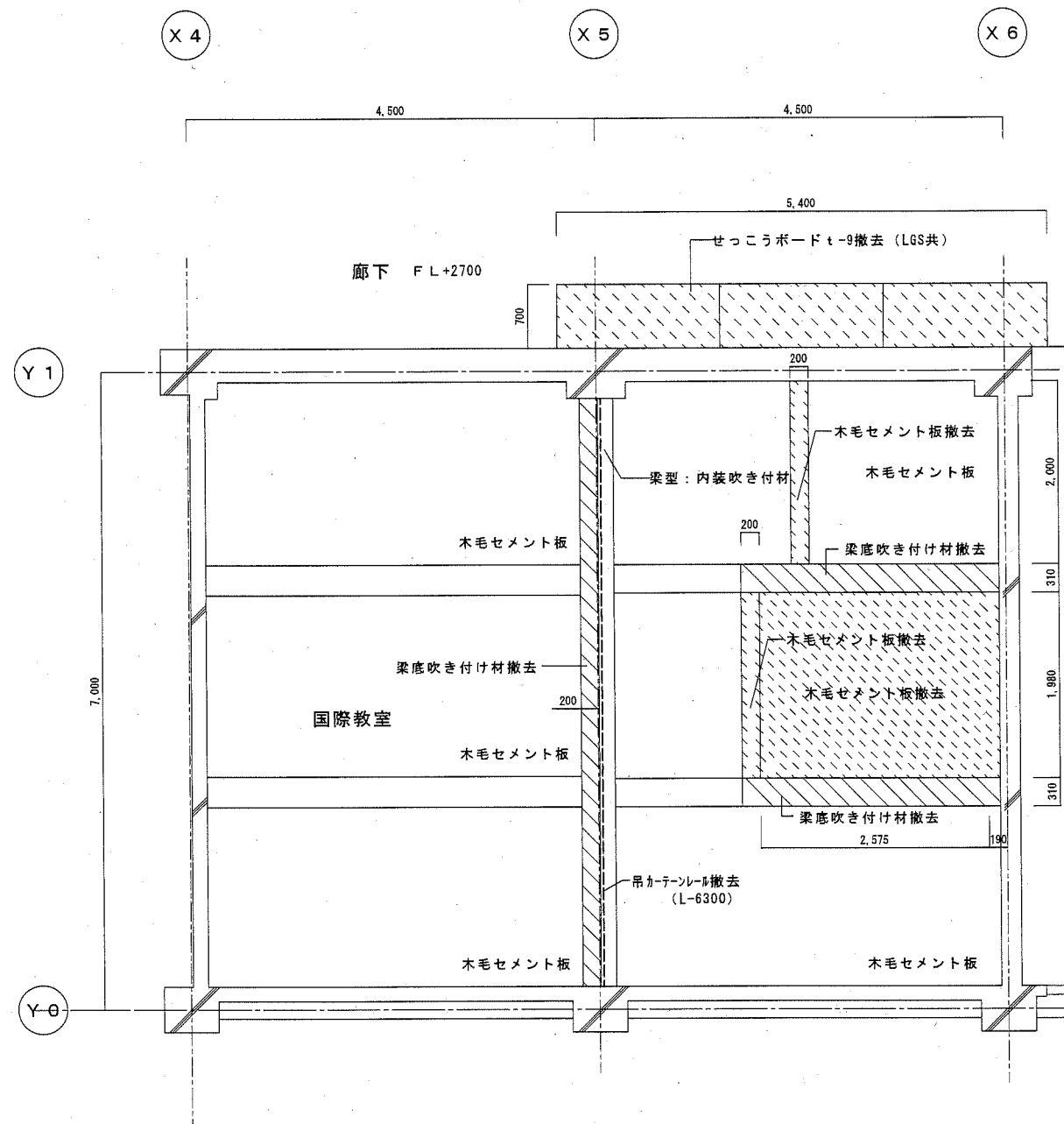


配膳室内部仕上表

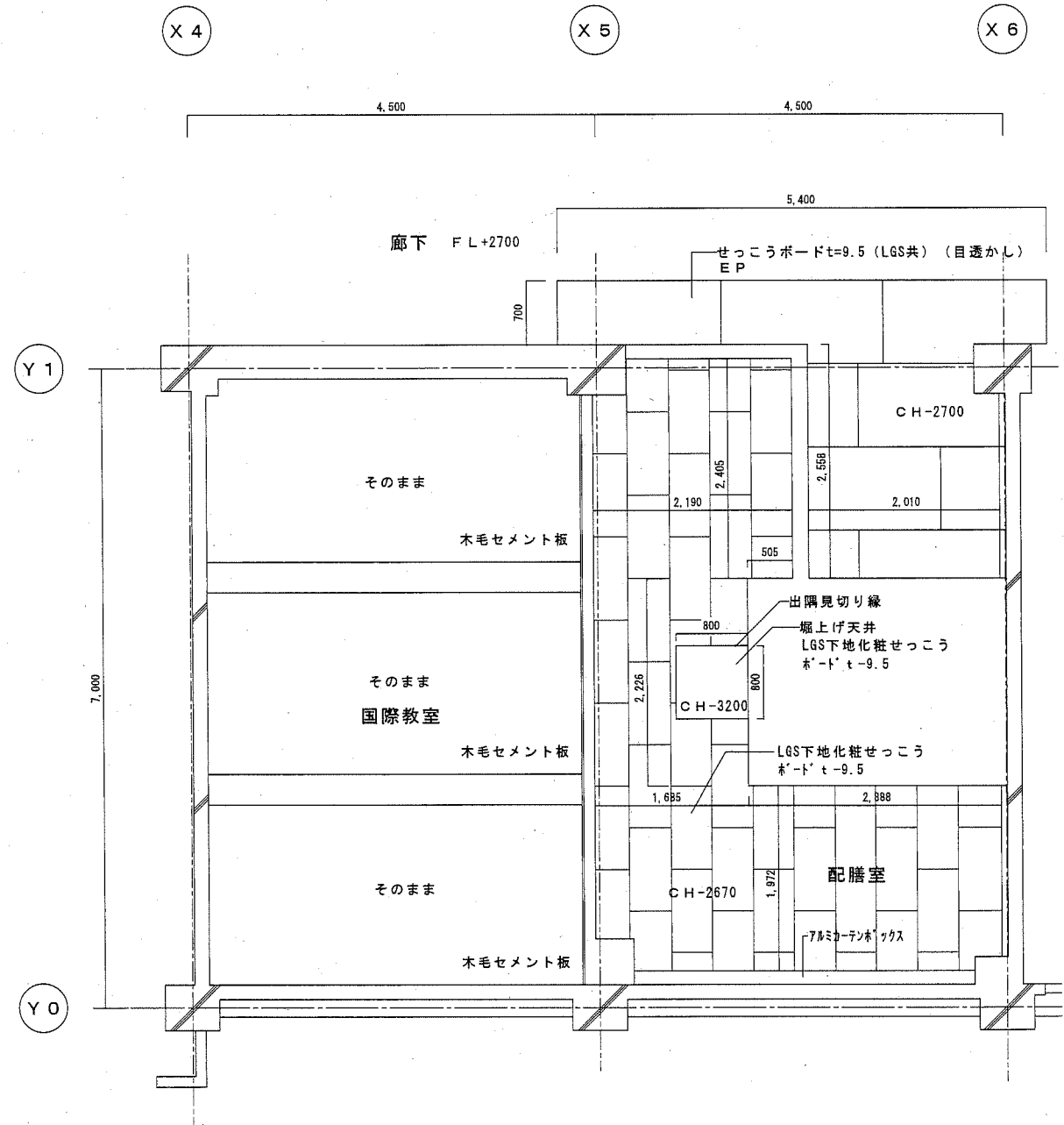
部位	仕上げ
床	ビニル床シート、抗菌、耐動荷重性床シート-2
巾木	ビニル巾木 H-300
壁	
A面	壁-5
B面	壁-1, 3, 5
C面	壁-3
D面	壁-2
E V部	壁-1
天井	LGS下地化粧石膏ボード-t-9.5
廻縁	樹脂製コの字型
PS部	LGS下地化粧板-t-8+化粧化粧板-t-6



4階改修平面詳細図 ※備品は工事対象外、配置は参考。



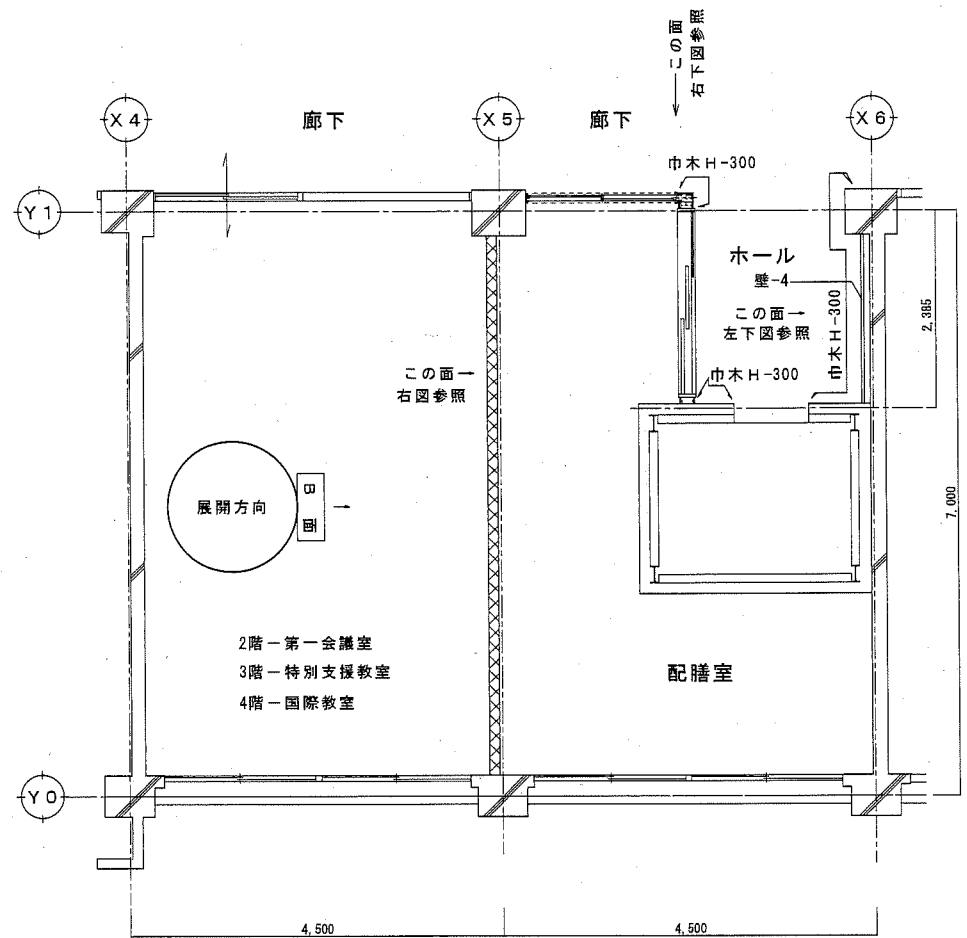
4階既存天井伏せ図



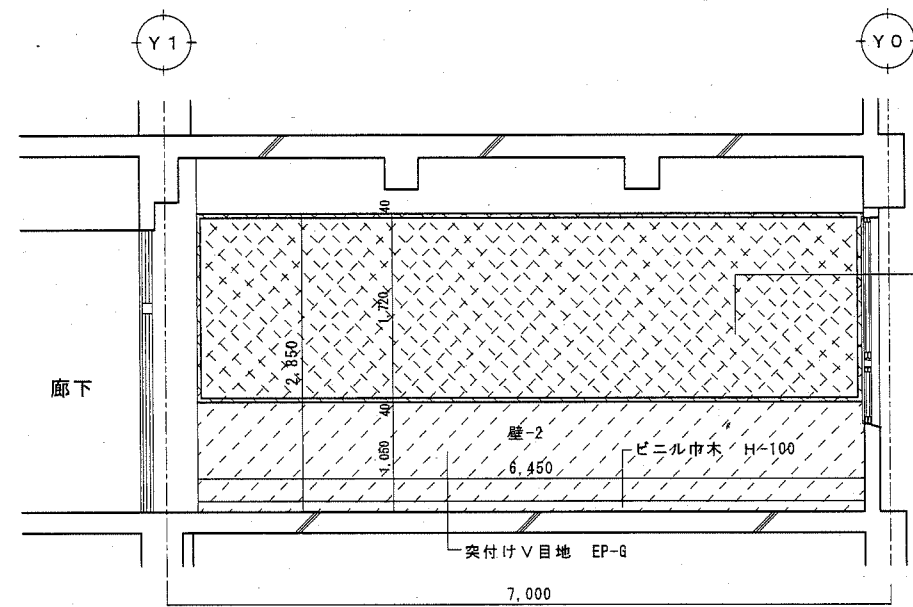
4階改修天井伏せ図

※配膳室に天井点検口アルミ枠450角、1か所新設
取り付け位置は監督員と協議うえ決定すること。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-27 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	4階天井伏せ図 (既存・改修)			

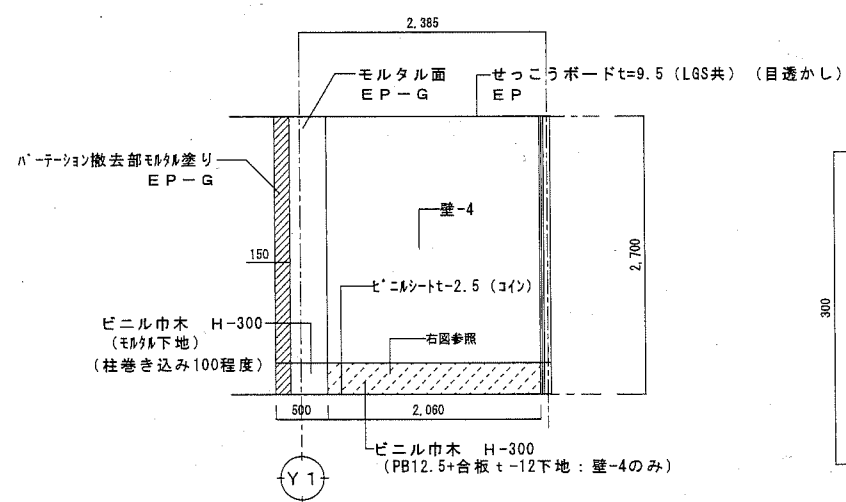


キープラン

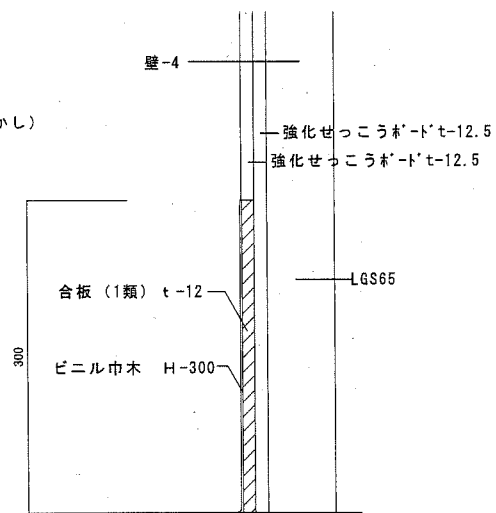


2,3,4階 B面 展開図

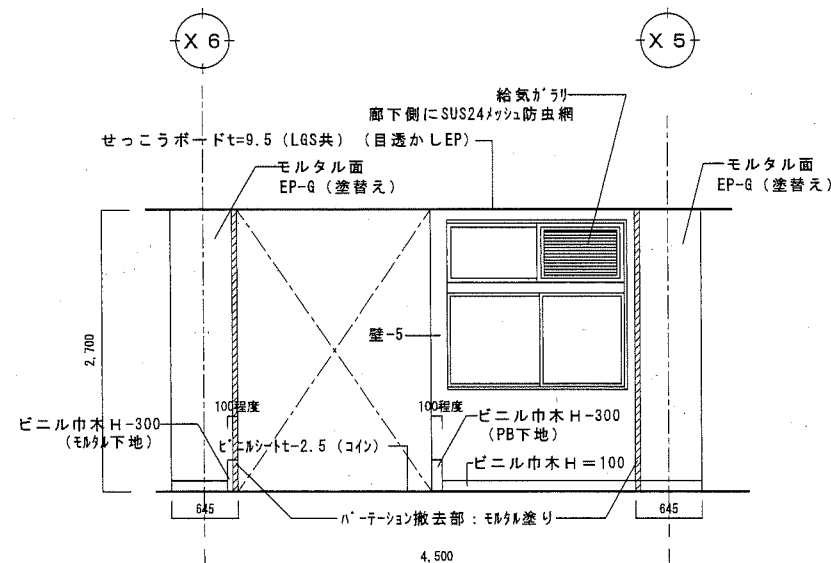
掲示板新設 (掲示クロス張り)
耐火壁の上にラワン合板t-5.5増し張り
額縁: スプルーヌ6450×1800EP-G
40×15 EP-G (木部新規)



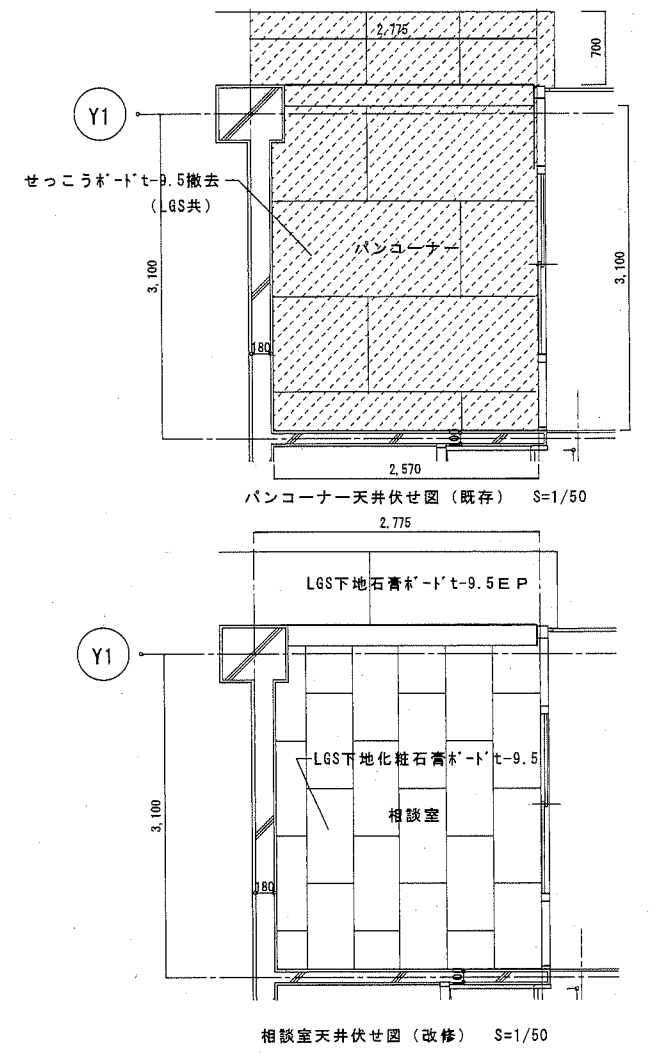
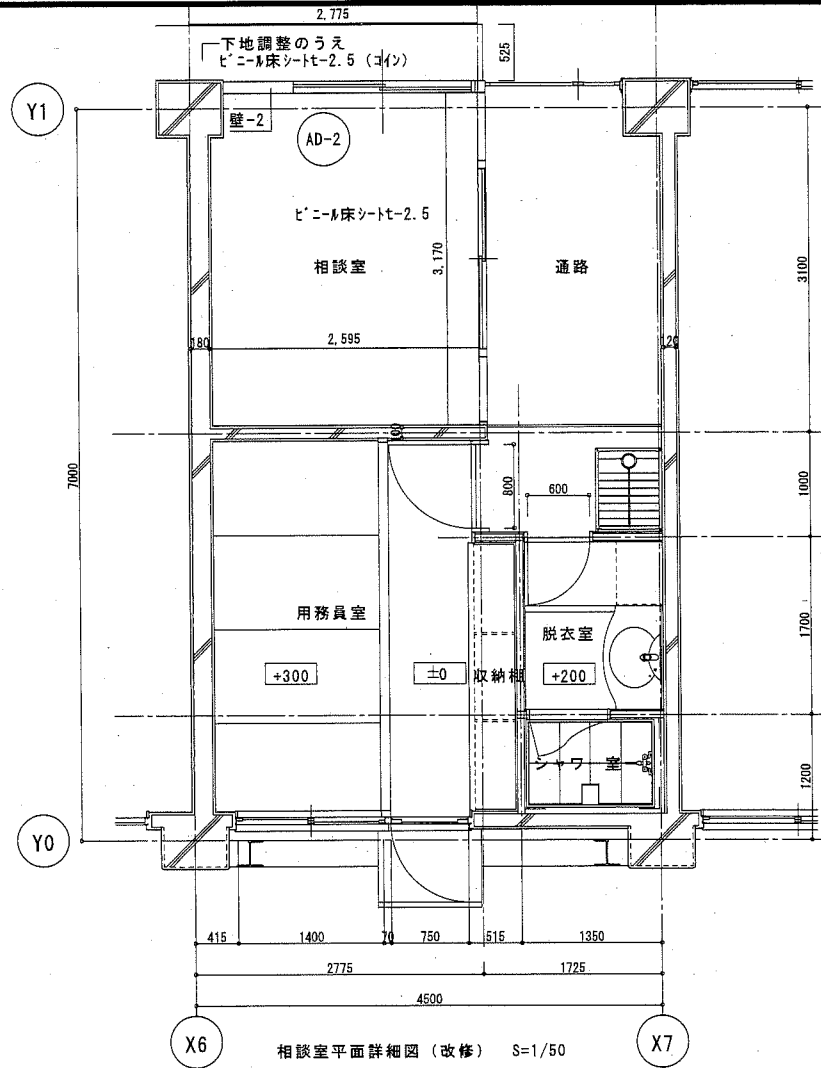
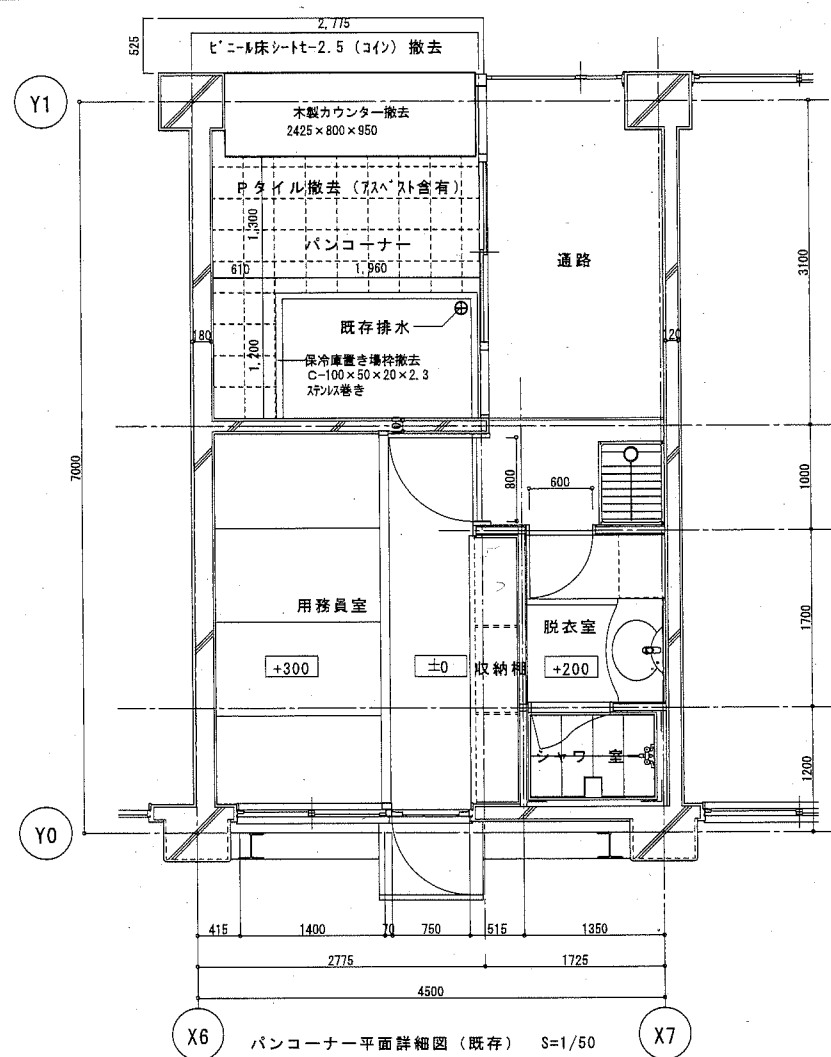
X6通り2,3,4階 展開図



壁-4 下部詳細図



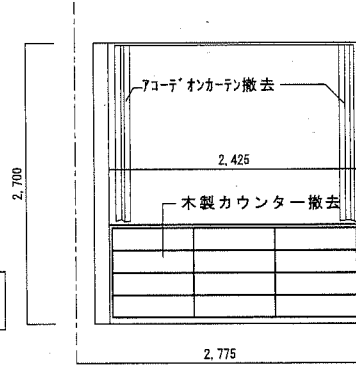
Y1通り (廊下面) 1,2,3,4階 展開図



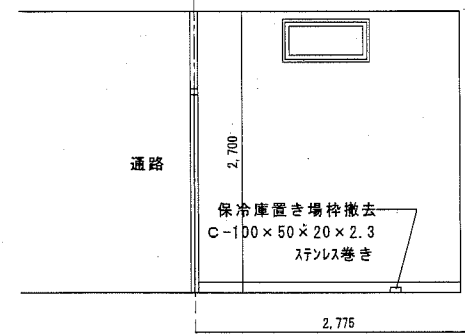
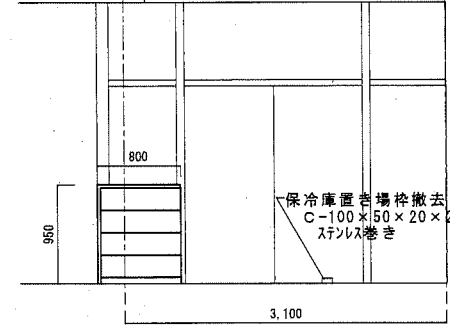
バンコーナー内部仕上表

部位	仕上げ
床	Pタイル撤去 (7スベト含有)
巾木	塗り巾木
壁	
A面	
B面	既設パーテーション
C面	モルタルのうえEP
D面	モルタルのうえEP
天井	石膏ボード-9.5 (LGS共撤去)
備考	木製カウンター解体撤去 SUS製保冷庫置き場撤去

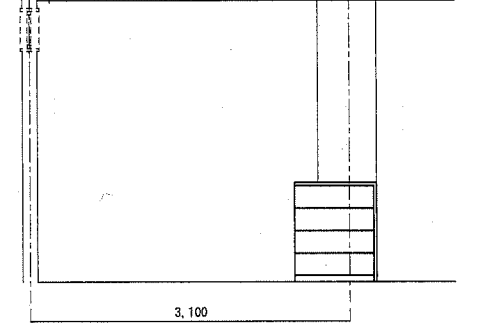
バンコーナー展開図 (既存) S=1/50



石膏ボード-9.5 (LGS共撤去)



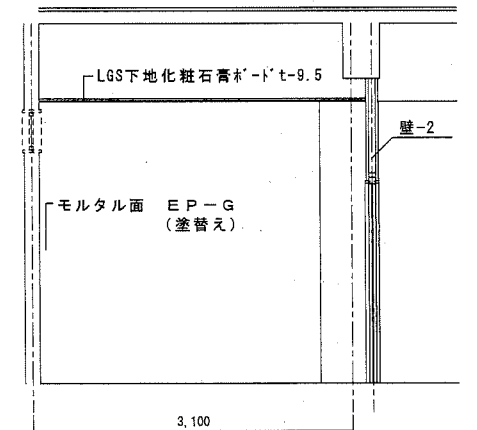
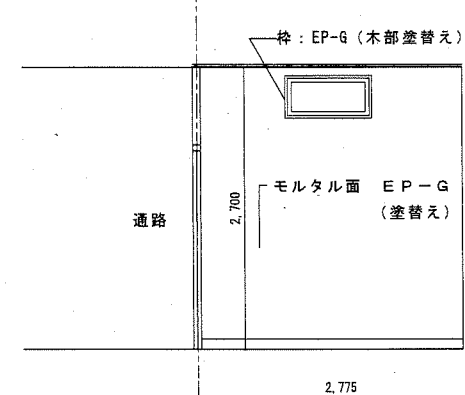
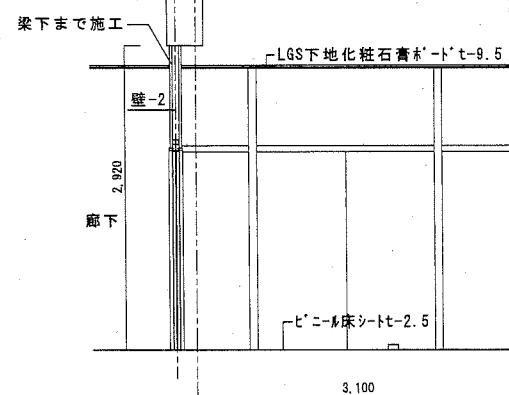
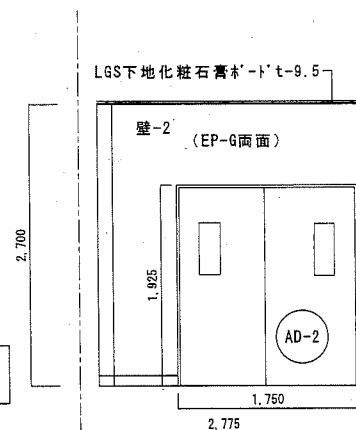
石膏ボード-9.5 (LGS共撤去)

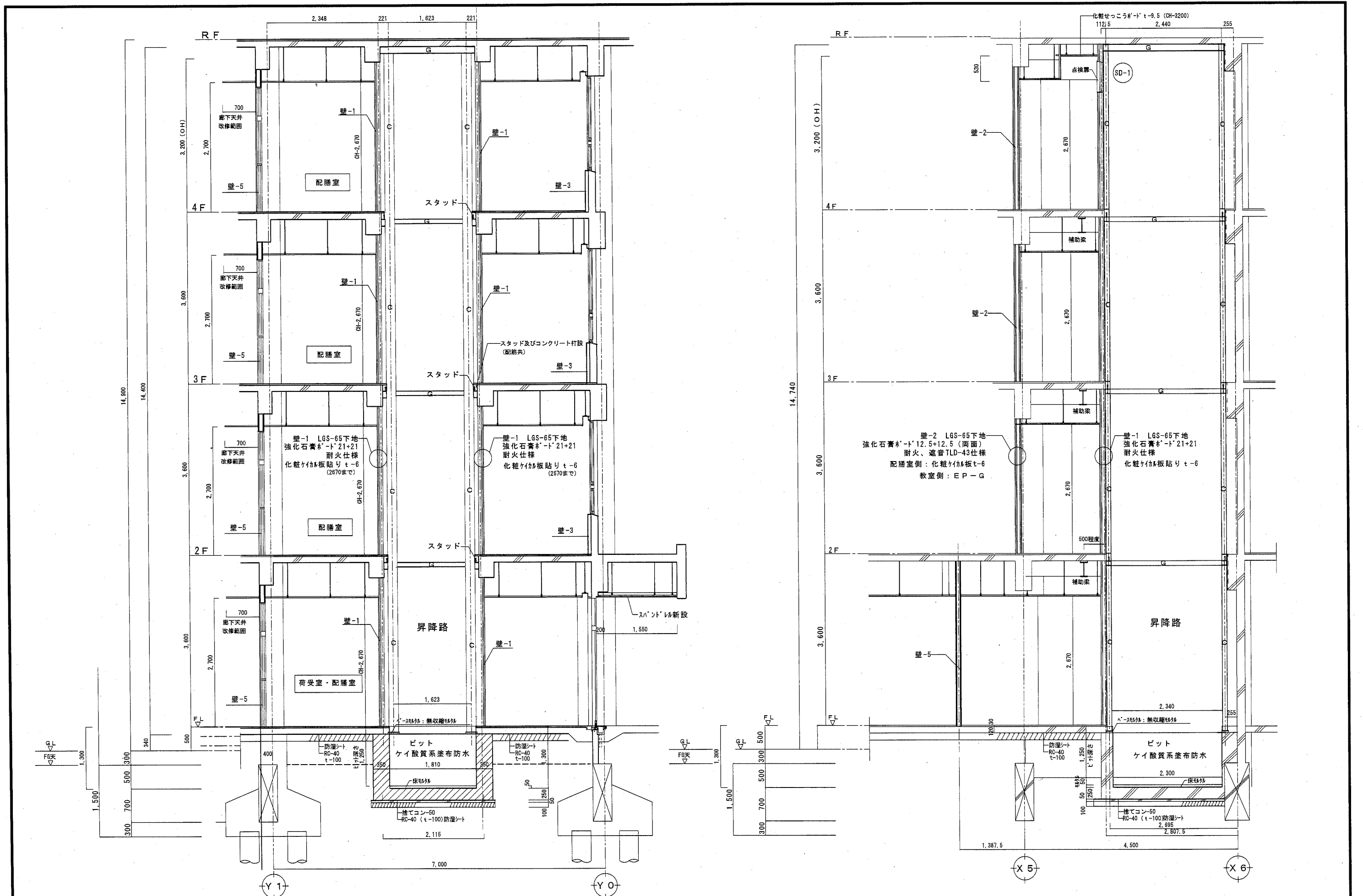



相談室内部仕上表

部位	仕上げ
床	ビニル床シート-2.5
巾木	塗り巾木 (EP-G塗替え)
壁	
A面	壁-2、引き違い戸取付
B面	既設パーテーション
C面	モルタル面 EP-G (RB)
D面	モルタル面 EP-G (RB)
天井	LGS下地化粧石膏ボード-9.5
廻線	樹脂製コの字型
備考	天井点検口アルミ枠450角、1か所新設 取り付け位置は監督員と協議うえ決定すること。

相談室 展開図 (改修) S=1/50

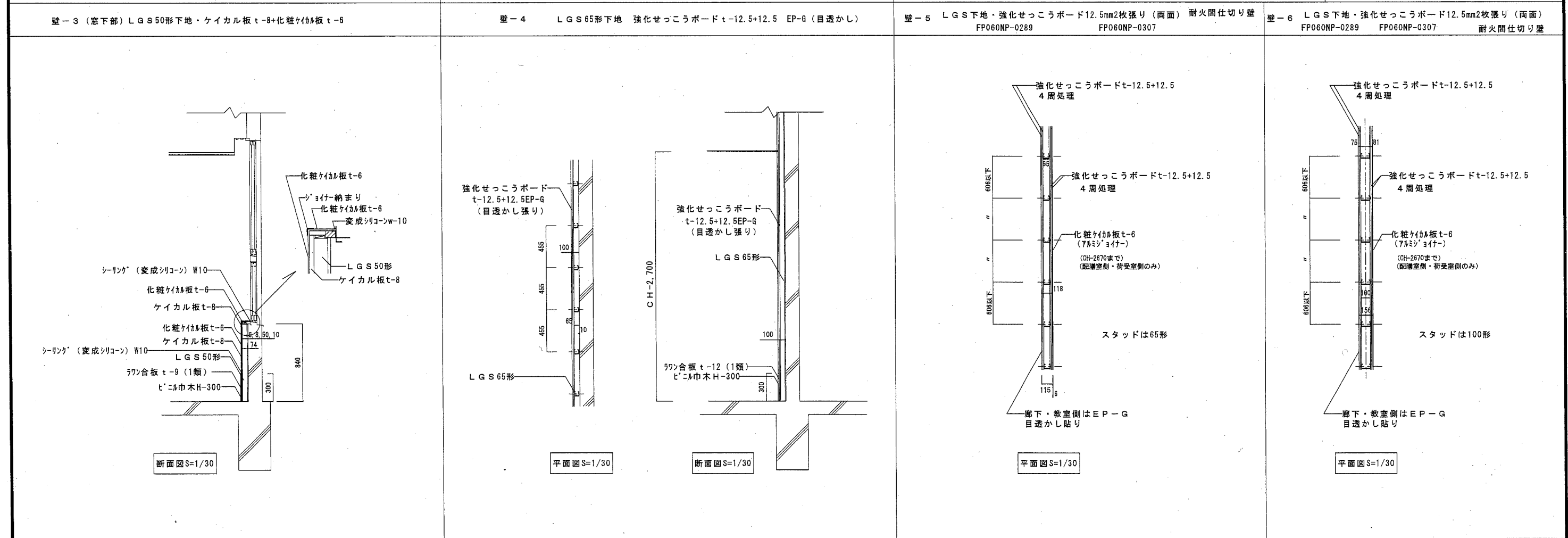
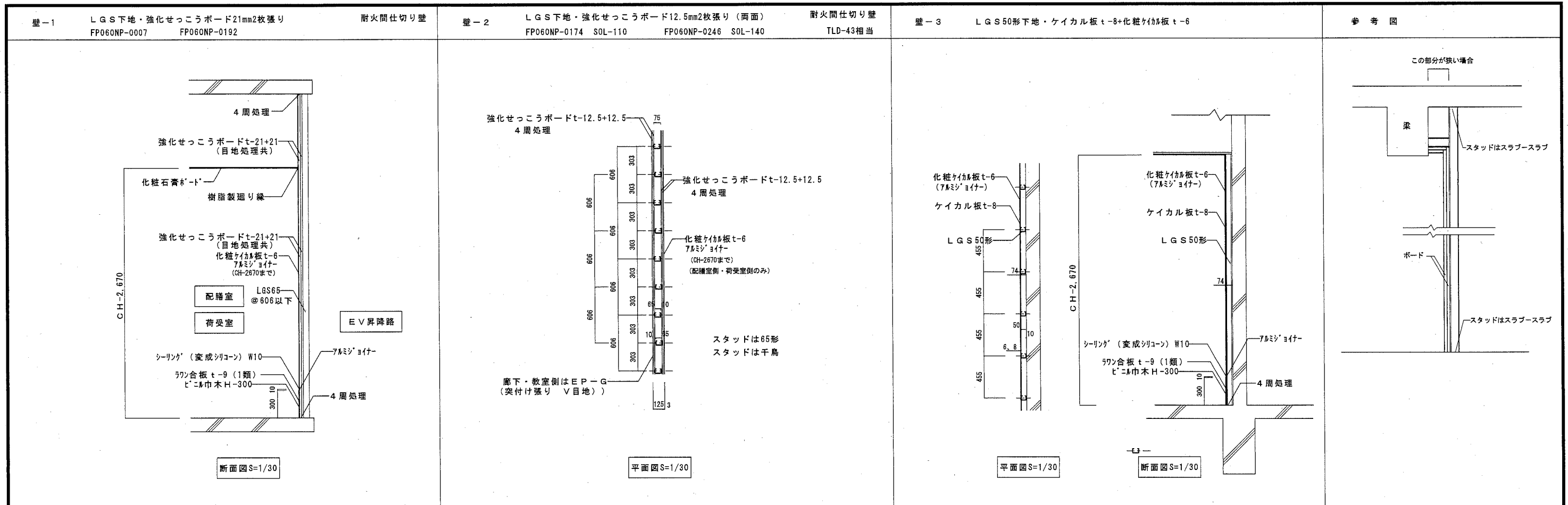




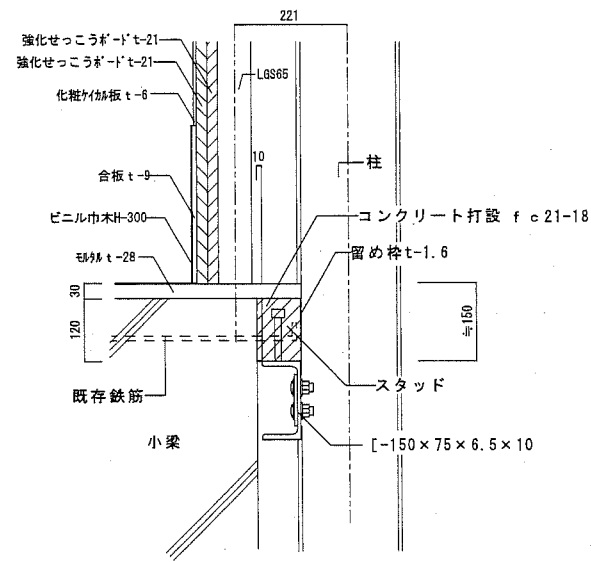
公共建築課長 	主査等 	担当者 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成 31年 2月	工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事 図面名称 市立常葉中学校 矩計図	縮尺 1/50	A-30 No.
---	---------	---------	-----------------------------------	--	------------	-------------

記号・数	AD-1 1ヶ所	AD-2 1ヶ所	HD-1 4ヶ所	HD-1 参考図
図法子	<p>① 透明ガラスt3.0+透明フィルムt30mil+透明ガラスt3.0 ② アルミパネルt=5.0 ③ アルミパネルt=3.0</p>	<p>④ 網入り型板ガラス t-6.8</p>	<p>④ 網入り型板ガラス t-6.8</p>	<p>平面図 S=1/20 断面図 S=1/20</p>
見込	100	100	183	
取付場所	1階 荷受室	1階 相談室	1階、2階、3階、4階 配膳室	
種別方法	FIX付引き分け戸	網入り引き違い戸	二重片引き上吊り戸	
材質・仕上	アルミ シルバー	アルミ 標準色	軽量スチール 焼付塗装	
取付金物	引違戸錠、押し棒、アルミ額縁	引違戸錠、アルミ額縁	引戸錠、押し棒	
備考	レール内ステンレス水抜きパイプ 3箇所		運動自閉装置・エンドストッパー 扉下部にゴム製等を取り付けて、ゴミ等の流入を防ぐ	

記号・数	AW-1 4ヶ所	AW-2 換気扇用-3ヶ所 空調配管用-3ヶ所	SD-1 1ヶ所	5ヶ所	
図法子	<p>④ 透明ガラスt=3.0+飛散防止フィルム</p>	<p>③ アルミパネル t=3.0 ④ 透明ガラスt=3.0+飛散防止フィルム</p>			
見込	70				
取付場所	配膳室(1階、2階、3階、4階)	2階、3階、4階 配膳室 会議室、特別支援室、国際教室	昇降路 最頂部	PS 壁面	
種別方法	FIX・ガラリ付引き違い窓		特定防火設備扉	点検口	
材質・仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	鉄製 t=1.6 自閉式 焼付塗装	アルミ額縁タイプ 仕上げは壁と同じにする	
取付金物	クレセント				
備考	アルミ額縁 L-40(両側) SUS3-パネル 2段 L-850	アルミパネルの穴開け加工共 (開口の大きさは機械設備と協議すること)	鍵付き	鍵付き	



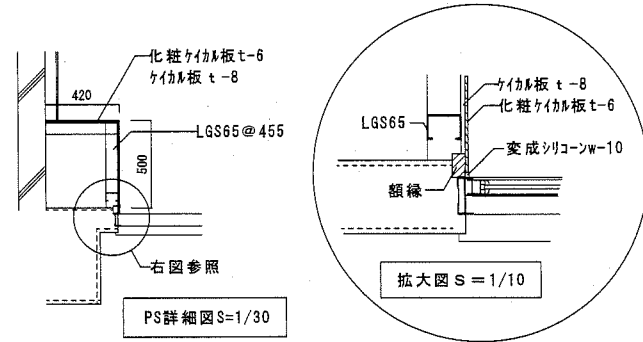
各階 スラブ接続部詳細 (エレベーター昇降路)



既存スラブの鉄筋は定着分を残しておくこと

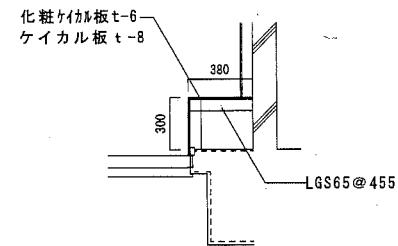
断面図 S=1/10

PS詳細図



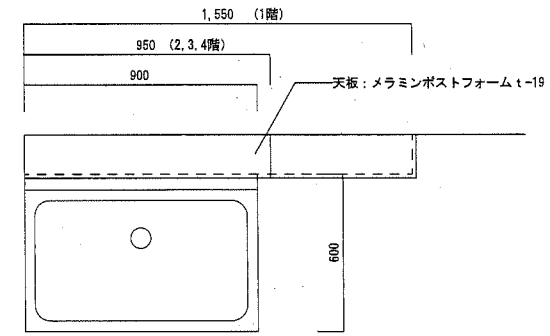
PS詳細図 S=1/30

EPS詳細図

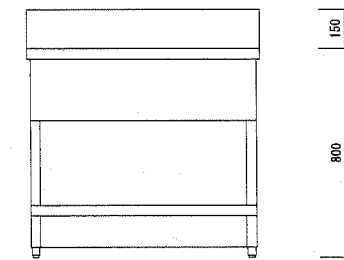


EPS詳細図 S=1/30

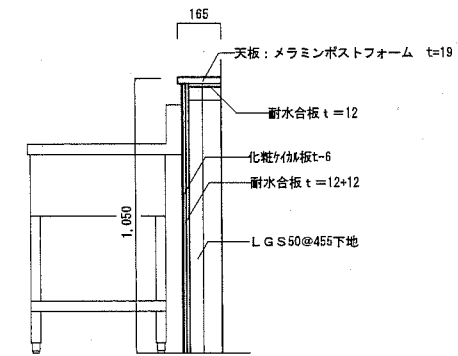
ステンレス流し及びライニング 参考図



平面図 S=1/20

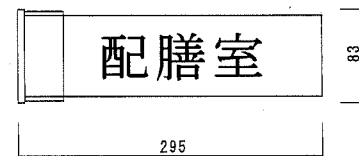


立面図 S=1/20

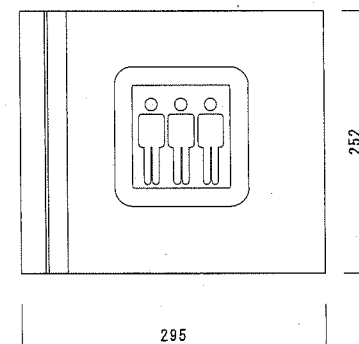


断面図 S=1/20

サインプレート詳細図



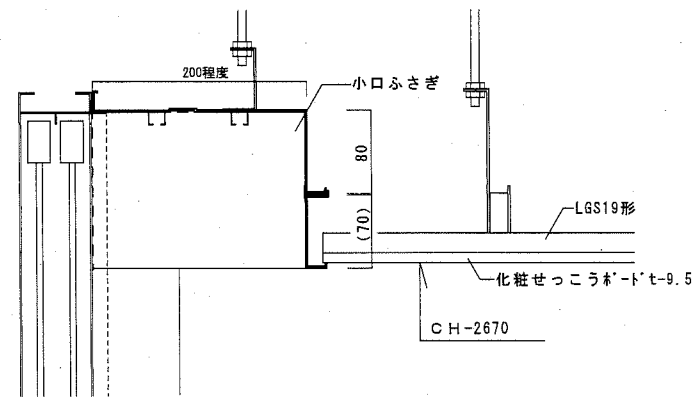
スイング式 室名札 アクリル製
両面表示 印刷 共



スイング式 室名札 アクリル製
両面表示 印刷 共

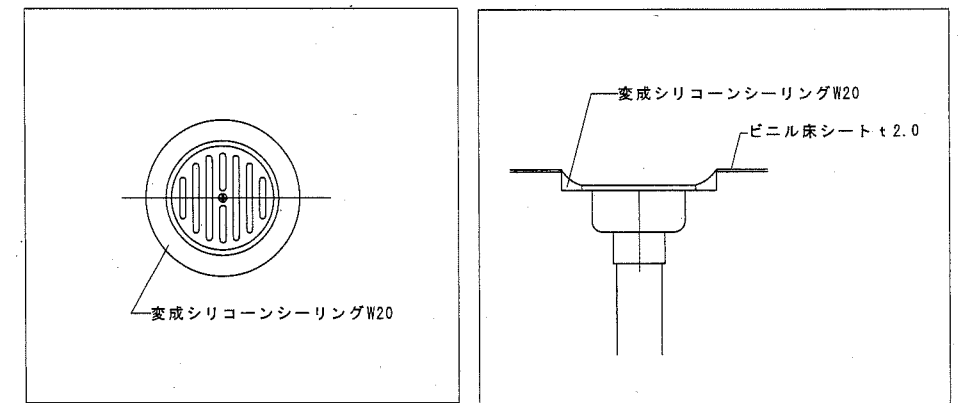
※文字等については係員と協議

アルミカーテンボックス 参考図



アルミカーテンボックス S=1/5

保冷库排水目皿詳細図 S=1/5



保冷库排水目皿詳細図 S=1/5

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 雑詳細図 - 2

縮尺

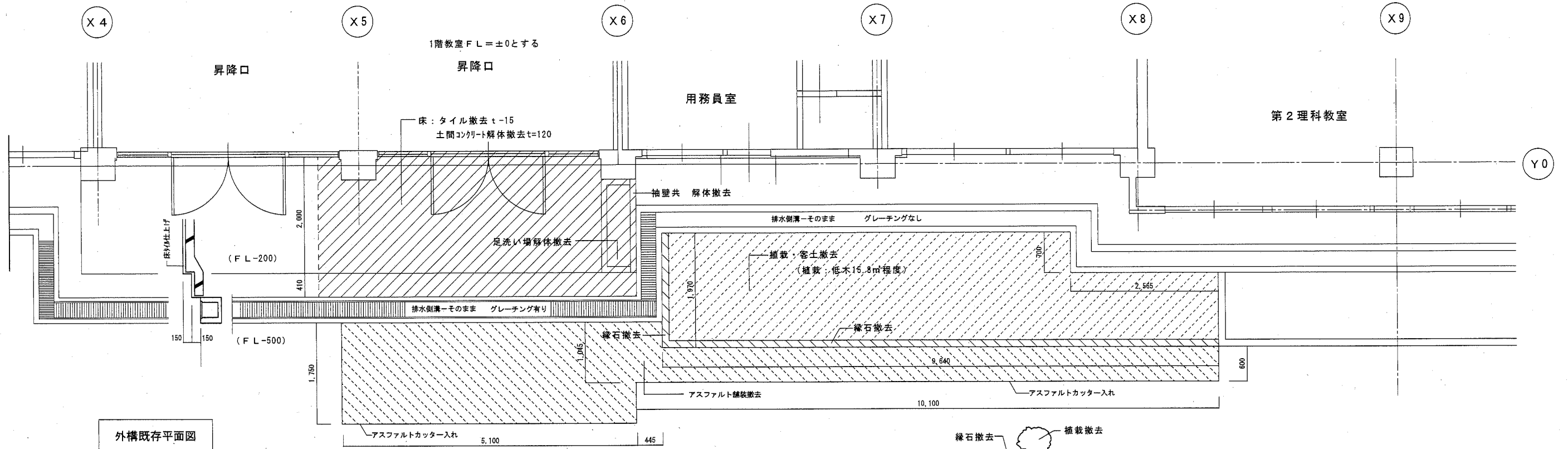
1/5

1/10

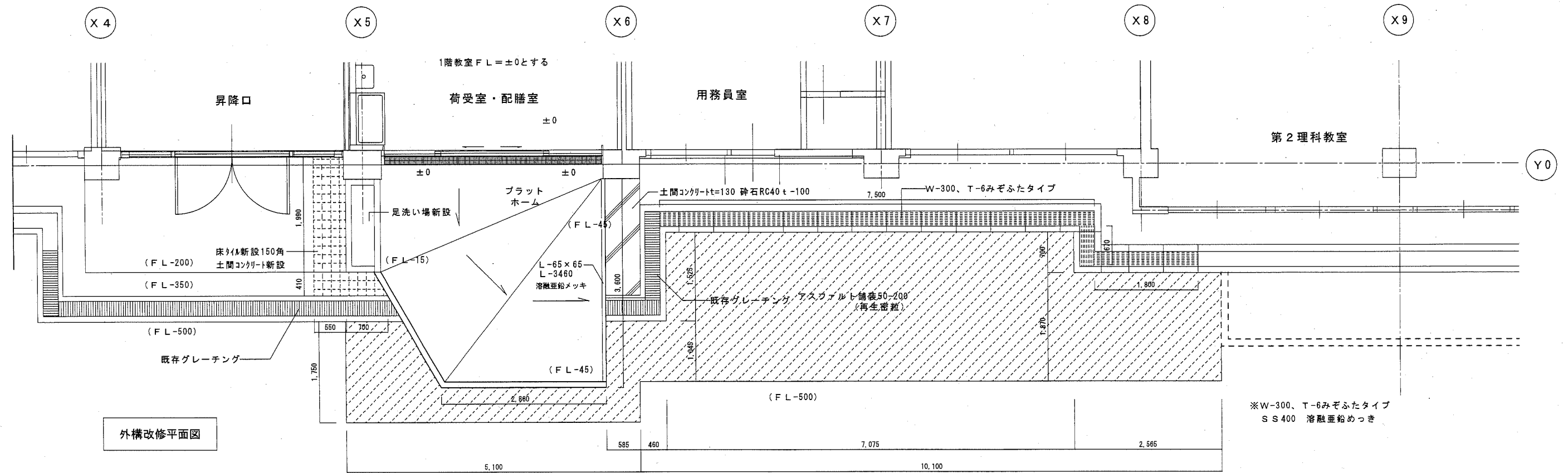
1/20

A-33

No.



外構既存平面図



外構改修平面図

※W-300、T-6みぞふたタイプ
S S 400 溶融亜鉛めっき

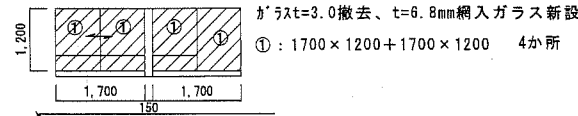
その他工事 D-1,2,3,4

凡例

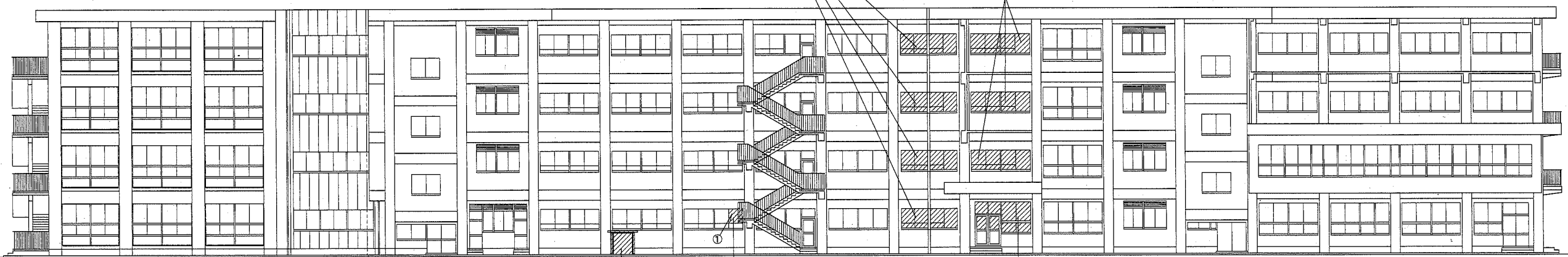
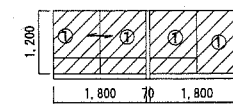
①: t=6.8mm網入り透明ガラス

(防火設備用ガラスシーリング共)

その他工事 D-2



ガラスt=3.0撤去、t=6.8mm網入りガラス新設 ①: 1800x1200+1800x1200 3か所

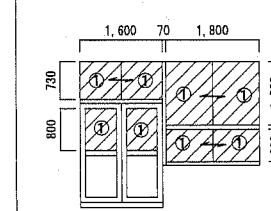


フロン庫解体 (フロッグ造)

ガラスt=3.0撤去、t=6.8mm網入りガラス新設 ①: 900x900 1か所

その他工事 D-4

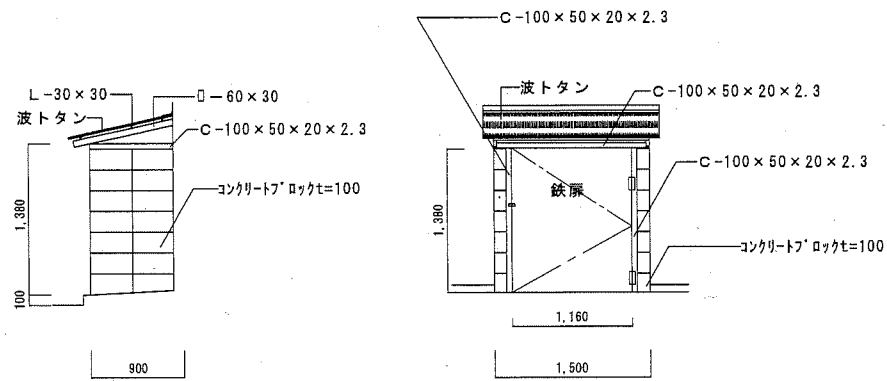
その他工事 D-1



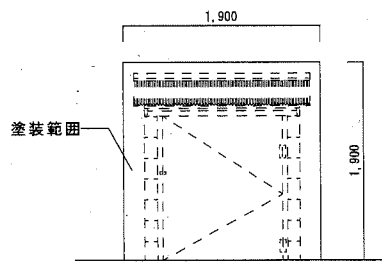
ガラスt=3.0撤去、t=6.8mm網入りガラス新設 ①: 1600x730 1か所 ②: 1600x800 1か所 ③: 1800x1200 1か所 ④: 1800x600 1か所

その他工事 D-3

D-4: フロン庫詳細図



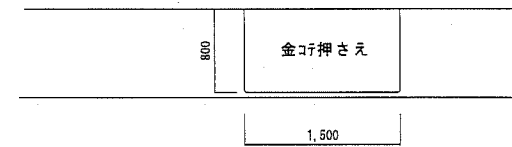
※フロン庫の解体を行う事



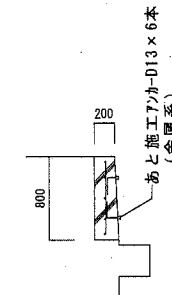
※解体後、校舎壁面に下記の塗装を行うこと

仕上塗材: 建築用塗膜防水材塗り JIS A6021 (ロー さざ波模様 シリコン仕上)

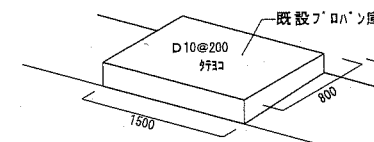
下地調整: C1



新設フロン庫用基礎 平面図 S=1/50



新設フロン庫用基礎 断面図 S=1/50



※フロン庫撤去後、新設フロン庫用基礎打設 フロン庫新設は機械設備工事

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 その他工事 D-1,2,3,4

縮尺

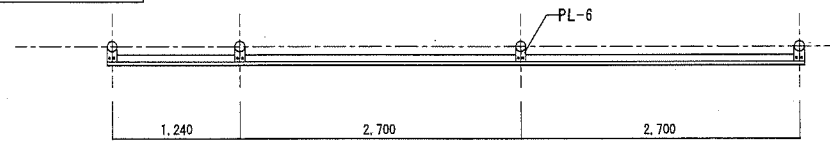
1/100

1/50

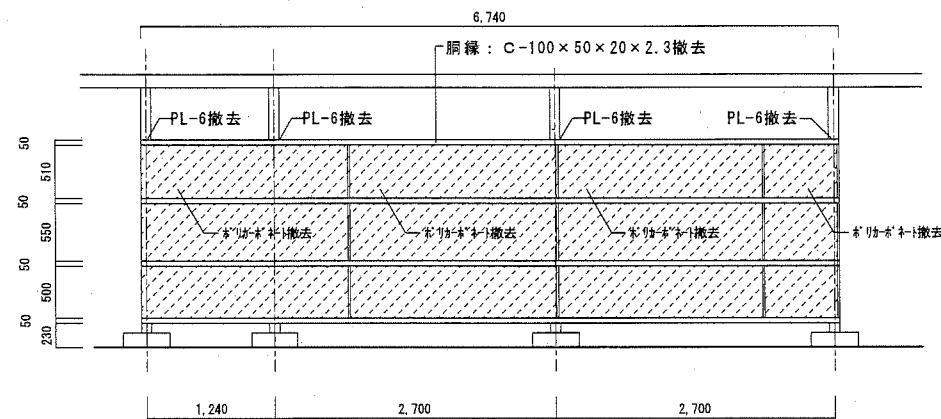
A-36

No.

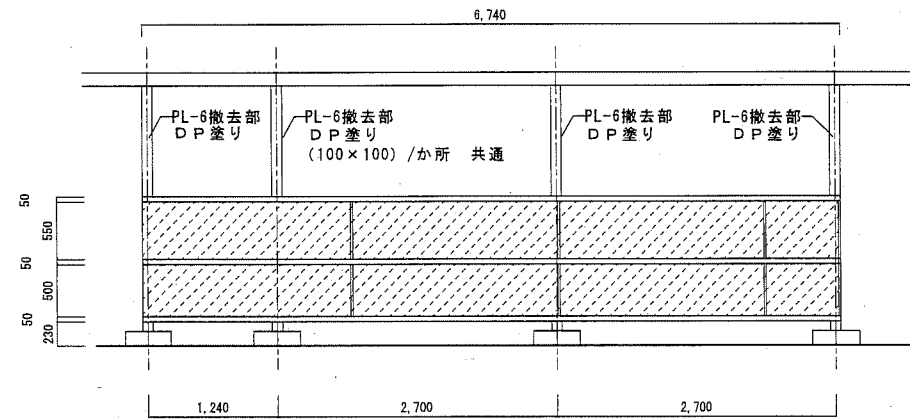
その他工事 D-5



その他工事 D-5平面図

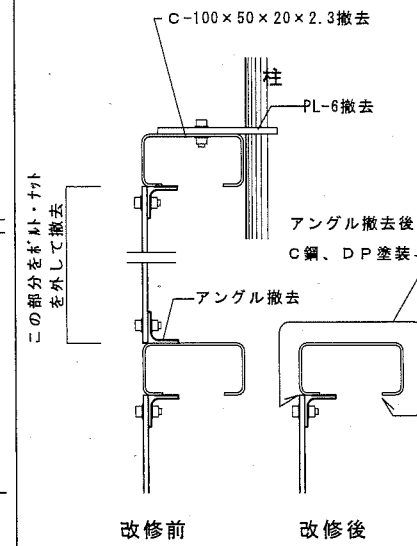


その他工事 D-5既存立面図
(体育館 渡り廊下 パネル撤去)

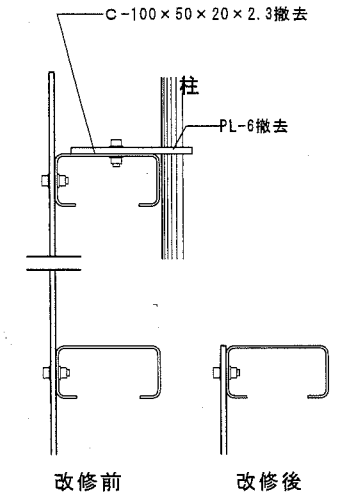


その他工事 D-5改修立面図
(体育館 渡り廊下 パネル撤去)

※胴縁取付プレート撤去部は
DP塗りによるタッチアップ施すこと

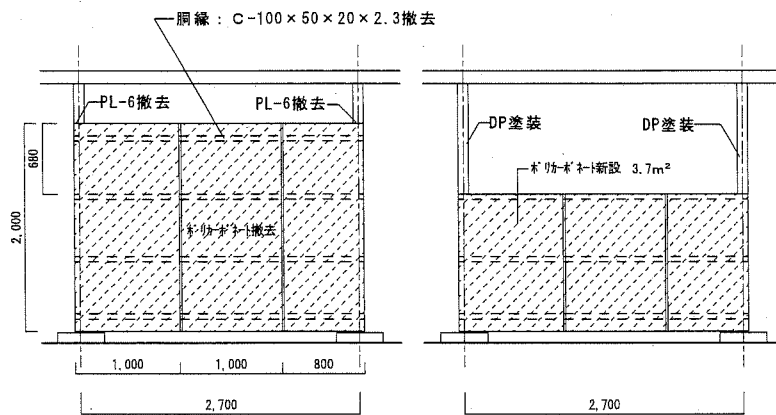


その他工事 D-5
パネル接続部 S=1/5



その他工事 D-6,7
パネル接続部 S=1/5

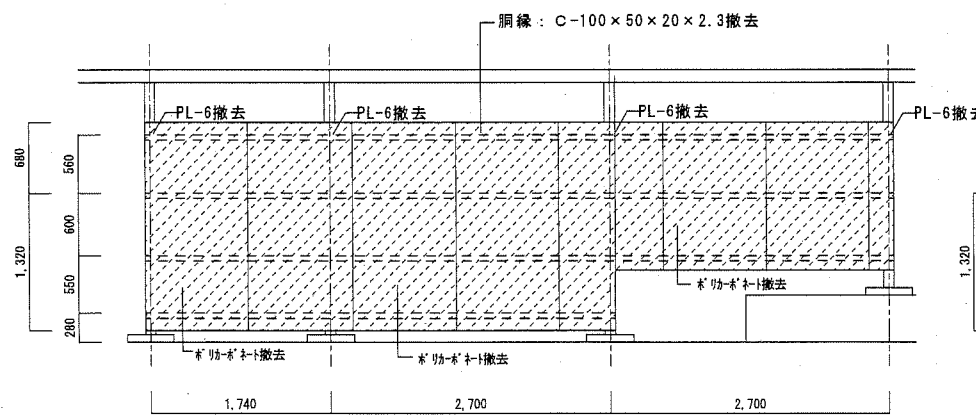
その他工事 D-6



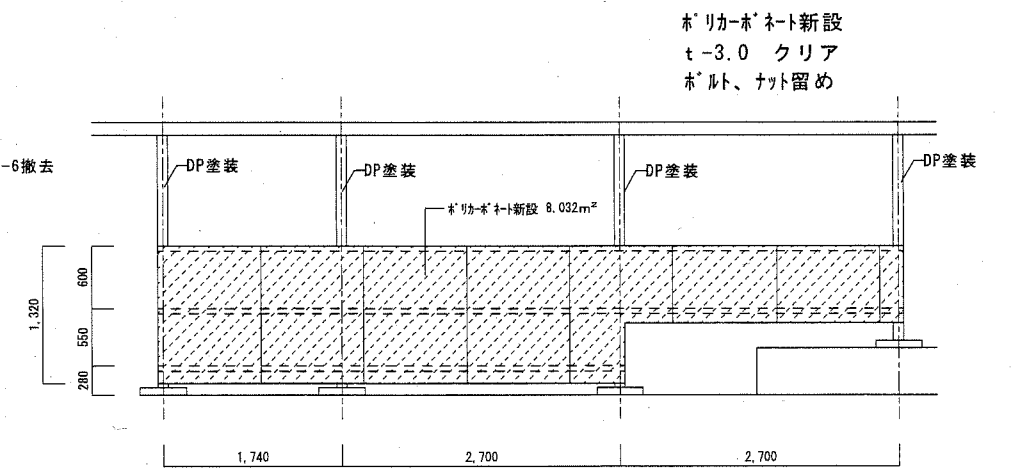
その他工事 D-6既存立面図
(体育館 渡り廊下 パネル撤去)

その他工事 D-6改修立面図
(体育館 渡り廊下 パネル撤去)

その他工事 D-7



その他工事 D-7既存立面図
(体育館 渡り廊下 パネル撤去)



その他工事 D-7改修立面図
(体育館 渡り廊下 パネル撤去)

ホリカーネット新設
t-3.0 クリア
ホルト、ナット留め

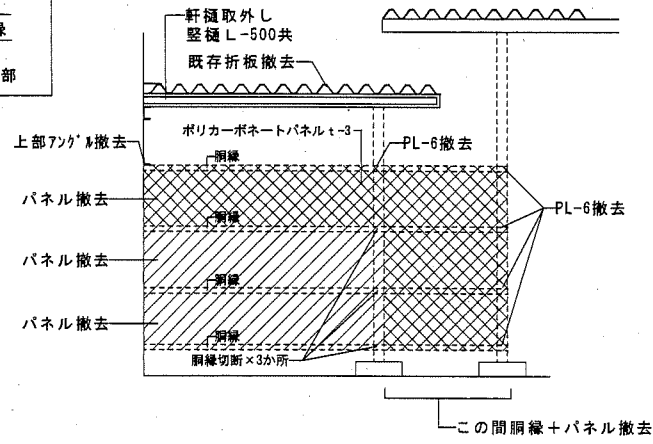
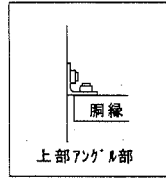
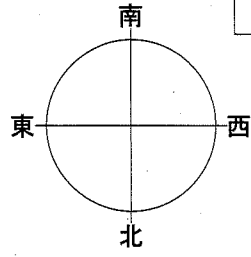
公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

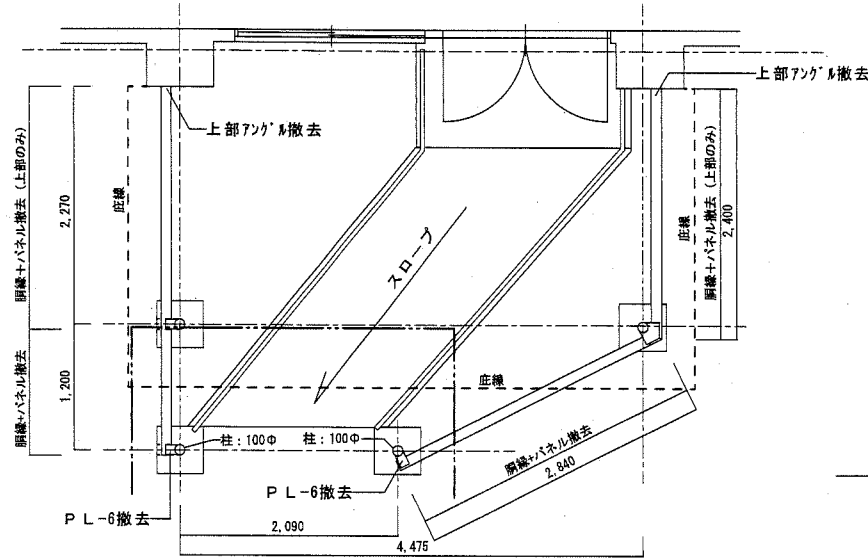
工事名称	市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称	その他工事 D-5, 6, 7

縮尺	1/5	A-37
	1/50	
No.		

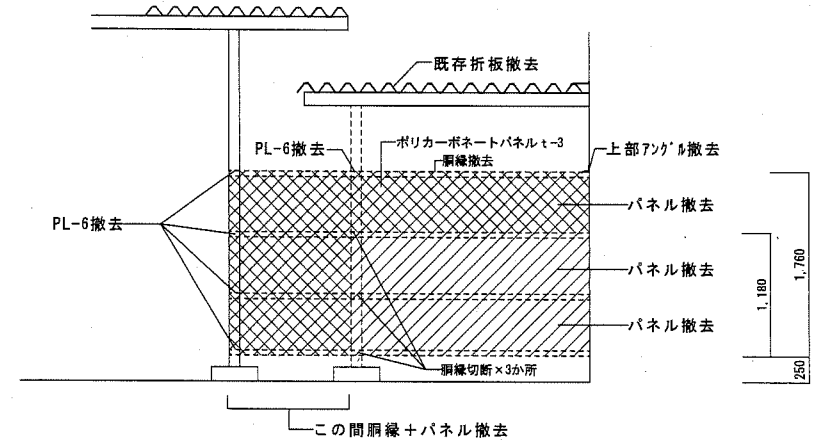
その他工事 D-8



D-8: 渡り廊下東立面図 (既存)



D-8: 渡り廊下平面図 (既存)



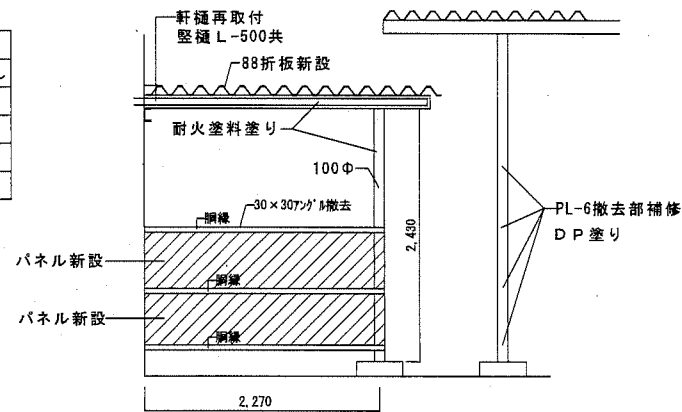
D-8: 渡り廊下西立面図 (既存)

柱: 100φ
 梁: H-250×125×6×9
 梁: □-125×65×6×8

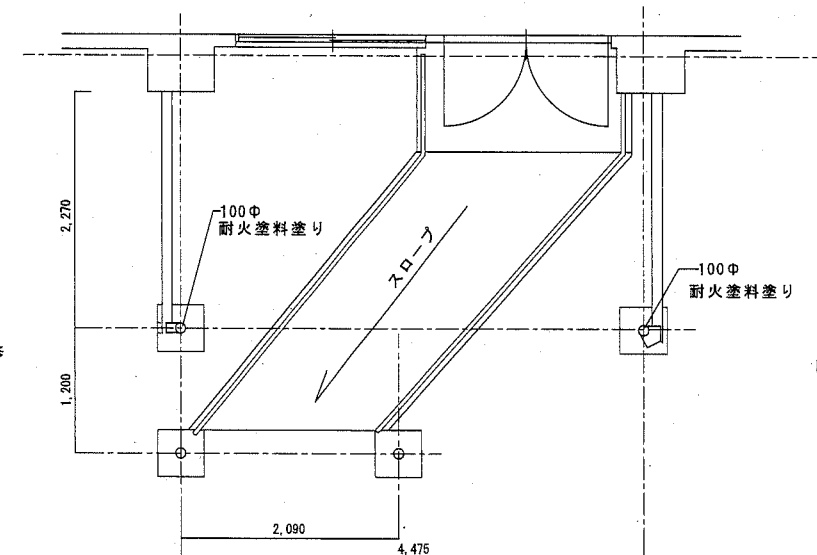
ポリカーボネート板 t-3
 撤去、新設を示す

概要

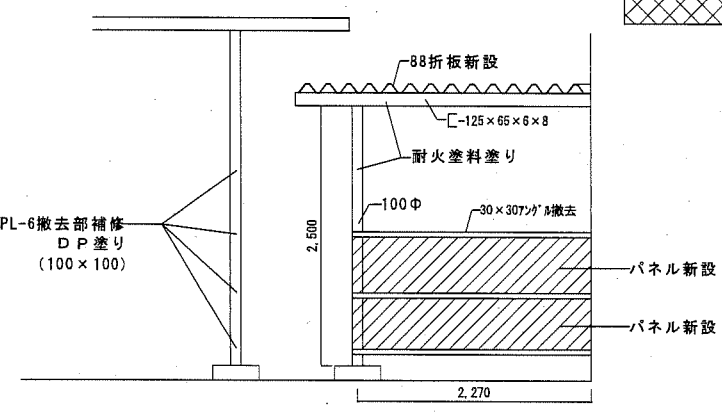
- ・校舎側の既存屋根撤去
 - ・図示の雨縁及びパネルを撤去し
 - ・図示のパネルを新設する
 - ・雨縁を留めていたPL-6を撤去
 - ・柱、梁を1時間耐火塗料塗リ
 - ・30分耐火折板新設
- ※耐火塗料下地調整: RB



D-8: 渡り廊下東立面図 (改修)

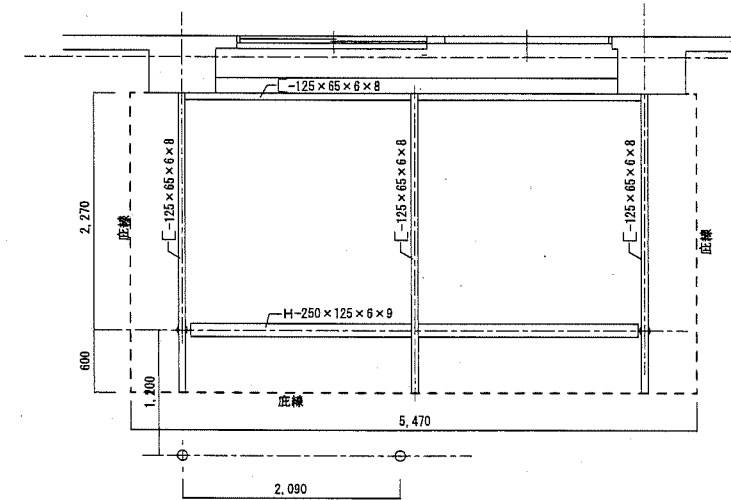
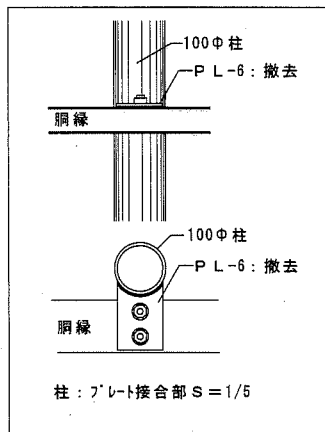


D-8: 渡り廊下平面図 (改修)



D-8: 渡り廊下西立面図 (改修)

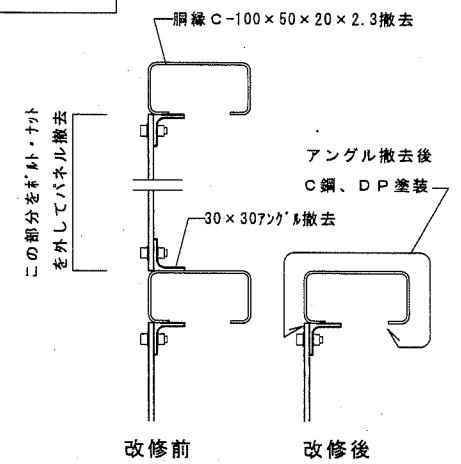
ポリカーボネート板 t-3
 撤去を示す



D-8: 渡り廊下伏せ図

※雨縁取付プレート撤去部は
 DP塗リによるタッチアップ施工こと

柱: 100φ×4.5
 梁: H-250×125×6×9
 梁: □-125×65×6×8



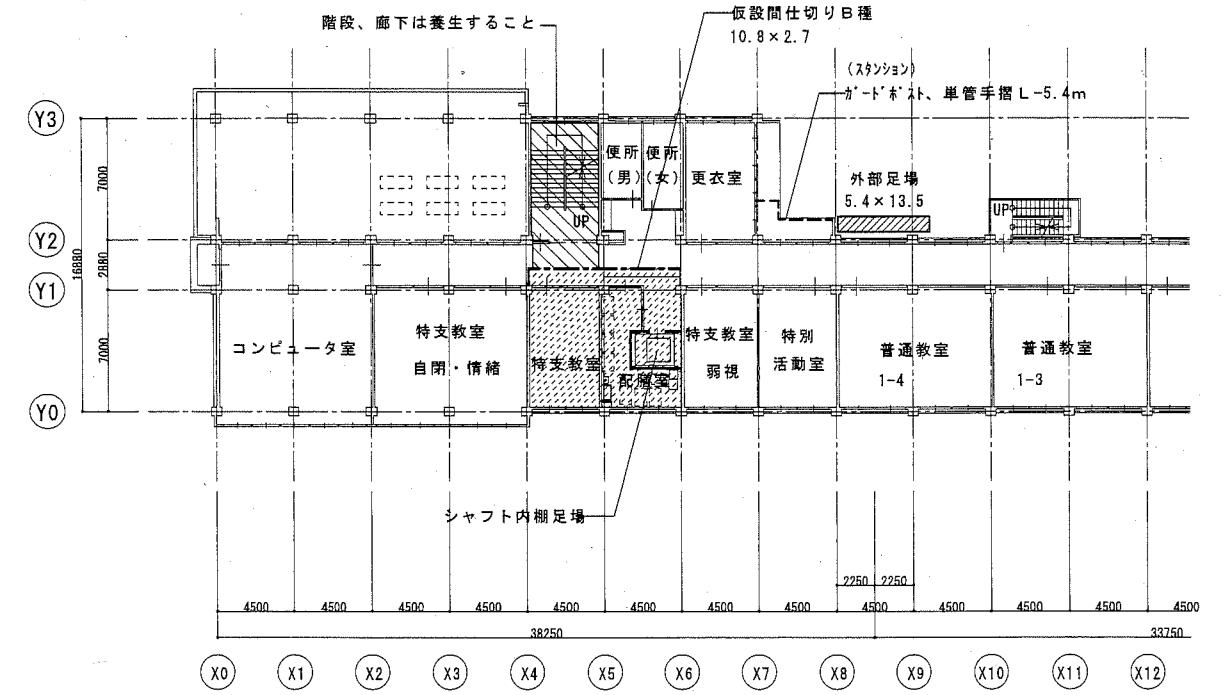
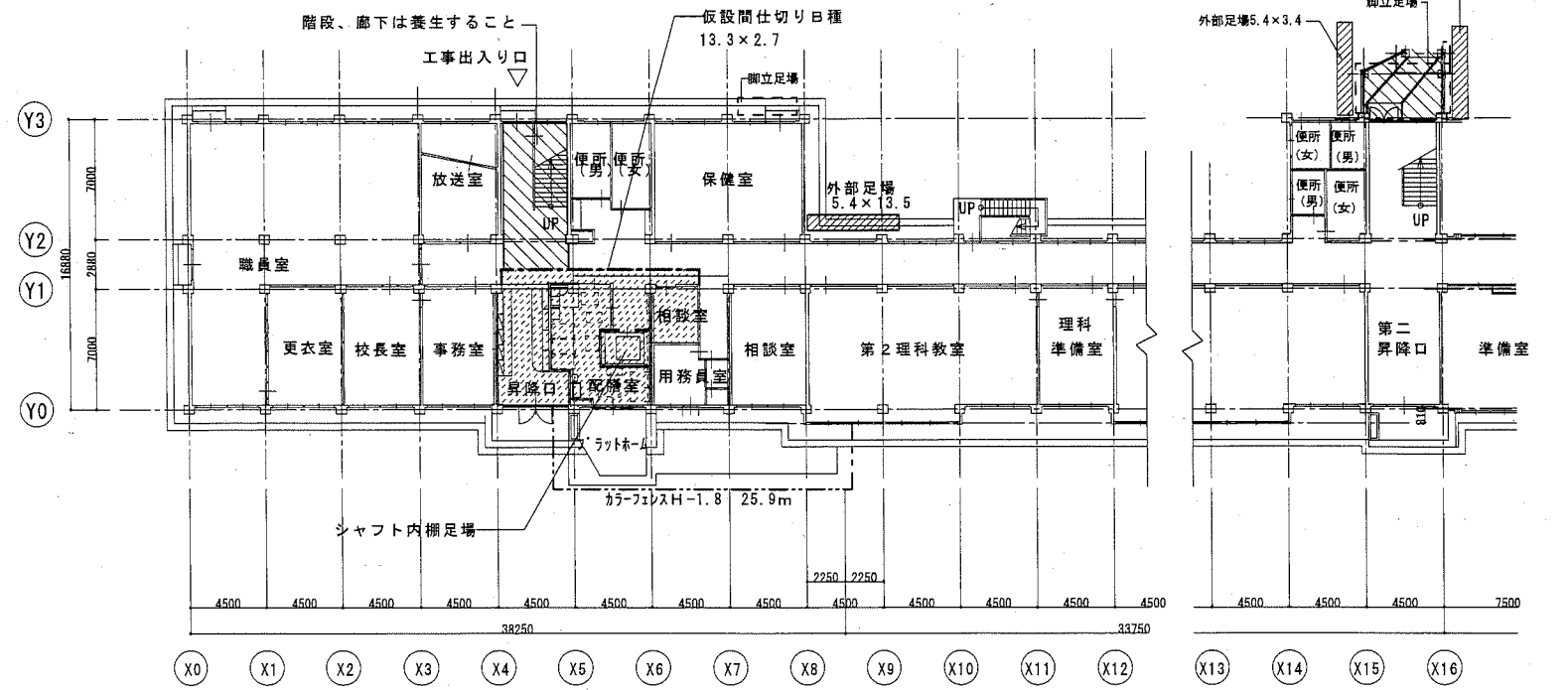
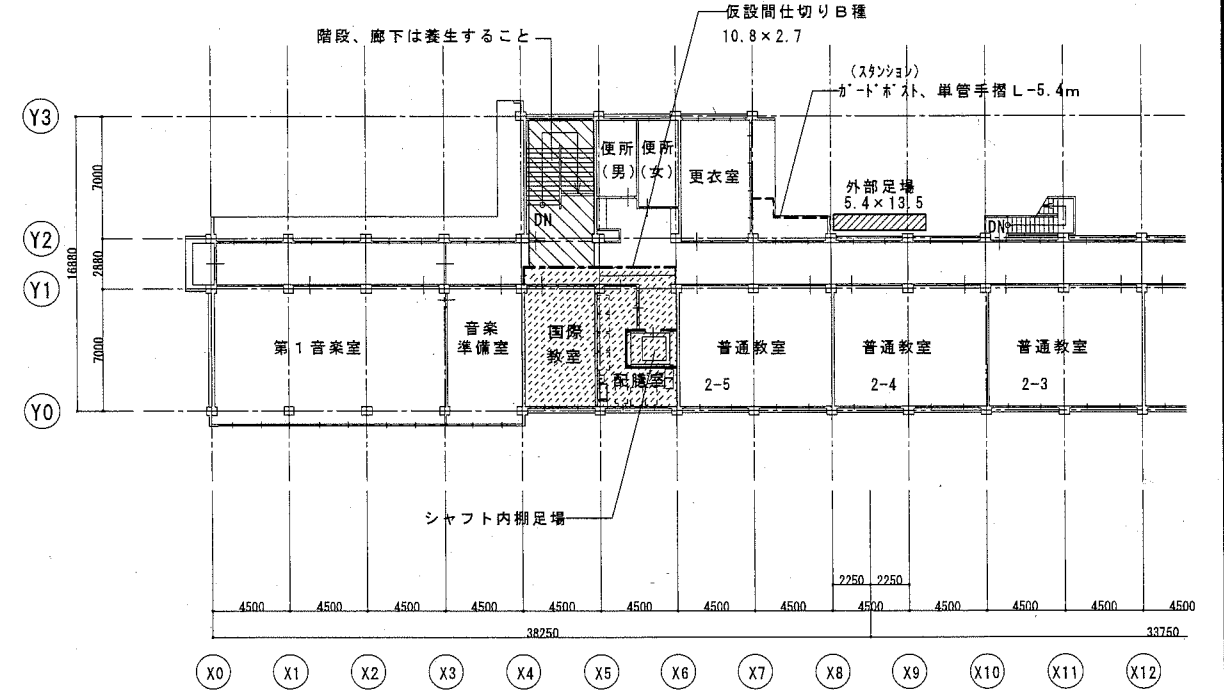
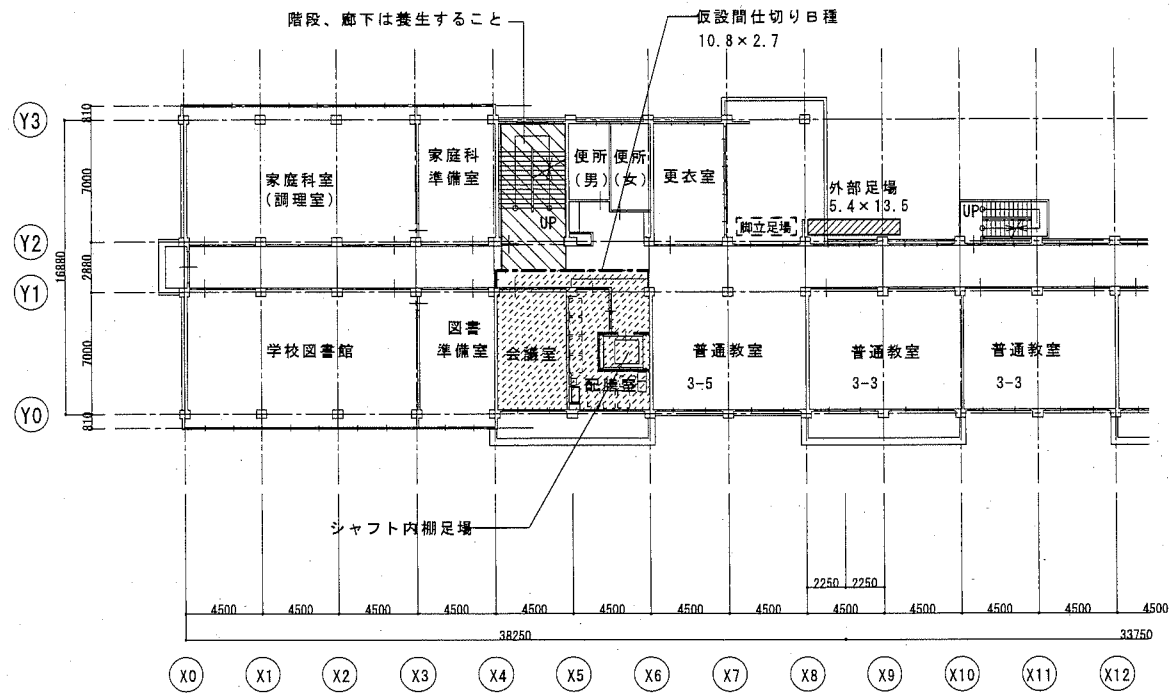
その他工事 D-8
 パネル接続部 S=1/5

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事
 図面名称 その他工事 D-8

縮尺 1/5
 1/50
 A-38
 No.



※仮設間仕切りには出入り口扉（鍵付き）を設けること
 ※建築の外部工事及び機械設備工事は高所作業車

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事
(2) 建築場所 神奈川県横浜須賀町小川町 18番地
(3) 構造種別 新築
(4) 構造設計一級建築士の関与
(5) 階数
(6) 主要用途 中学校
(7) 屋上付属物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 構造計算ルート

2. 使用構造材料

Table with columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質管理強度, スランプ, 備考. Lists materials like concrete, steel, and reinforcement.

単位量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

コンクリートブロック (JIS A) 5406

鉄筋

Table with columns: 種類, 径, 使用箇所, 継手工法. Lists reinforcement types like SD295A, SD345, etc.

鉄骨

Table with columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, JIS規格・認定番号等. Lists steel types like SS400, STK400, etc.

ボルト

Table with columns: 種類, 径, 使用箇所, ナット. Lists bolt types like F10T, F10B, etc.

鋼管

Table with columns: 材種, 型式, 厚, その他, 使用箇所, 仕様・備法. Lists steel pipe types like ALC, 折板, etc.

3. 地盤・地盤説明書

Table with columns: 調査項目, 資料有り, 調査計画, 調査項目, 資料有り, 調査計画. Lists soil investigation items like boring, plate load test, etc.

上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

Large table for soil investigation results with columns for depth, soil type, and test results.

地盤調査及び試験の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

直接基礎, 地盤改良, 杭基礎

杭基礎

Table with columns: 杭種, 材料, 施工法, 備考. Lists pile types like RC, PHC, etc.

杭仕様, 施工計画書承認, 杭施工結果報告書

試験杭

Table with columns: 杭径 (mm), 設計支持力 (kN), 杭の先端の深さ (m), 本数, 特記事項. Lists pile test results.

5. 鉄筋コンクリート工事・施工方法等計画書

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36N/mm² 以下に適用し、鉄筋の仕様はSD390以下に適用する。

コンクリート

コンクリートはJIS-A5308に適合するJIS認定工場製の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5 (2009年版) による。

耐久設計基準強度 F_d

セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

調査計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。

養生中、養生、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。

フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保存し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定数は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

構造強度コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その半数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の 断面積からその必要本数を採取する。なお、供試体の数は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4本を用いる。

ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

コンクリートの打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。

乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

鉄筋

鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS5による。

高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。

鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造設計標準図 (1) (2) または「(型) 鉄筋コンクリート構造設計標準図 (1) (2)」による。

鉄筋継手工法

継手の位置等の設計条件による仕様・等級

鉄筋の径

重ね継手

圧接継手

溶接継手

機械式継手

D18未満は、すべて重ね継手とする。

継手部分の施工要項は、(社) 日本鉄筋協会「鉄筋継手標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事) による。

継手部分の検査方法は、外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無、ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。

(1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする)

柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、H型 (夕形) W型 (溶接型) S型 (スパイラル型) とする。

コンクリート及び鉄筋の試験は、指定を受けた第三者機関にて行うこと。

型枠

材料 合板厚 12mmを標準とする。 施工はJASS5による。

型枠設置期間

コンクリートの圧縮強度

設計基準強度の50%

設計基準強度の85%

設計基準強度の100%

注1) 1片ばり、座、スパン9.0m以上のはり下は、工事監督者の指示による。

注2) 大はりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注3) 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。

注4) 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い保冷、角材または、これに代わるものを置く。

注5) 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注6) 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛りかえを行わないこと。

注7) 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

日本建築学会「JASS6」「鉄骨検査基準」「鉄骨工事技術指針」

(社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」

鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監督者の承認を必要とするもの

製作現場 製作要領書 工作図 施工計画書

認定または登録工場 (大臣認定 登録工場) (R) (R) グレード 以上)

材料規格証明書※、または試験成績書

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材 鋼材

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)

(イ) 原則として (a) のフック先曲げとする。片側床版付 (L型) 梁で (b)、両側床版付 (T型) 梁で (c) 又は (d) とすることができる。

(ロ) フックの位置は (a) においては交互、(b) においてはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

幅止め筋	D<600 不要
幅止め筋	600≦D<900 2-D10 (9φ) 1段
幅止め筋	900≦D<1200 4-D10 (9φ) 2段
幅止め筋	1200≦D 10 (9φ) @300以内

8. 床板

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ち床スラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

② 間仕切壁との交差部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダマ穴打継ぎについて)

・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L以上
・無筋部分D10-@200 長さ800以上

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に (平面図)

③ 床に (床面とスラブが取り合う場合)

(2) 壁と壁 (平面図)

(3) 手摺、パラベット

(4) コンクリートブロック積壁

一般の場合

下部防水立上りのある場合

10. 柱、梁増打コンクリート補強

ハッチ部分は補強コンクリートを示す。

●印は補強筋

※柱と同様、同ピッチとする。

(2) 梁

- 補強筋は、梁主筋の1段下層 (D10以上) とする。
- あばら補強筋は、梁と同様、同ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100-200程度。
- 梁下部増打コンクリートの場合も上部増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は補強コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) はさける

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100≦φ≦150	150≦φ≦250
折筋 2-D13 (上下)	折筋 2-D13 (上下)	折筋 2-D13 (上下)
	縦筋 ST: 3φ-D13-100φ	縦筋 ST: 3φ-D13-100φ
	横筋 2-D13 (上下)	横筋 2-D13 (上下)
	上下	上下
	縦筋 ST φ1-D13	縦筋 ST φ1-D13

φ>250

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

※ 部分については設計で確認された場合は右図の位置、寸法によらずに良い。

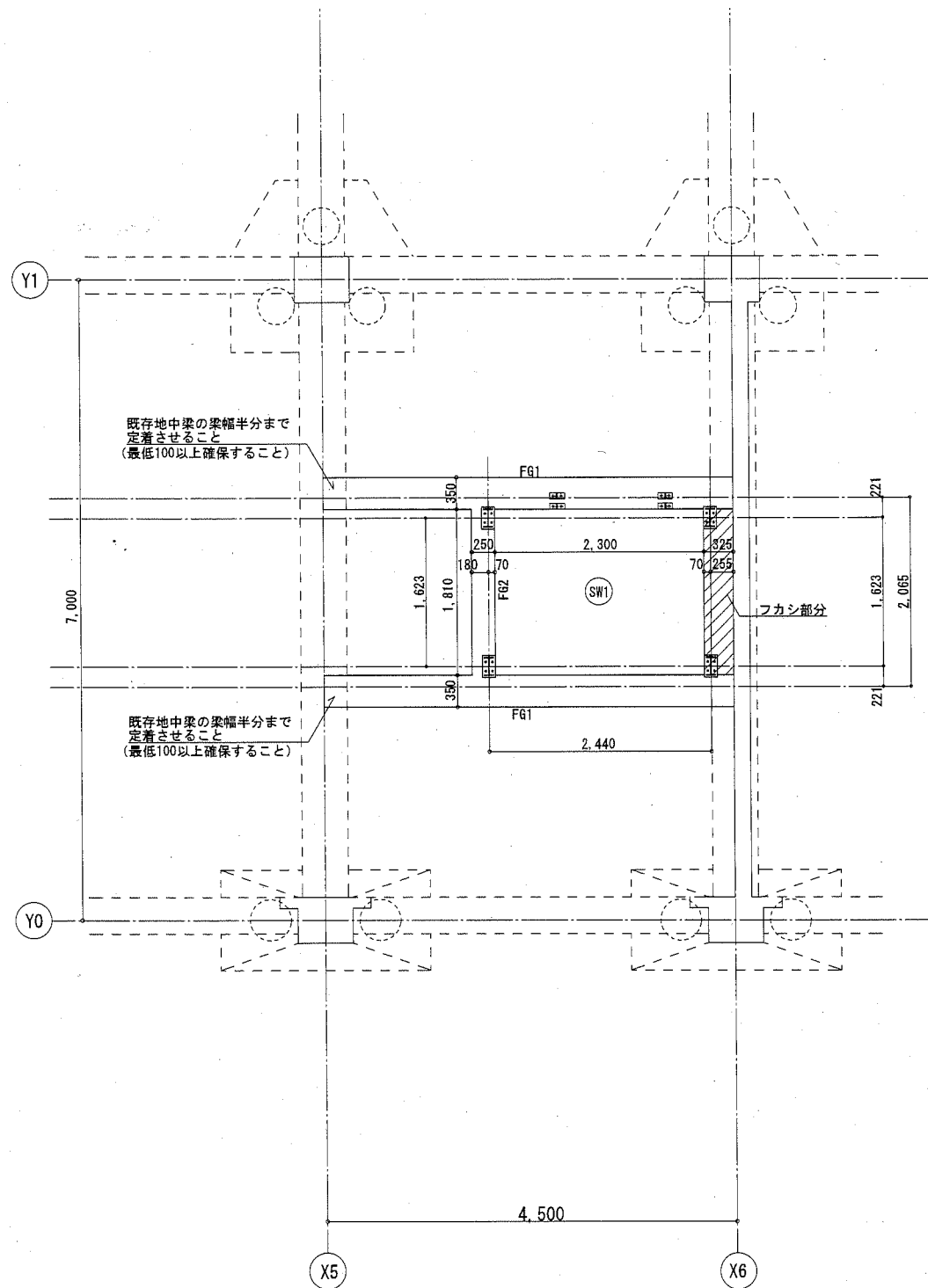
(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

●既製品を使用し 認定既製品を使用し個別検討を行う

□リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕打ち部分は、増築時の鉄筋継手工事を考慮して配置する)

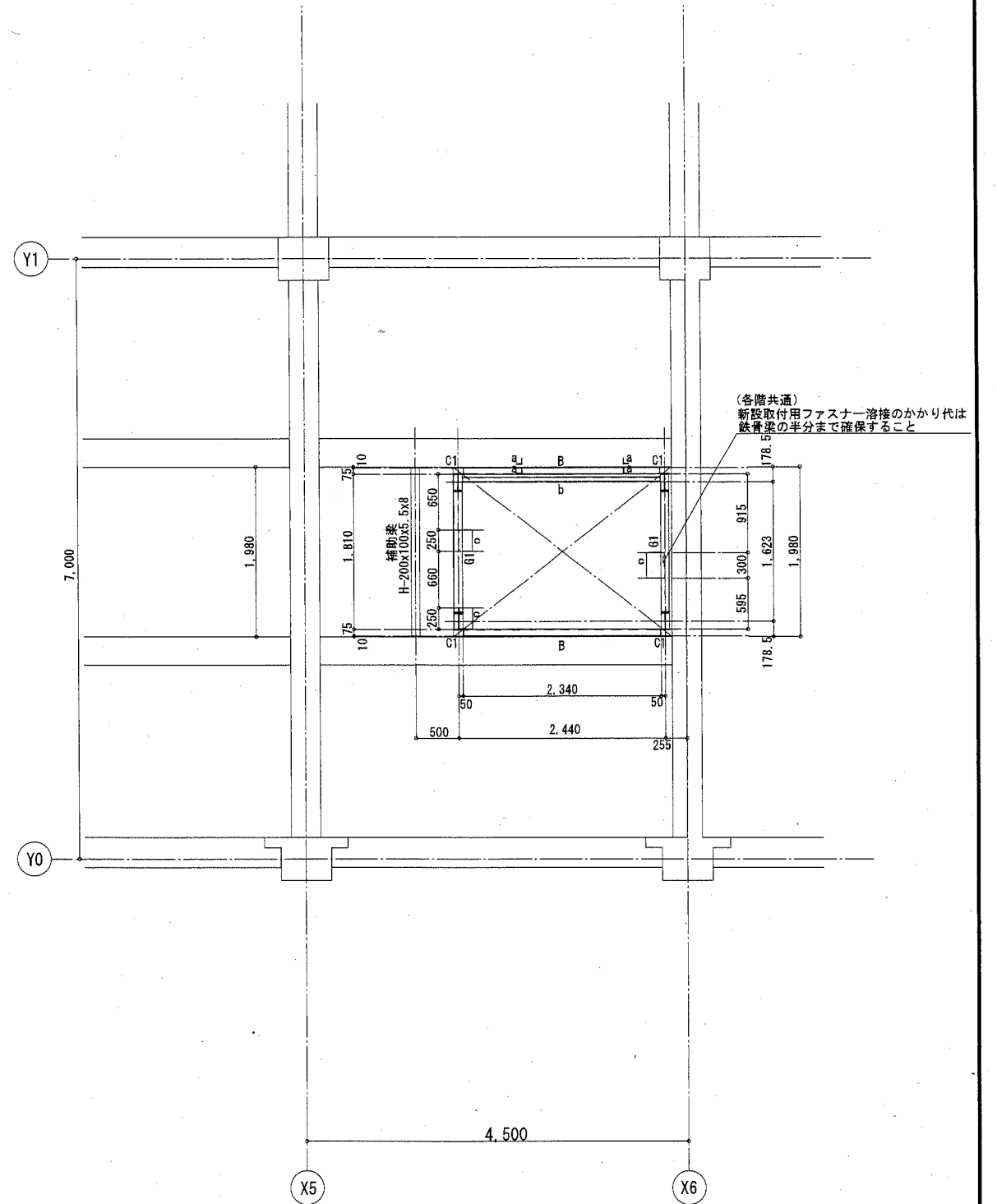
(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床版、壁



基礎、1階床伏図 S=1/50

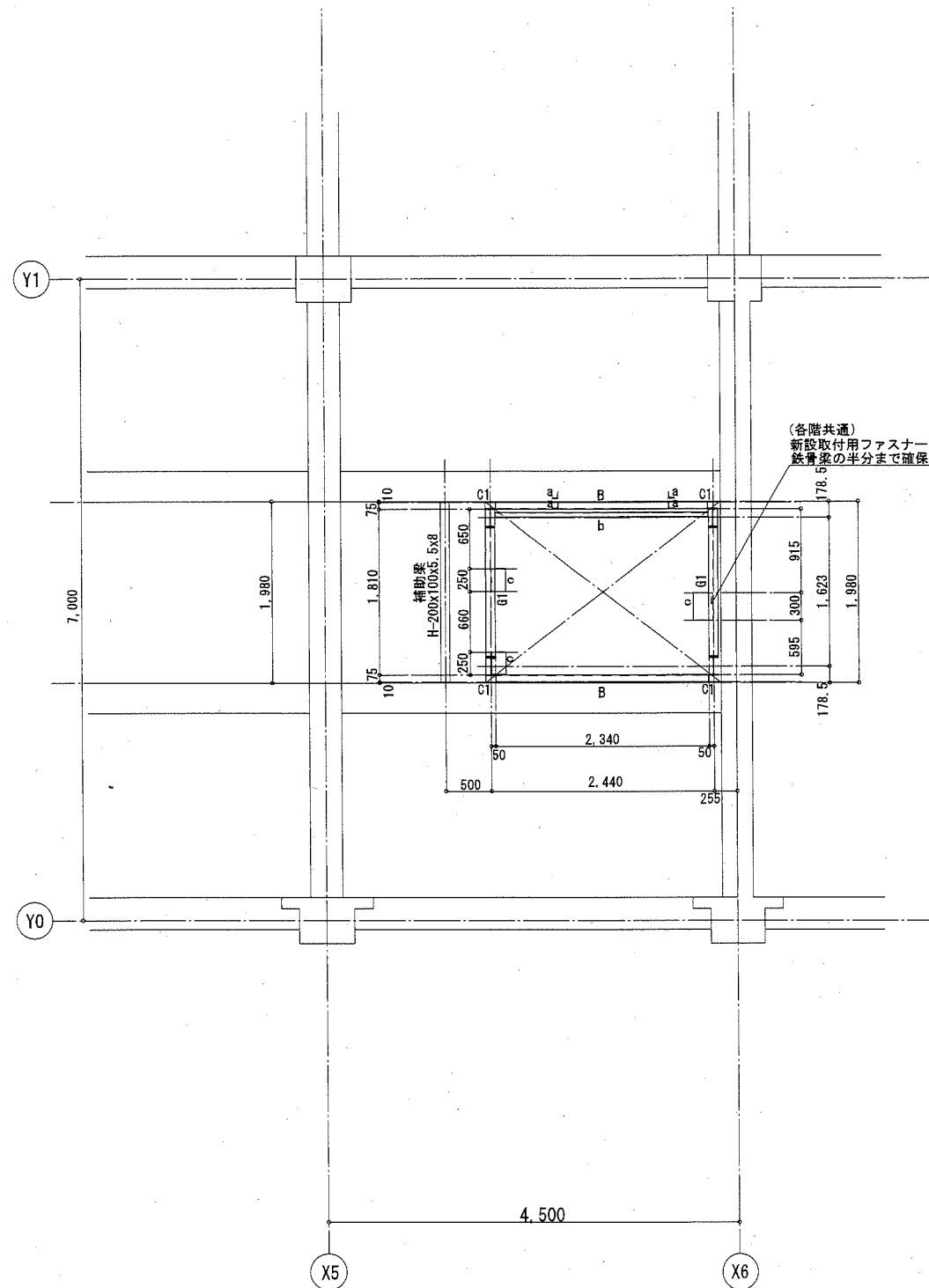
建築工事

- a: 三方枠取付鋼材 L-65x65x6
- b: 敷居取付材 [-100x50x5x7.5 (出入口タテ・ヨコ補強材)]
- c: レールラケット取付用フッサー PL-12



2階床梁伏図 S=1/50

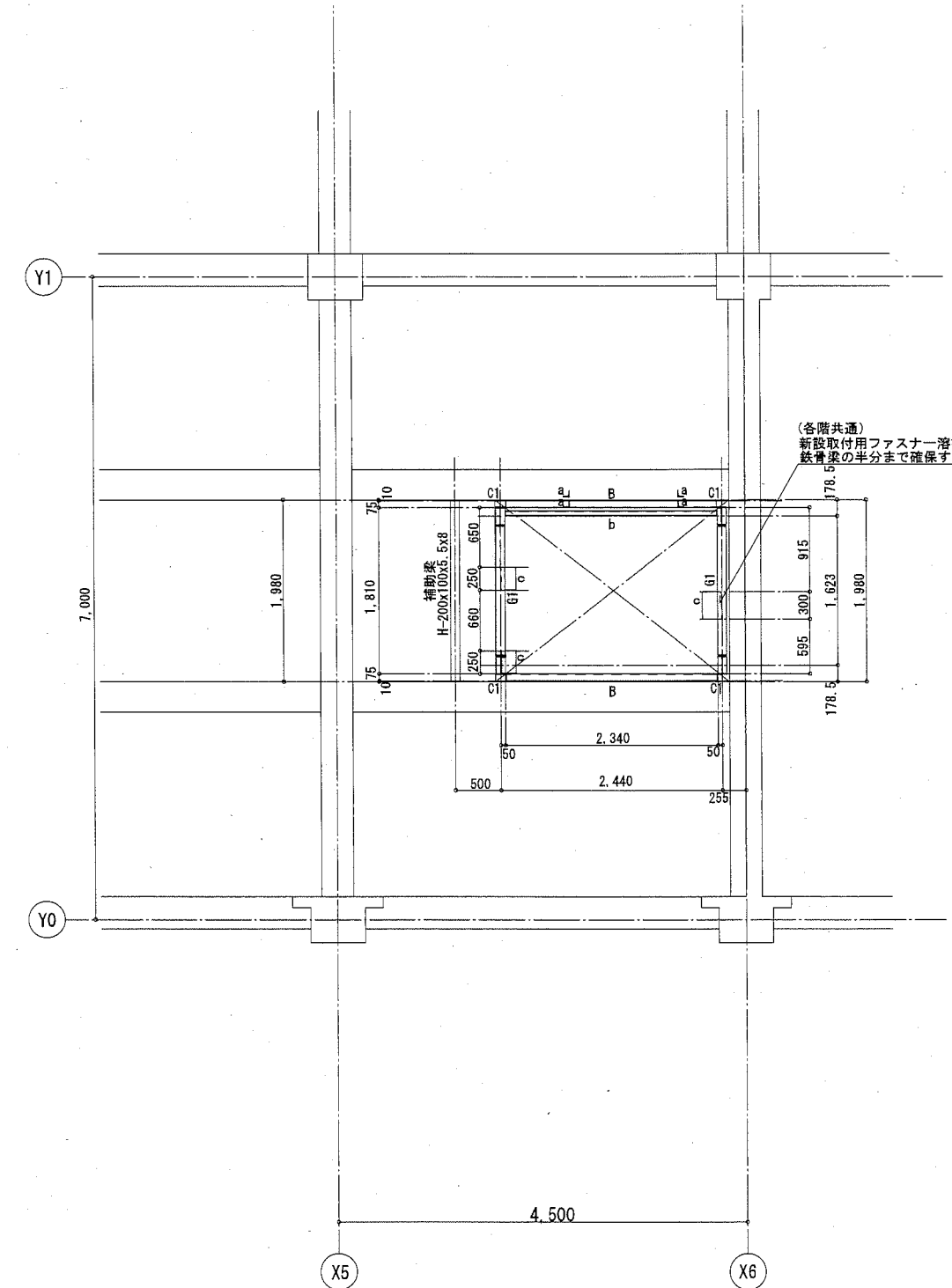
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	基礎、1階、2階床梁伏図		No. S-06



3階床梁伏図 S=1/50

建築工事
 a: 三方枠取付鋼材 L-65x65x6
 b: 敷居取付材 [-100x50x5x7.5 (出入口タテ・ヨコ補強材)]
 c: レールラケット取付用ファスナー PL-12

(各階共通)
 新設取付用ファスナー溶接のかり代は
 鉄骨梁の半分まで確保すること



4階床梁伏図 S=1/50

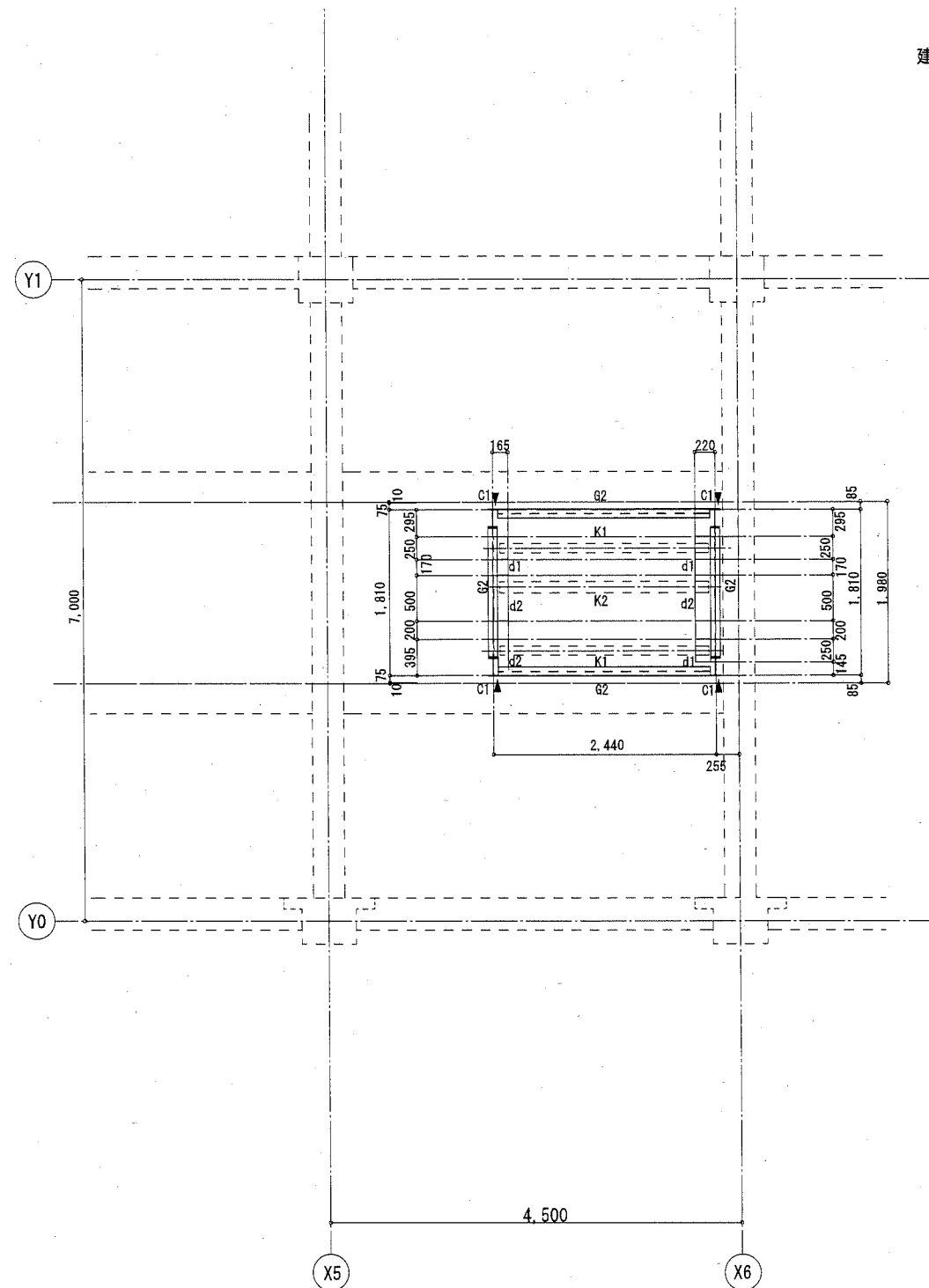
(各階共通)
 新設取付用ファスナー溶接のかり代は
 鉄骨梁の半分まで確保すること

EV工事

揚重ビーム K1 : H-100x100x6x8
 揚重ビーム K2 : H-125x125x6.5x9


建築工事

揚重ビーム取付用ファスナー d1 : PL-12
 レールブラケット取付用ファスナー兼
 揚重ビーム取付用ファスナー d2 : PL-12

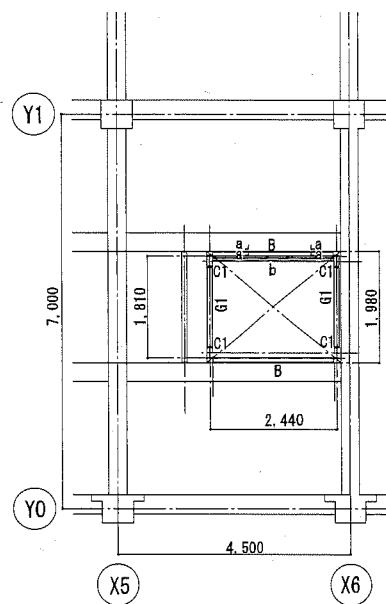


R階床梁伏図 S=1/50

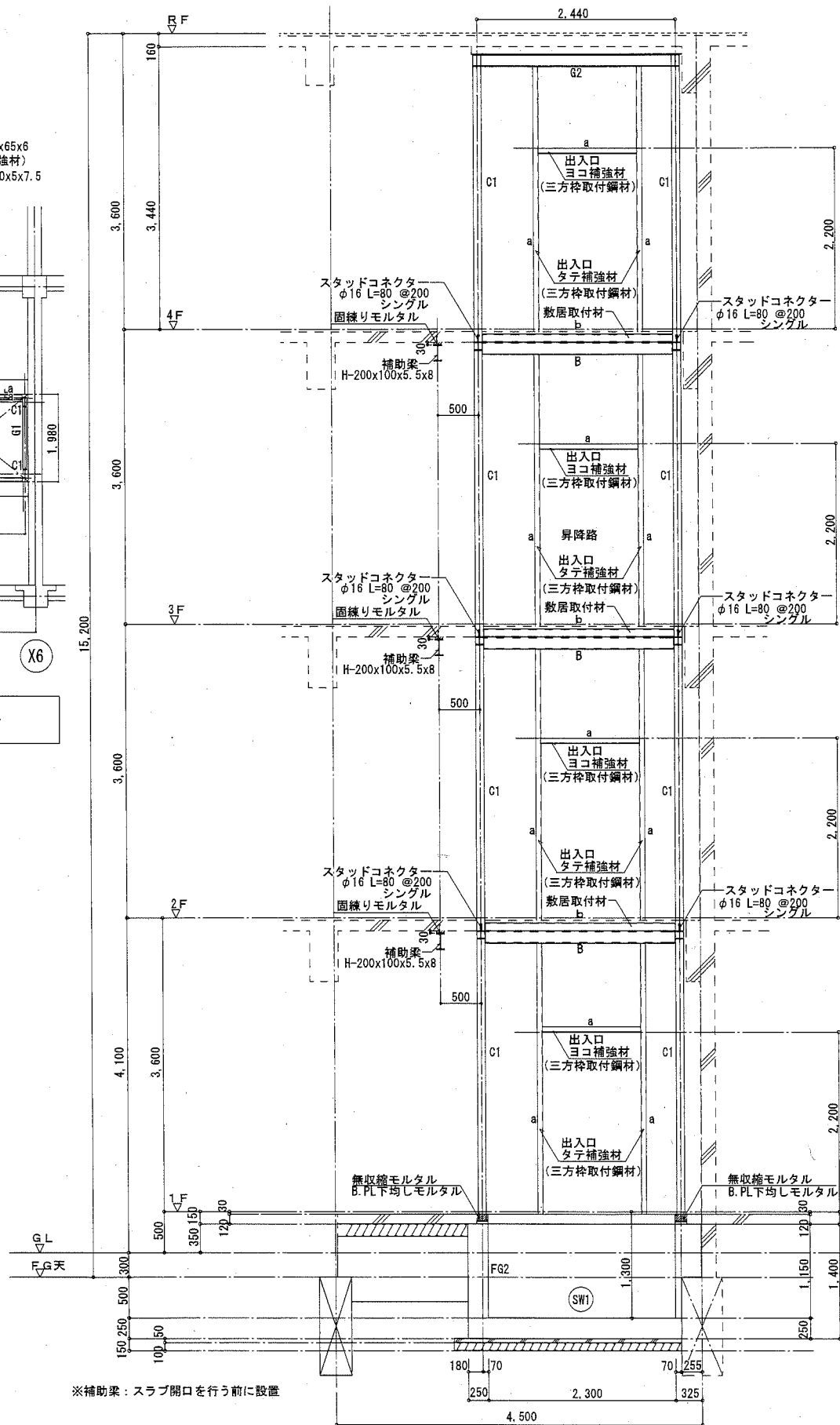
▲ : 柱頭部と既存梁接続位置

公共建築課長 	主査等 	担当者 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成 31年 2月	工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	No. S-08
				図面名称 R階床梁伏図	1/50	

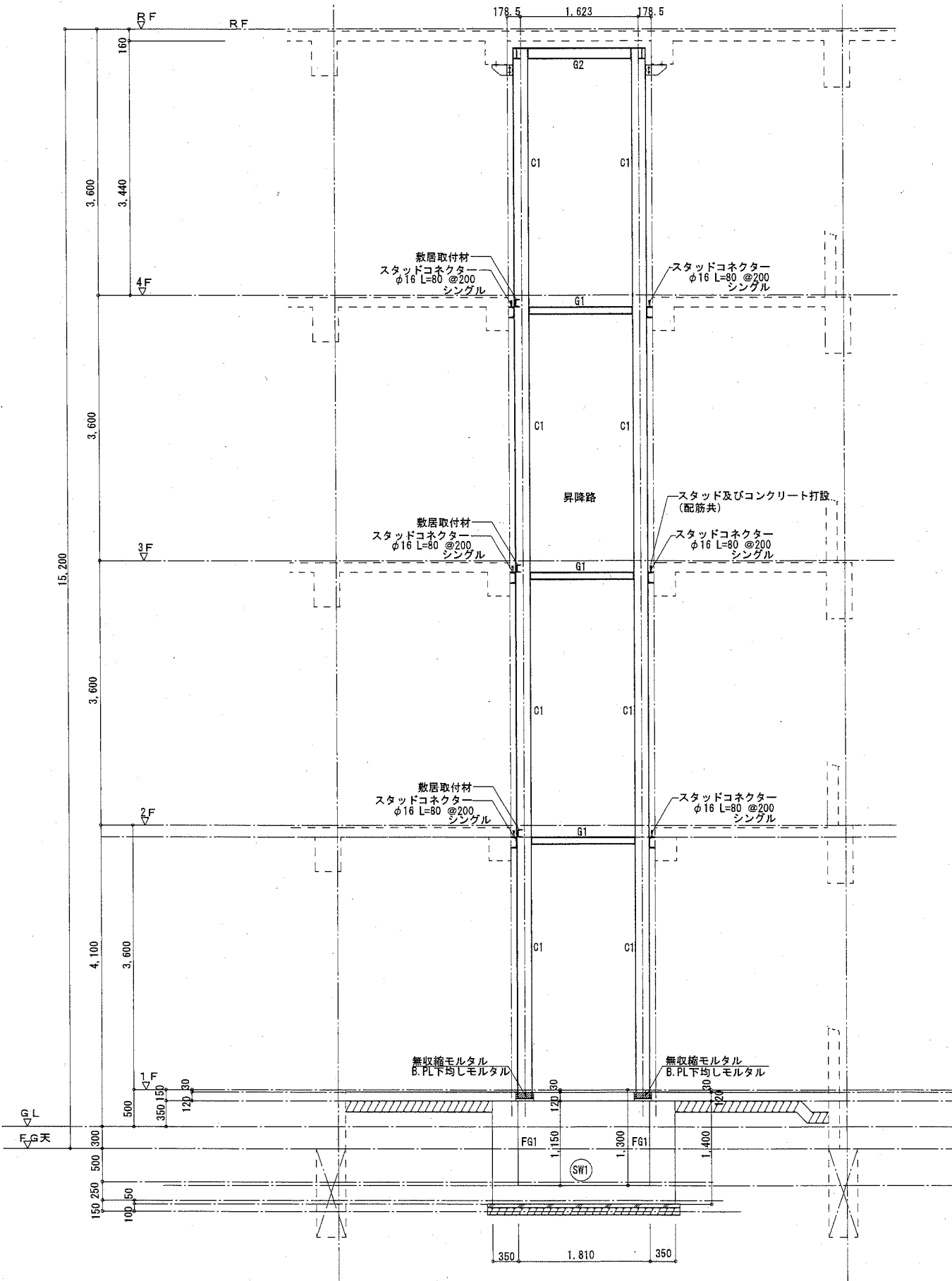
C1:H-200×100×5.5×8
 G1:H-100×100×6×8
 G2:H-148×100×6×9
 B:[-150×75×6.5×10
 a:三方枠取付鋼材 L-65x65x6
 (出入口タテ・ヨコ補強材)
 b:敷居取付材 [-100x50x5x7.5



部材キープラン



Y通り 軸組図 S=1/50



X通り 軸組図 S=1/50

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立常葉中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 断面図

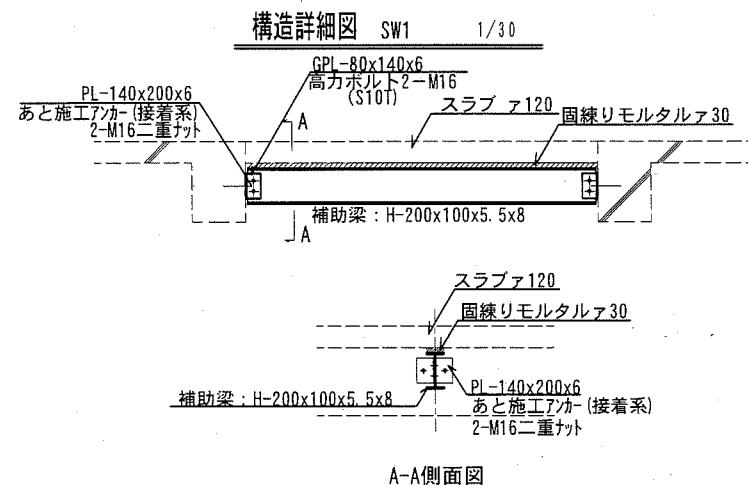
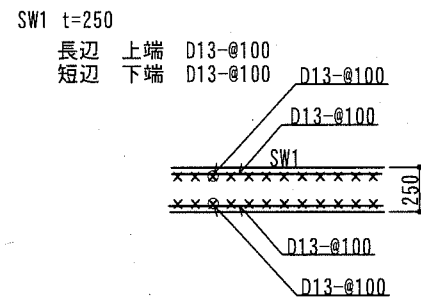
縮尺

1/50

No. S-09

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り、巾止メ筋はD10-8000とする

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	350 x 1400	250 x 1400
上端筋	3-D19	2-D16
下端筋	3-D19	2-D16
あばら筋	□-D13-@200	□-D10-@200
腹筋	6-D13	6-D13

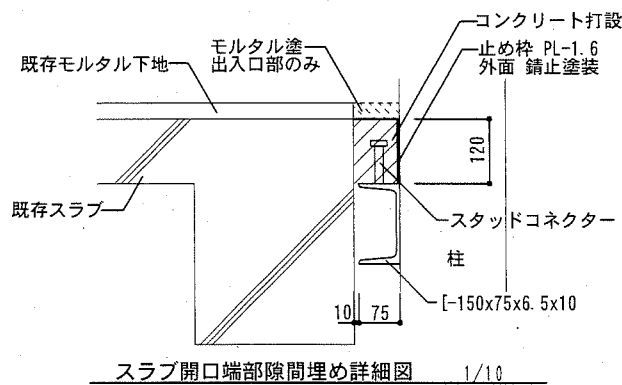


スラバ補助梁取付部 1/30
 (スラバ解体前に設置のこと)

構造詳細図 鉄骨リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

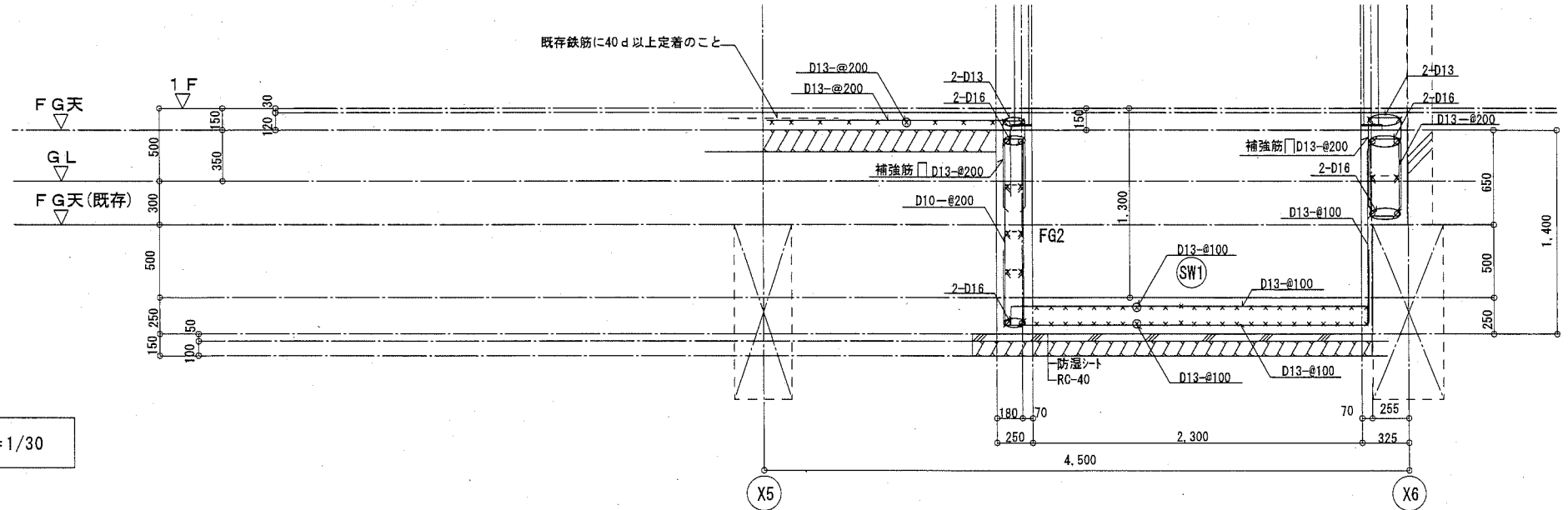
符号	C1	G1	G2
位置	全断面	全断面	全断面
全階断面			
断面寸法	H-200x100x5.5x8 柱材質 SS400	H-100x100x6x8	H-148x100x6x9
備考			
符号	B	a	b
位置			
全階断面			
断面寸法	[150x75x6.5x10]	(梁 上下部) L-65x65x6 (RC 上下部)	[100x50x5x7.5]
備考			

出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー(金属拡張系)とする。

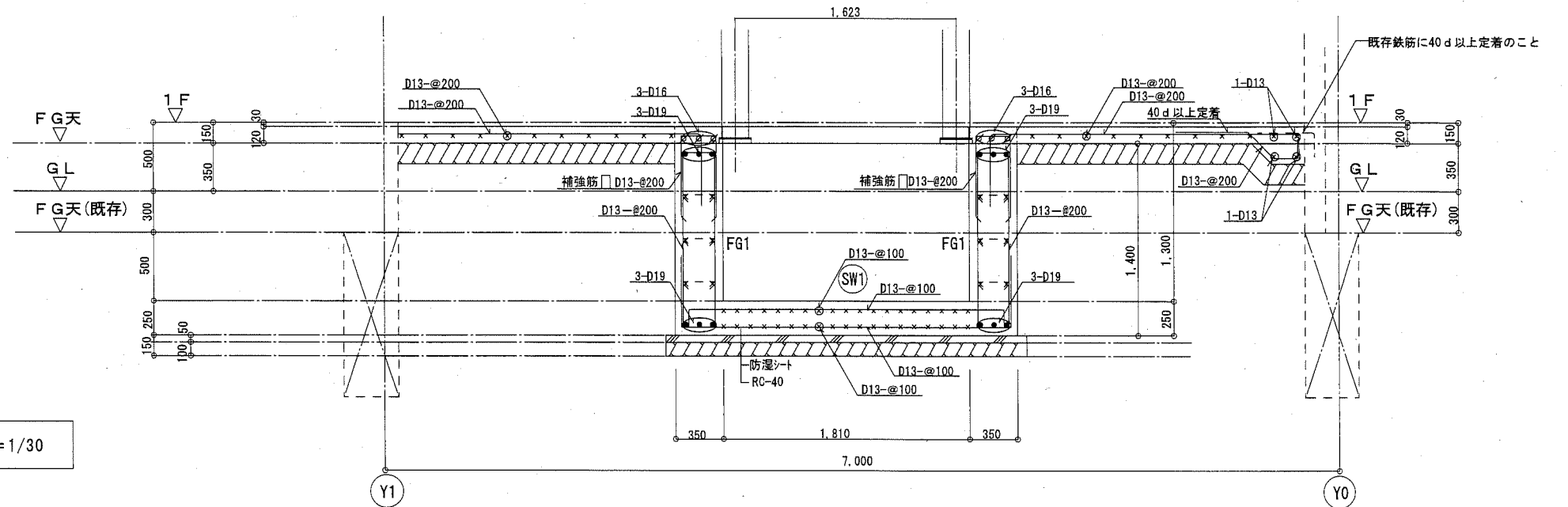


あと施工アンカー仕様

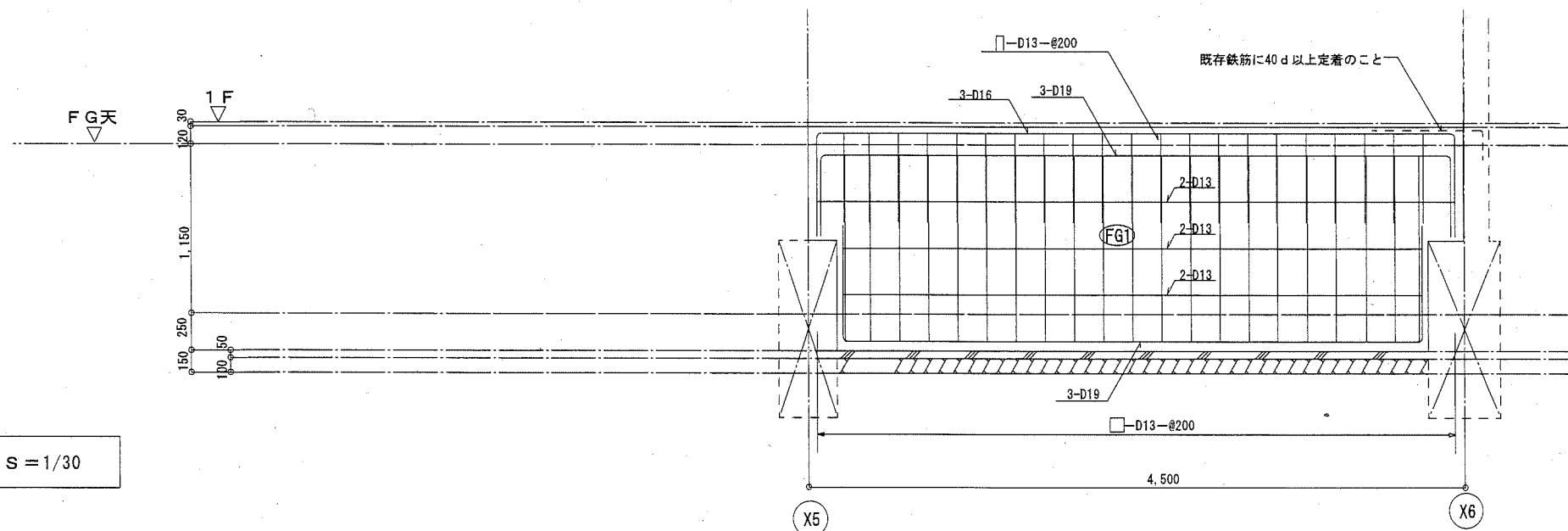
- 既存躯体への有効埋込み長さ l_e は、アンカー軸部の直径 d_a に応じて $8d_a$ 以上 (mm) (接着系アンカー) とする。
 M16 (外径15mm) 埋込み長さ l_e (15x8) =120mm以上
 M20 (外径19mm) 埋込み長さ l_e (19x8) =152mm以上
- あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法
 - アンカー軸部の直径 d_a : 13mm以上、22mm以下
 - ピッチ p_a : 7.5 d_a 以上、かつ300mm以下
 - ゲージ g_a : ダブル配置5.5 d_a 以上
 - へりあき c_1 : 2.5 d_a 以上
 - はしあき c_2 : 5 d_a 以上



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30



ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30



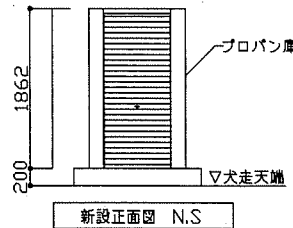
ピット部 補強梁 (FG1) 配筋図 S=1/30

器具表

名称	仕様・付属品	形番 (A社)	形番 (B社)	国土交通省 記号	1階				2階				合計	
					1	2	3	4	1	2	3	4		
洗面器	自動水栓、Pトラップ、壁給水	L210C	L-176UEC		1									1
自在水栓 (SUS製掃除用)	F10A 泡沫 スパウトL=170	T131SUN13C	LF-16F-13		1	1	1	1						4
噴水栓	F7-13 吐水口回転式	T200ESNR13C	LF-7RE-13						2					2
床排水トラップ	ホース目皿ロック式(参考型番:伊藤鉄工LT4H)				2									2

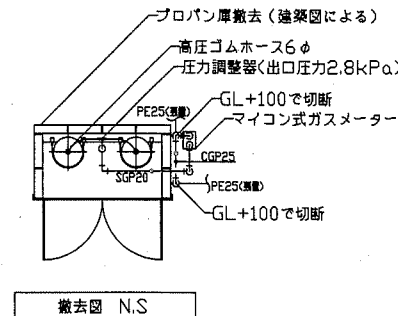
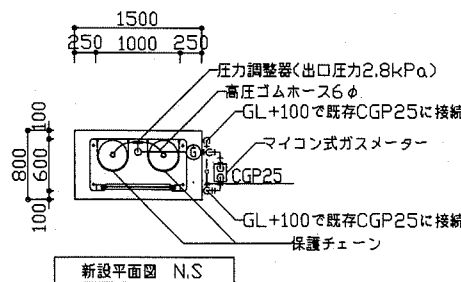
凡例

記号	名称	材質・仕様	規格・備考	保温防食塗装等
---	給水管(屋内隠蔽)	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448 (SUS304)	GW+ALGC (c2・(口)・覆)
---	給水管(埋設)	耐電圧性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 (HIVP)	管週り100mm山砂
---	排水管(屋内隠蔽)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	GW+ALGC (c2・(口)・覆)
---	排水管(土留(第一側まで))	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	管上100mmまで山砂、管底突固め
---	排水管(屋外埋設)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VU)	
---	通気管(屋内隠蔽)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	
R	冷媒管	断熱材被覆銅管		
D	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 屋内:保温付きVP 屋外:カラーVP	JIS K 6741 (VP)	
G	ガス管	カラー鋼管	JIS G 3452 (GGP)	

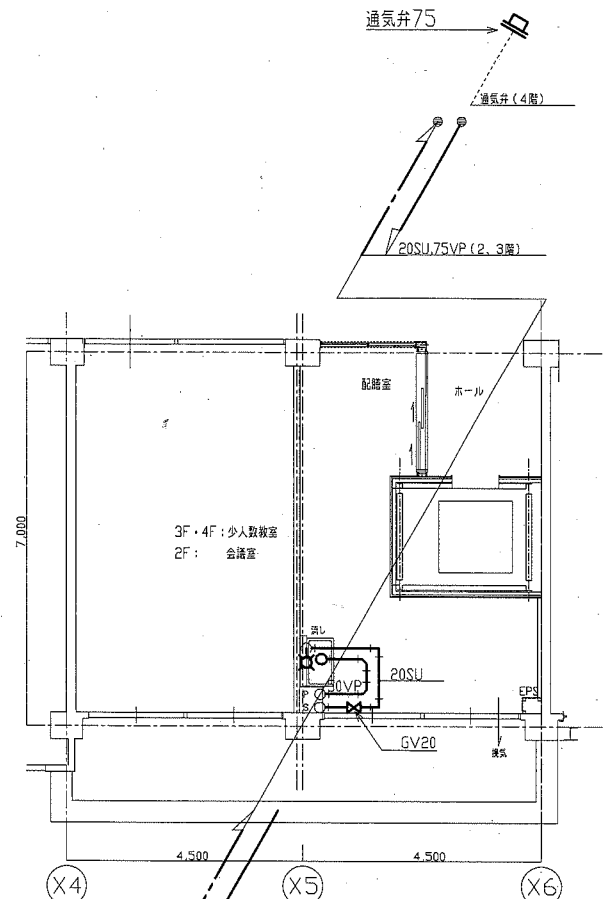
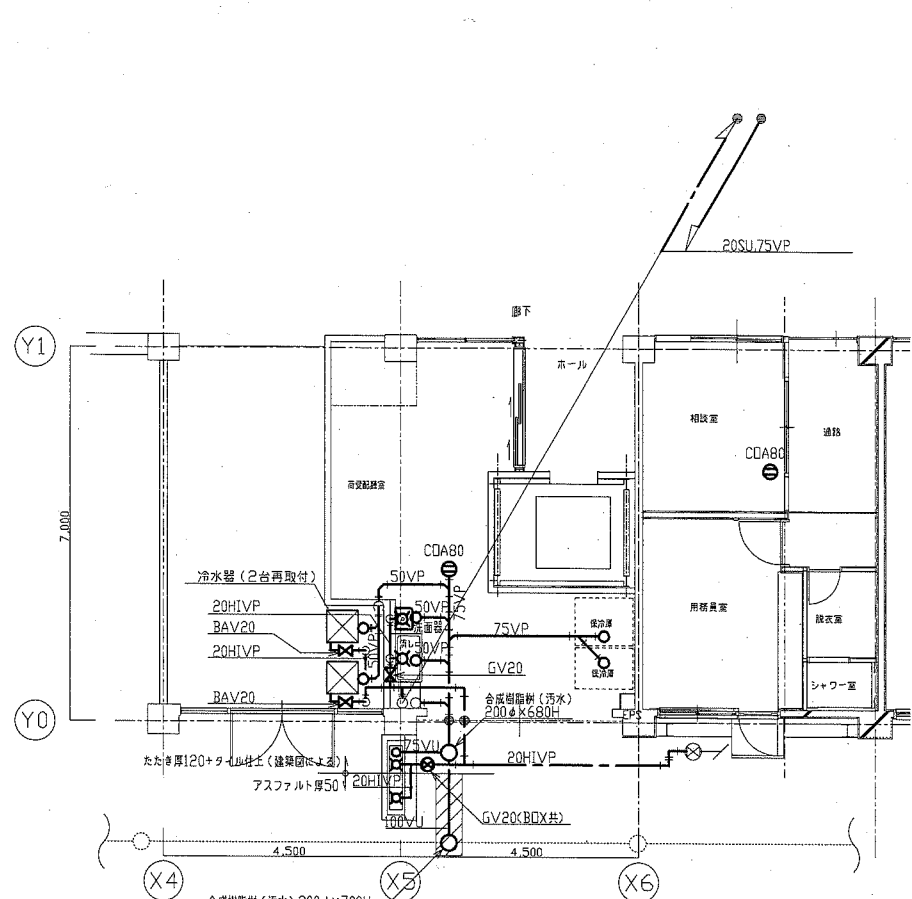
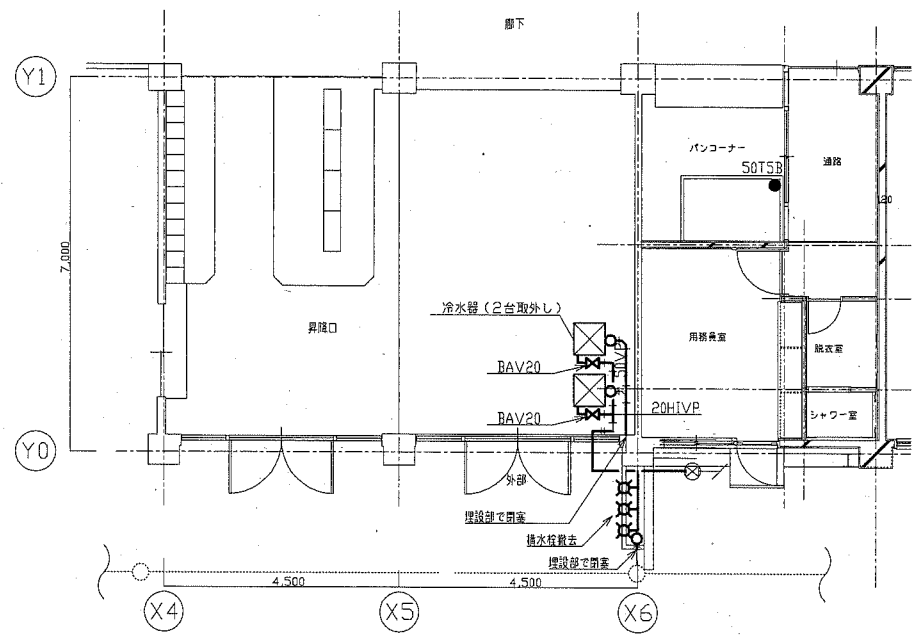


プロパン庫仕様 参考型番 ホクエイ BN-100MT (耐塩害仕様Bタイプ)

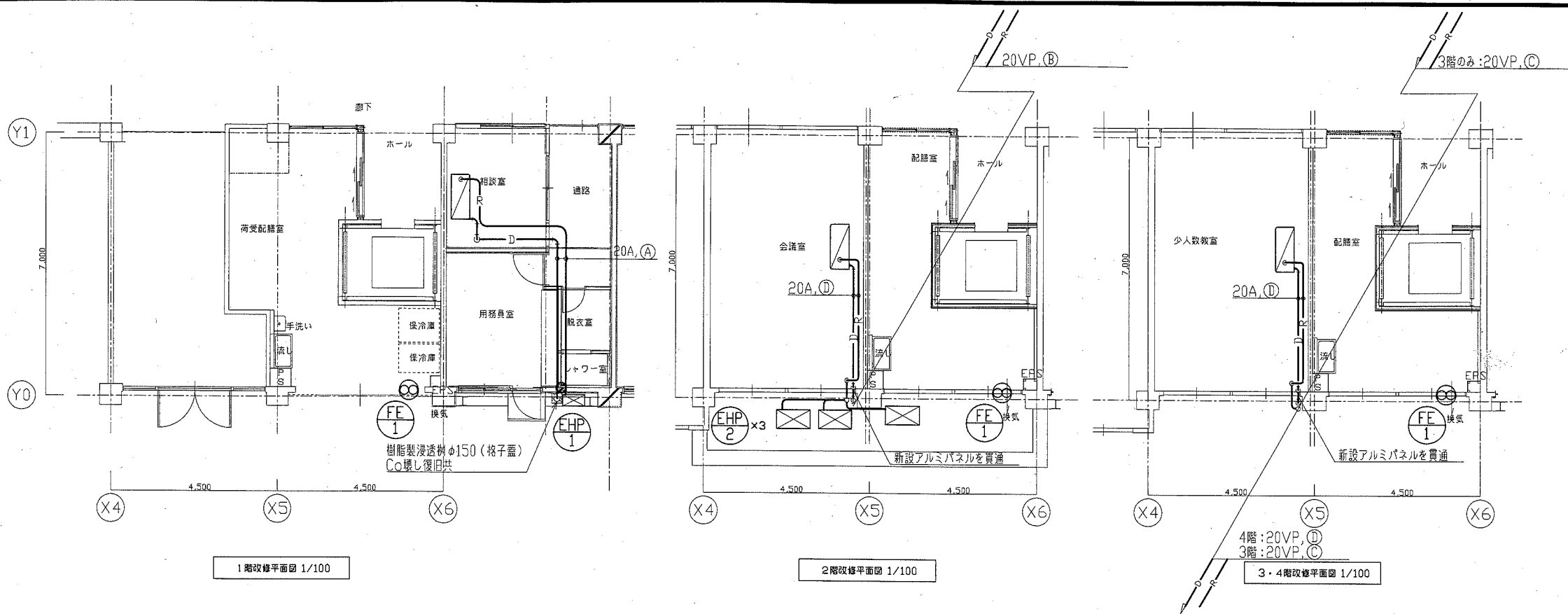
品名	材質	仕上げ
土台枠	高耐食亜鉛鋼板	アクリル系樹脂塗装
柱	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
壁パネル	〃	〃
母屋	〃	〃
横板	〃	〃
屋根	高耐食亜鉛鋼板	〃
シャッター	ガルスター鋼板	〃
レール	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
アンカーボルト	SUS304	



※コンクリート基礎は建築図による
 ※寸法は参考とする
 ※ガス管配線切廻しを含む



※ ●部はコア抜き個所を示す
 ※ 流し設置は建築図による



冷媒管サイズ表

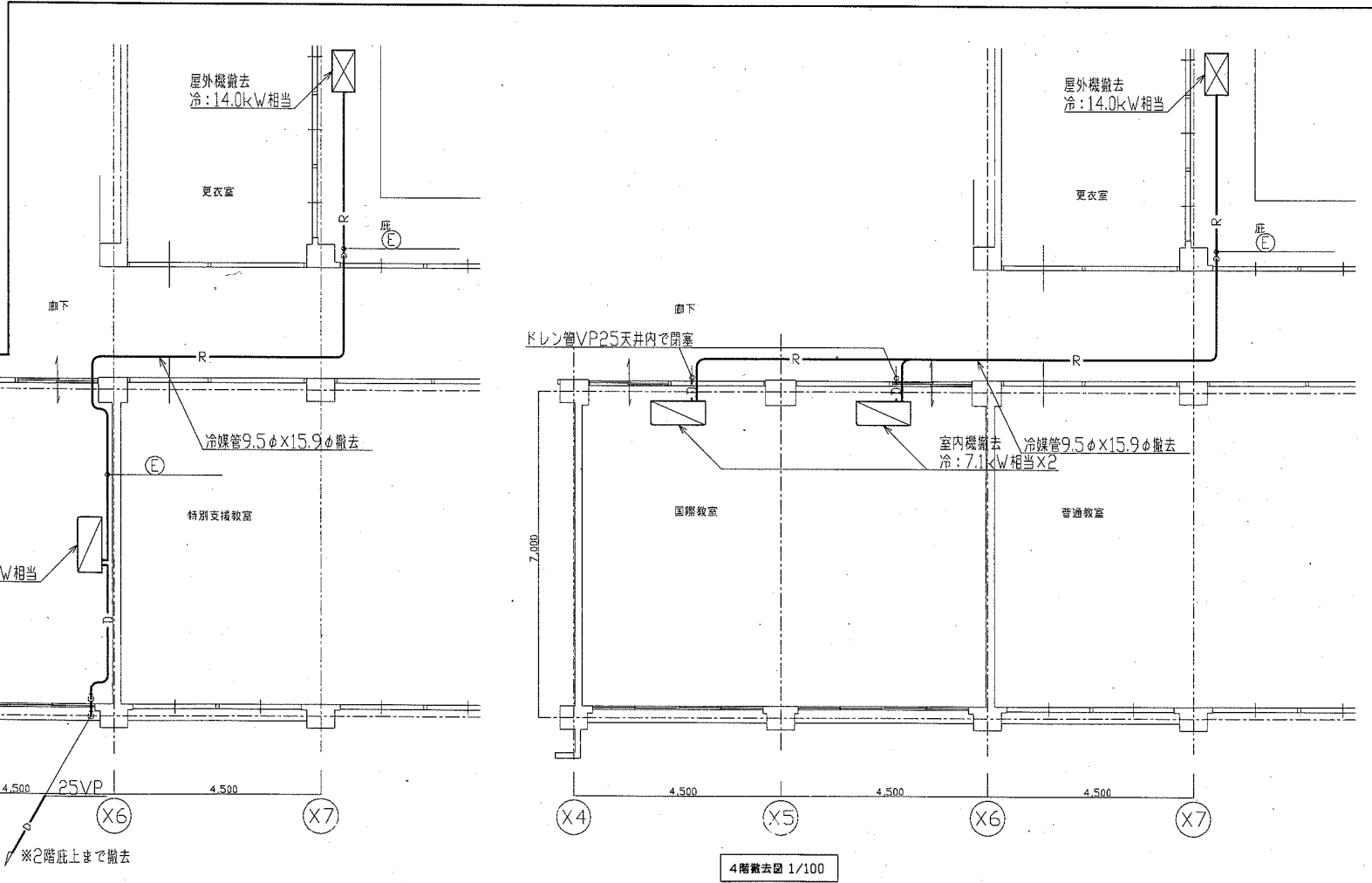
記号	冷媒配管口径	仕上げ材	
		屋外	屋内
Ⓐ	6.4φ×9.5φ	No.6S	100×70
Ⓑ	6.4φ×12.7φ×3	No.18	—
Ⓒ	6.4φ×12.7φ×2	No.9	—
Ⓓ	6.4φ×12.7φ	No.6S	100×70
Ⓔ	9.5φ×15.9φ	No.6S	100×70

※以下の配線を冷媒管共巻きとする。
 内外連絡線：EM-EEF2.0-3C
 ※屋外ドレン立管は冷媒管ラッキング内配管とする

※ 換気扇は新設アルミパネル(別図)に設置
 ※ ●部はコア抜き箇所を示す

機器表(新設)

記号	機器名称	仕様	電圧容量		台数	設置場所	備考
			φ	kW			
EHP-1	ヒートポンプエアコン	形式：ルームエアコン(壁掛形) 冷房能力：2.2kW (JIS標準条件) 暖房能力：2.5kW (JIS標準条件) APF：7.0以上 質量：内機：15kg 外機：30kg(参考) 付属品：ワイヤレスリモコン、基礎ボルト(SUS)、防凍網、転倒防止金具(ステンレス製) コンクリート製基礎ブロックL=600(ゴムシート敷)、他標準付属品一式	1	100	0.5	1	相談室 ドレンアップキット付 設置工事仕様
EHP-2	ヒートポンプエアコン	形式：パッケージ型空調機(天井吊) 冷房能力：5.6kW (JIS標準条件) 暖房能力：6.3kW (JIS標準条件) APF：5.5以上 質量：内機：25kg 外機：43kg(参考) 付属品：ワイヤレスリモコン、基礎ボルト(SUS)、防凍網、転倒防止金具(ステンレス製) コンクリート製基礎ブロックL=600(ゴムシート敷)、他標準付属品一式	1	200	1.1	3	2階会議室 3・4階少人数教室 設置工事仕様
FE-1	換気扇	仕様：20cm 格子タイプ 電気式シャッター、学校設備用 能力：485 CMH X 10Pa 付属品：ウェザーカー(SUS)防鳥網付	1	100	15.5W	4	各配管室 スイッチは電気工事



3階撤去図 1/100

4階撤去図 1/100